

和歌山県立近代美術館年報

二〇〇六(平成18)年度





年報の刊行にあたって

2006(平成18)年度の年報を刊行いたします。

和歌山県立近代美術館は、1963(昭和38)年に旧和歌山城二の丸跡に開館した和歌山県立美術館を前身として、1970(昭和45)年に開館しました。和歌山県民文化会館1階において、23年間の活動を続けたあと、1994(平成6)年7月、現在の場所に新築移転しました。

開館以来、当館は和歌山県にゆかりのある作家について調査、紹介を続ける一方、「和歌山版画ビエンナーレ」や「関西の美術家シリーズ」など独自の展覧会を通じて、県民の皆さんに親しまれ、また日本国内はもとより海外に向けても、個性的な文化の発信地としての役割を果たしてまいりました。

また、本年度は交流企画として、練馬区美術館のコレクションを中心とした「現代『日本画』の展望—内と外のあいだで—」展が当館で、当館のコレクションによる「和歌山県立近代美術館所蔵名品展—大正期の異色画家たち—」展が練馬区美術館で開催され、当館のコレクションの独自性が、あらためて認められる機会となりました。

このような実績の上に立ち、過去の近代美術の展示、収集活動にとどまらず、多様化する表現に対応し、幅広い美術の紹介に積極的に取り組んでいます。また、展覧会活動と平行して教育普及活動や収集活動も活発に展開しています。

当館の活動は、ご来館くださった方々をはじめ、皆様のご協力によって成り立ってきたものです。ここで多くのご助力に感謝申し上げるとともに、その成果をご報告し、さらに充実した美術館活動を進める基礎として本年報を刊行いたします。

2008(平成20)年3月

和歌山県立近代美術館

目次

年報の刊行にあたって	1
沿革	2
展覧会事業	
企画展	7
常設展	39
和歌山県特別事業	51
普及事業	56
協力事業	60
作品貸付	64
調査・研究・発表活動および対外協力活動	68
収集事業	70
保存事業	83
管理運営	84
関係法規	87
建築概要	91
案内	94

沿革

■和歌山県立美術館

1963(昭和38)年
3月17日 旧和歌山城二の丸跡に開館
7月 川口軌外展
10月 第1回明治・大正・昭和名作美術展
11月 第17回和歌山県美術展
(1969年第23回展まで開催)

1964(昭和39)年
4月 紀州陶磁器展
10月 第2回明治・大正・昭和名作美術展

1965(昭和40)年
3月 祇園南海展
5月 長沢蘆雪名作展
7月 日高昌克展
10月 近代洋画名作展 特設・原勝四郎遺作展

1966(昭和41)年
3月 グリ・シャガール・ビュッフェ版画展
6月 石垣栄太郎遺作展
6月 日本伝統工芸秀作展
7月 川端龍子展
10月 松方コレクション展

1967(昭和42)年
10月 富岡鉄斎展

1968(昭和43)年
3月 桑山玉洲展
9月 扇絵展
10月 明治100年記念郷土作家回顧展

1969(昭和44)年
4月 保田龍門展

1970(昭和45)年
11月2日 廃館

■和歌山県立近代美術館

1970(昭和45)年
11月2日 和歌山県民文化会館内に開館
第24回和歌山県美術展
(1993年第47回展まで開催)

1971(昭和46)年
3月 大夢・晩花展
8月 紀州の風景画展

1972(昭和47)年
3月 原勝四郎展
10月 アメリカにおける日本人作家回顧展

石垣栄太郎・国吉康雄・ヘンリー・杉本
1973(昭和48)年
10月 川口軌外展

1974(昭和49)年
4月 吉田政次遺作展
10月 稲伊之助展

1975(昭和50)年
10月 木下孝則回顧展

1976(昭和51)年
2月 1910年代における京都日本画の新動向展
10月 木下義謙作品展

1977(昭和52)年
2月 田中恭吉展
10月 川端龍子展

1978(昭和53)年
10月 日高昌克展

1979(昭和54)年
2月 神中糸子と工部美術学校展
5月 村井正誠展
10月 高井貞二展

1980(昭和55)年
3月 川口軌外とその周辺
—和歌山の初期独立展系作家たち一展
10月 開館10周年記念 1930年協会の作家たち展

1981(昭和56)年
3月 恩地孝四郎・田中恭吉・逸見亭版画展
10月 下村觀山—その人と芸術—

1982(昭和57)年
2月 建畠覚造展
7月 イタリア美術の一世纪《1880-1990》展
10月 稗田一穂展

1983(昭和58)年
7月 関西の美術家シリーズ1
津高和一・泉茂・吉原英雄展

1984(昭和59)年
2月 和歌山の作家と県内洋画壇展
7月 関西の美術家シリーズ2
元永定正・白髮一雄展
10月 紀州の風景を描いた作家たち展

1985(昭和60)年
3月 第1回和歌山版画ビエンナーレ展
7月 関西の美術家シリーズ3 彫刻の4人
—清水九兵衛・山口牧生・森口宏一・福岡道雄展

10月 開館15周年記念 近代洋画の展開
—初期独立美術協会の作家たち展

1986(昭和61)年
7月 朝井閑右衛門の世界
10月 瑛九とその周辺展

1987(昭和62)年
3月 第2回和歌山版画ビエンナーレ展
7月 関西の美術家シリーズ4 日本画の4人
—大野値嵩・下村良之介・星野真吾・三上誠展
9月 太平洋を越えた日本の画家たち展

1988(昭和63)年
3月 描かれた動物たち展
7月 関西の美術家シリーズ5 版画の4人
—井田照一・木村光佑・黒崎彰・船井裕展
10月 竹久夢二とその周辺展

1989(昭和64・平成元)年
3月 第3回和歌山版画ビエンナーレ展
7月 関西の美術家シリーズ6 現代の造形
—土と布と糸。荒木高子・前川強・濱谷明夫展
10月 親と子で見る世界の名画展

1990(平成2)年
7月 関西の美術家シリーズ7 美術の現在
—4つの試み 宮崎豊治・北山善夫・木村秀樹・
野田裕示展
10月 現代の陶芸1980-1990 関西の作家を中心として

1991(平成3)年
3月 第4回和歌山版画ビエンナーレ展
7月 関西の美術家シリーズ8 美術の現在
—彫刻の変容 小清水漸・北辻良央・川島慶樹展
9月 ポスター芸術100年

1992(平成3)年
10月 版画芸術の饗宴
—ケネス・タイラーと巨匠たち：1963-1992

1993(平成4)年
3月 第5回和歌山版画ビエンナーレ展

1989(昭和64・平成元)年
4月 「和歌山県美術品取得基金条例」を設置
新美術館建設検討委員会より「和歌山県立新美術館の建設基本構想について」答申
8月 美術館の美術作品収集基本方針及び開館展等の開催に関する事項を検討、協議するため、「新美術館専門会議」を設置
美術館において収集する美術作品の選定に関し、審議するため「和歌山県立近代美術館美術作品選定委員会」を設置
9月 新美術館専門会議において「新美術館の美術作品収集方針について」承認
1990(平成2)年
3月 新美術館の設計を「黒川紀章建築都市設計事務所」に委託
1991(平成3)年
7月 和歌山県美術品取得基金によりジョージ・シーガル《煉瓦の壁ぞいに歩く男》(1988)を購入
10月 施設着工式を挙行
11月 和歌山県美術品取得基金によりマーク・ロスコ《赤の上の黄褐色と黒》(1957)を購入
1992(平成4)年
8月 和歌山県美術品取得基金によりフランク・ステラ《ラッカIII》(1968)を購入
1993(平成5)年
9月 和歌山県美術品取得基金によりパブロ・ピカソ《ミノトーロマシー》(1935)、《泣く女》(1937)を購入
1994(平成6)年
2月 定礎式を挙行
3月 工事完了
4月 新美術館へ移転

■和歌山県立近代美術館 新館

7月8日 新近代美術館開館
開館記念展1 美術館へ行こう
10月 開館記念展2 大正のまなざし
—若き保田龍門とその時代—
11月 ルオーの「ミゼレーレ」

1995(平成7)年
1月 恩地孝四郎—色と形の詩人—
2月 和歌山ゆかりの作家たち
4月 1994年度新収蔵作品展
4月 ヴィクトリア&アルバート美術館展

	イギリス絵画の350年	2000(平成12)年	4月 没後10年 遺業・泉茂展
7月	村井正誠展 色とかたちと心—人間の詩	2月 芸術と社会	6月 世界の版画名品選展
8月	美術館に行ったよ！—風景ってなあに—	4月 田中恭吉展	7月 夏休み わかやま美術探偵団展
9月	保田春彦展	5月 定規とコンパス？幾何学図形と美術の表現	9月 版画家たちとの表情
10月	野田裕示近作展	7月 印象派の巨匠 シスレー展	11月 佐伯祐三—芸術家への道—
1996(平成8)年		イル・ド・フランスの光を愛して	
1月	線画の世界—かたりの表現—	9月 東欧絵本の世界展	2006(平成18)年
2月	ひかる・うごく・おとがする	国境を越える子どものためのアート	1月 美術百科「世界一周」の巻
4月	「絵画」というしきみ	11月 現代版画の軌跡 ゆめとめざめ	コレクションによる全館展示
6月	紀伊半島を歩いて ロジャ…・アックリング&ハミッシュ・フルトン	12月 日本の近代版画4 コレクション・ダイジェスト	
8月	モスクワ、ブーシキン美術館名作展 —室内への視線—	2001(平成13)年	
9月	ホックニーのグリム童話	2月 版画今昔	
11月	日本のグラフィックデザイン	4月 夢の世界のおくりもの	
1997(平成9)年		アンデルセン童話・絵本原画展	
1月	和歌山の版画家10人	5月 うごけば、かわる。	
3月	新しい関西の美術家たち ものとあらわれ	8月 宇佐美圭司絵画宇宙	
4月	美術館へ行ったよ！ コレクションを見る東京	9月 浜口陽三へのオマージュ	
5月	美術館へ行ったよ！ コレクションを見るパリ	10月 マックス・エルнст展	
7月	アルザスとフランス近代美術の歩み —ストラスブル近代美術館展	12月 一期一会 であう めでる つたえる	
8月	版画の技法・表現の手法	コレクションによる全館展示	
10月	マリノ・マリーニ展	2002(平成14)年	
11月	アメリカの中の日本 石垣栄太郎と戦前の渡米画家たち	4月 あたらしい画面をもとめて 関西の半世紀	
1998(平成10)年		5月 「生活」を「芸術」として 西村伊作の世界	
1月	心のかたち	7月 アンジェ美術館展	
2月	泉茂 初期版画作品を中心に	9月 山本容子の美術遊園地	
4月	世紀末の華 オーブリー・ビアズリー展	11月 美術百科「この人のこの一点」の巻	
5月	日本の近代版画 コレクション・ダイジェスト1	コレクションによる全館展示	
6月	日本の近代版画 コレクション・ダイジェスト2	2003(平成15)年	
8月	静けさの中から 星の贈りもの	4月 はじめての美術・絵本原画の世界展	
9月	和歌山の日本画 コレクション・ダイジェスト3	6月 チャペック兄弟とチェコ・アヴァンギャルド展	
10月	意味とイメージ	7月 近代日本洋画の巨匠 黒田清輝展	
12月	フランス現代美術展 眼と精神	9月 たがやすように 熟す画面の4つのかたち展	
1999(平成11)年		12月 美術百科「七つの鏡」の巻	
2月	関西の戦後美術 1950's~1990's	コレクションによる全館展示	
4月	めいさく根据葉掘 アートと知り合い！	2004(平成16)年	
6月	デモクラート1951-1957	4月 和歌山県特別事業	
7月	日本の近代版画 コレクション・ダイジェスト4	日本に向けられたヨーロッパ人の眼・ ジャパン トゥディ vol.6、atW vol.1	
8月	熊野の音+熊野の色 増田感・北堅吉彦展	永坂嘉光・鈴木理策 高野_熊野_聖地	
9月	サンフランシスコ近代美術館展	6月 小野竹喬展	
11月	川口軌外展 ある洋画家の軌跡	7月 ピノッキオ その誕生から現代まで展	
12月	越境する想像力 素材との出会い	11月 チャールズ&レイ・イームズ 創造の遺産展	
		2005(平成17)年	
		1月 開館10周年記念 美術百科「版画」の巻	
		コレクションによる全館展示	

展覧会事業 企画展

2006(平成18)年度 企画展一覧

1. ベトナム近代絵画展 花と銃—インドシナ・モダンの半世紀
4月15日(土)～5月28日(日)
2. 現代「日本画」の展望—内と外のあいだで—
6月10日(土)～7月30日(日)
3. 森鷗外と美術
9月10日(日)～10月22日(日)
4. 科学の感情—あたらしい時代の感覚と表現—
11月3日(金・祝)～12月17日(日)
5. 美術百科「前衛の関西」の巻 コレクションによる全館展示
前期：2007(平成19)年1月4日～2月18日(日)、後期：2月27日(火)～4月8日(日)

1. ベトナム近代絵画展 花と銃—インドシナモダンの半世紀

会 期：2006(平成18)年4月15日(土)～5月28日(日)

休 館 日：月曜日

主 催：和歌山県立近代美術館、産経新聞社

後 援：外務省、文化庁、ベトナム社会主義共和国在日大使館

協 賛：トヨタ自動車株式会社、ベトナム航空、大日本インキ化学工業株式会社

会 場：展示室C(2階)

観 覧 料：一般700(560)円、大学生450(360)円

()内は20名以上の団体料金。高校生以下、65歳以上、障害者の方、県内に在学中の外国人留学生(外国人就学生を含む)は無料

趣 旨：ベトナム近代絵画をまとめたかたちで紹介する日本で初めての展覧会。インドシナ美術学校がフランス人画家タルデューによってハノイに創立された1925年からベトナム戦争終結の1975年まで、西洋的な技法や感覚に自国の伝統を融合し、絹絵や漆絵といった独自のジャンルを生み出しながら発展をとげたベトナム近代絵画の歩みを紹介した。

担 当 学 芸 員：奥村一郎

関 連 事 業：・講演会「ベトナム近代絵画の軌跡」講師：後小路雅弘(九州大学大学院教授、本展監修者)、5月13日(土)

・「ミュージアム・トーク(展示解説)」竹中麻衣子+奥村一郎、5月20日(土)

・「ミュージアム・トーク(展示解説)」奥村一郎、4月22日(土)・5月6日(土)

印 刷 物：・図録(B5判変形、220頁)

「20世紀のベトナム美術—概説—」ベトナム文化情報省美術写真局

「ベトナム美術の「近代」—東南アジア的視点から—」後小路雅弘

図版

「美術学校」後小路雅弘

「植民地博覧会と万国博覧会」後小路雅弘

「『インドシナ美術学校』のフランス人教師たち」林田龍太

「抗仏・抗米戦争と美術」林田龍太

「いくつもある絵」ラワンチャイクン寿子

「ベトナム戦争ポスター—戦う美術」山木裕子

「民衆版画 ドンホーとハンチョン」田中晴子

「ベトナムの近代絵画と私—大衆性と共鳴の妙」富山栄吉

「作家解説」翻訳・編集：田中晴子、柚花文、影山千夏、奥村一郎、ラワンチャイクン寿子、山木裕子、堀川理沙、林田龍太

「参考文献」編集：奥村一郎

「略年表」編集：奥村一郎

・ポスター(B2判)

・ちらし(A4判)

関 連 記 事：・「紙上ミュージアム(52)ベトナム近代絵画展 フィン・ヴァン・ガム《リエン嬢》」『わかやま新報』2006年4月5日、1面

・「紙上ミュージアム(53)ベトナム近代絵画展 グエン・ファン・チャン《オーアンクアン遊び》」

『わかやま新報』2006年4月19日、1面

・「紙上ミュージアム(54)ベトナム近代絵画展 チャン・フィウ・チャット《タイグエン高地の春》」

『わかやま新報』2006年5月3日、1面

・「紙上ミュージアム(55)ベトナム近代絵画展 ファム・ミン・チー《人民に永遠の春をもう一度》」

『わかやま新報』2006年5月17日、1面

・「日本初 ベトナム近代絵画展」『わかやま新報』2006年4月8日、6面

・青木勝彦「『戦争』を中心に90点 ベトナム近代絵画展始まる」『毎日新聞』2006年4月16日、23面

・「美術館便り ベトナム近代絵画展」『リビング和歌山』2006年4月15日、4面

・「ベトナム近代絵画の歩み紹介 県立近代美術館で企画展始まる」『産経新聞』2006年4月16日、24面

- ・「県立近代美術館のベトナム近代絵画展 作品の深い理解へ 講演会やトーク」『産経新聞』2006年4月20日、26面
- ・「ベトナム絵画の半世紀をたどる」『産経新聞』2006年4月20日、29面
- ・菅谷富夫「やっと見れるアジアの芸術兄弟国ベトナムの近代美術」『SAVVY』2006年6月号、45頁
- ・「インドシナ・モダン50年たどる」『読売新聞』2006年5月9日、30面
- ・「ベトナム近代絵画展〈上〉 チャン・チュン・ティン「少女と銃」ベトナム女性を象徴」『産経新聞』2006年5月11日、26面
- ・「ベトナム絵画史をわかりやすく解説」『産経新聞』2006年5月12日夕刊、9面
- ・「『戦争と美術』を解説 和歌山 ベトナム絵画展で講演」『産経新聞』2006年5月14日、26面
- ・加藤義夫「ベトナム近代絵画展 戦争の時代 独自の発展」『朝日新聞』2006年5月19日夕刊、12面
- ・「ストリートチルドレン支援活動 竹中麻衣子さん招きトーク もっと身近にベトナム感じて」『産経新聞』2006年5月21日
- ・「文化往来 漆絵や絹絵、ベトナムの近代絵画」『日本経済新聞』2005年12月6日、44面
- ・三浦篤「底光りする朱と金」『芸術新潮』57-6、2006年6月1日、119頁



ポスター



図録



ちらし

「ベトナム近代絵画展 花と銃—インドシナモダンの半世紀」出品リスト

No.	作者名	作品名	制作年	技法、材質	寸法 (cm)	所蔵先
■第1章 インドシナ美術学校と近代美術の幕開け 1925年～1945年						
1	ジョゼフ・アンガンベルティ	アトリエ	1933 (昭和8)	油彩、キャンバス	156.5×167.3	福岡アジア美術館
2	グエン・ファン・チャン	オーランクアン遊び	1931 (昭和6)	彩色、絹	65.3×87.5	福岡アジア美術館
3	レ・フォー	ふたりの子ども	1932 (昭和7)	油彩、キャンバス	90.3×69.9	福岡アジア美術館
4	レ・フォー	母と子	1940 (昭和15)	彩色、絹	59×41	ダオ・ザイン・AIN氏
5	マイ・トゥ	肘をつく若い娘	1936 (昭和11)	油彩、キャンバス	98.1×60	福岡アジア美術館
6	ト・ゴク・ヴァン	美人画をみる女性	1938 (昭和13)	彩色、絹	72.2×46.8	福岡アジア美術館
7	グエン・ニヤット	中国将棋の王ディ・シの競技	1939 (昭和14)	彩色、絹	40×79	ホーチミン市美術館
8	レ・ヴァン・デ	母と子	1944 (昭和19)	彩色、絹	71×48	ダオ・ザイン・AIN氏
9	レ・クオック・ロク、グエン・ヴァン・クエ	寺院の祭り	1939 (昭和14)	漆、板	101.5×210.5	ベトナム文化情報省美術写真局
10	グエン・ザー・チー	ホアンキエム湖の少女たち	1939 (昭和14) 頃	漆、板	212×110	ダオ・ザイン・AIN氏
11	ルオン・シェアン・ニー	読書する若い娘	1940 (昭和15)	油彩、キャンバス	60.5×46	福岡アジア美術館
12	ゴ・マン・クイン	祭りの日	1943 (昭和18)	漆、板	100×120	ベトナム国立美術館
13	ト・ゴク・ヴァン	ふたりの女性と幼児	1944 (昭和19)	油彩、キャンバス	100.5×74.8	福岡アジア美術館
■第2章 抗仐戦争下の画家たち 1945年～1954年						
14	タ・ティ	女性と中国灯籠と鳩	1946 (昭和21)	漆、板	97×130.7	ダオ・ザイン・AIN氏
15	タ・ティ	女	1950 (昭和25)	油彩、板	68.1×55.2	福岡アジア美術館
16	グエン・トゥオン・ラン	舟いっぱいの蓮花	1941 (昭和16)	木版、紙	94×46.5	ダオ・ザイン・AIN氏
17	グエン・ド・クン	射撃訓練をするラハイのゲリラたち	1947 (昭和22)	グアッシュ、紙	37.7×51	ベトナム国立美術館
18	グエン・ヒエム	タムヴの戦い	1948 (昭和23)	グアッシュ、紙	62.5×92.5	ベトナム国立美術館
19	ディエップ・ミン・チャウ	ホーおじさんのヴィエトバッックの家	1951 (昭和26)	油彩、キャンバス	70×103	ベトナム国立美術館
20	ディエップ・ミン・チャウ	タンチャオで釣りをするホーおじさん	1951 (昭和26)	油彩、キャンバス	66×100	ホーチミン市美術館
21	マイ・ヴァン・ヒエン	出会い	1954 (昭和29)	グアッシュ、紙	57.5×93	ベトナム国立美術館
22	レ・タイン・ドゥック	解放の夜のハノイ	1954 (昭和29)	グアッシュ、紙	51×80	ベトナム国立美術館
■第3章 束の間の平和、国家の分断 1954年～1964年						
23	ファン・ケ・アン	タイバッックのタペの思い出	1955 (昭和30)	漆、板	70×110	ベトナム文化情報省美術写真局
24	ズオン・フォン・ミン	大砲を引き上げる	1957 (昭和32)	漆、板	99×201 (3点組)	ベトナム国立美術館
25	ファン・ケ・アン	ヴィエトバッックの稲刈り	1955 (昭和30)	漆、板	49.5×64.5	ベトナム国立美術館
26	リウ・ヴァン・シン	のどかな田舎	1958 (昭和33)	油彩、キャンバス	65×98.5	ベトナム国立美術館
27	チャン・ドン・ルオン	刺繍をする女性たち	1958 (昭和33)	彩色、絹	54.5×88.3	ベトナム国立美術館
28	グエン・カン	和平と友好	1958 (昭和33)	漆、板	91.5×91.8	ベトナム国立美術館
29	グエン・カン	ホーおじさん、村へ行く	1958 (昭和33)	漆、板	92×190	福岡アジア美術館
30	ホアン・ティック・チュ	ホーおじさんと子どもたち	1960 (昭和35)	漆、板	112×270	ベトナム国立美術館
31	フィン・ヴァン・トゥアン	ヴィンモック村	1958 (昭和33)	影漆、板	97.5×148	ベトナム国立美術館
32	タ・トゥック・ビン	納屋に米を納める	1960 (昭和35)	彩色、絹	64.5×90	ベトナム国立美術館
33	グエン・ドゥック・ヌン	農場の夜明け	1957 (昭和32)	漆、板	50×70	ベトナム国立美術館
34	レ・クオック・ロク	平和を維持しよう	1960 (昭和35)	漆、板	70×120	ベトナム国立美術館
35	グエン・キム・ドン	網をひく漁師たち	1960 (昭和35)	漆、板	73.5×100	ベトナム国立美術館
36	チャン・ヴァン・カン	海岸地域の女性兵士	1960 (昭和35)	油彩、キャンバス	59×81	ベトナム国立美術館
37	チャン・タイン・ゴク	子どものお迎え	1960 (昭和35)	彩色、絹	87.5×63.5	ベトナム国立美術館
38	グエン・チョン・キエム	子どもが生まれた時	1960 (昭和35)	油彩、キャンバス	139×190	ベトナム国立美術館
39	ホアン・ティック・チュ	天秤棒で稻を運ぶ	1961 (昭和36)	漆、板	100×150	ベトナム国立美術館
40	グエン・ファン・チャン	田舎の託児所	1962 (昭和37)	彩色、絹	51×72	ベトナム国立美術館
41	グエン・ファン・チャン	竹を編む	1960 (昭和35)	彩色、絹	50×71	富山栄吉氏
42	グエン・ファン・チャン	行水	1964 (昭和39)	彩色、絹	49×71.4	富山栄吉氏
43	ブイ・チャン・チュオック	タイグエン製鉄所	1962 (昭和37)	影漆、板	114.5×152.5	ベトナム国立美術館
44	フィン・ヴァン・ガム	リエン壤	1962 (昭和37)	漆、板	65.2×44.8	ベトナム国立美術館
45	フィン・コン・タイン	休憩中に新聞を読む	1962 (昭和37)	油彩、カンヴァス	119×157	ベトナム国立美術館
46	チャン・フィウ・チャット	タイグエン高地の春	1962 (昭和37)	影漆、板	120×97	ベトナム国立美術館
47	グエン・ニュ・ファン	タイグエンを行く	1962 (昭和37)	漆、板	110×80	富山栄吉氏

No.	作者名	作品名	制作年	技法、材質	寸法 (cm)	所蔵先
■第4章 抗米戦争の中で 1964年～1975年						
48	グエン・シ・ゴク	交替	1962 (昭和37)	漆、板	75×100	ベトナム国立美術館
49	グエン・ヴァン・チュオン	ハイフォン湾	1963 (昭和38)	漆、板	76×294.5	ベトナム国立美術館
50	ブイ・ショアン・ファイ	チエオの役者	1963 (昭和38)	油彩、キャンバス	49.5×66	福岡アジア美術館
51	グエン・サン	田舎の風景	1965 (昭和40)	油彩、キャンバス	64.7×88.4	ダオ・ザイン・AIN氏
52	グエン・フィ・ホアイン	米を運ぶ船	1963 (昭和38)	油彩、キャンバス	62.5×78.3	ベトナム国立美術館
53	リウ・コン・ニヤン	水田の耕作	1960 (昭和35)	油彩、キャンバス	81×104	ベトナム国立美術館
■第5章 新たな時代へ 1975年以降						
54	レ・ファ	ジャングルの工場	1966 (昭和36)	木版、紙	32×48	富山栄吉氏
55	グエン・サン	国家のプロンズの壁	1967-78 (昭和42-53)	漆、板	125×245	ホーチミン市美術館
56	チャン・チュン・ティン	祈り	1972 (昭和47)	油彩、新聞紙	55×39	作家
57	チャン・チュン・ティン	少女と銃	1972 (昭和47)	油彩、新聞紙	55×38	作家
58	チャン・チュン・ティン	少女と銃と鳥	1972 (昭和47)	油彩、新聞紙	55×39	作家
59	チャン・チュン・ティン	母を背負う息子	1974 (昭和49)	油彩、新聞紙	35.5×54	作家
60	レ・フィ・ホア	協同組合の女性主任	1970 (昭和45)	漆、板	90×160	ベトナム国立美術館
61	グエン・トゥ・ギエム	遊んでいる子どもたち	1972 (昭和47)	漆、板	60.2×90.2	富山栄吉氏
62	グエン・トゥ・ギエム	遊んでいる子どもたち	1974 (昭和49)	漆、板	60×90	富山栄吉氏
63	ファム・ヴァン・ドン	チエン姉妹と進め	1970 (昭和45)	木版、紙	44.4×32.2	富山栄吉氏
64	ファム・ヴァン・ドン	聖人ゾン	1970 (昭和45)	木版、紙	34×46.3	富山栄吉氏
65	ファム・ヴァン・ドン	ホーおじさん、村に行く	1972 (昭和47)	木版、紙	34×46.3	富山栄吉氏
66	ファム・ヴァン・ドン	収穫	1977 (昭和52)	木版、紙	38×60	富山栄吉氏
67	チャン・ザイン・ヴォイ	高地での楽器の調べ	1975 (昭和50)	水彩、絹	63×88.5	ベトナム国立美術館
68	レ・チ・ズン	要所を突破する	1974 (昭和49)	漆、板	90×120	ベトナム国立美術館
69	チャン・ディン・ト	夜間作戦	1974 (昭和49)	漆、板	125×165	ベトナム国立美術館
70	ゴ・タソ	敵が去るまで戦は続く 戰場が我々を絶え間なく呼ぶ	1972 (昭和47)	水彩、紙	68×54.5	福岡アジア美術館
71	グエン・ニ・ザオ	ディエンビエンフーの勝利をもう一度	1972 (昭和47)	水彩、紙	78.5×54.5	福岡アジア美術館
72	ファム・ヴィエット・ホン・ラム	ベトナム化戦争の悲劇 (ベトナム対ベトナム)	1972 (昭和47)	水彩、紙	54.5×80	福岡アジア美術館
73	チン・ファン	ハノイの少女 アメリカ軍戦闘機を撃墜	1972 (昭和47)	水彩、紙	64.5×44.5	福岡アジア美術館
74	チュオン・シン	我々はベトナムを強く支持する、アメはインドニアから去れ	1972 (昭和47)	水彩、紙	45×61	福岡アジア美術館
75	ファム・ミン・チー	人民に永遠の春をもう一度	1975 (昭和50)	水彩、紙	62×43	*福岡アジア美術館
76	ヴァン・ト	革命政権を守れ	1975 (昭和50)	水彩、紙	45×64.5	福岡アジア美術館
77	ブ・チュン・ルオン	子どもたちの未来のために	1975 (昭和50)	水彩、紙	64×45	福岡アジア美術館
■終章 新たな時代へ 1975年以降						
78	ド・フィウ・フェ	幼児学級のホーおじさん	1976 (昭和51)	油彩、キャンバス	100×120	ベトナム国立美術館
79	グエン・トゥ・ギエム	聖人ゾン	1976 (昭和51)	漆、板	119.8×79.7	富山栄吉氏

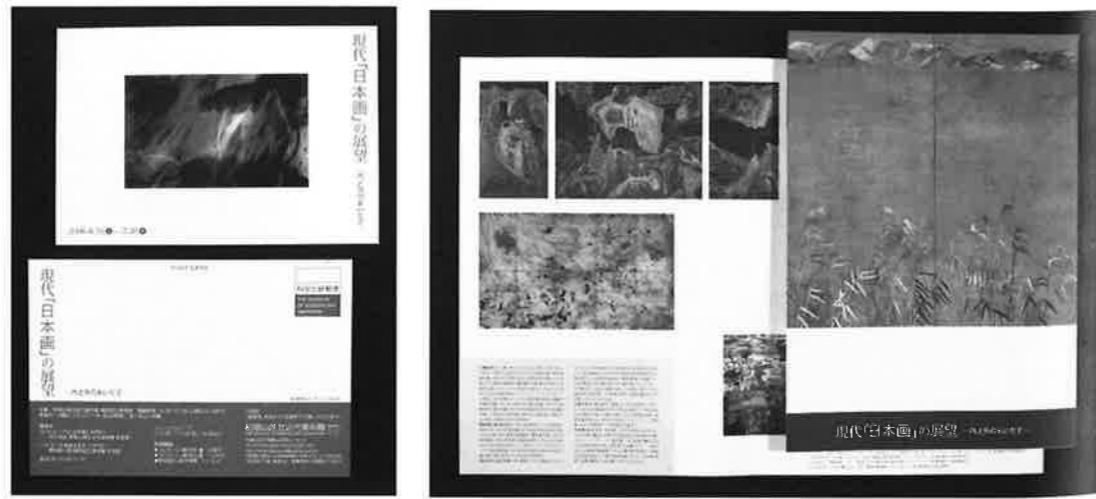
2. 現代「日本画」の展望—内と外のあいだで—

会期：2006(平成18)年6月10日(土)～7月30日(日)
 休館日：月曜日(祝日の場合は翌日)
 主催：和歌山県立近代美術館・練馬区立美術館
 会場：展示室C(2階)
 観覧料：一般500(400)円、大学生300(250)円
 ()内は20名以上の団体料金。高校生以下、65才以上、障害者の方、県内に在学中の外国人留学生(外国人就学生を含む)は無料
 趣旨：練馬区立美術館との交流企画。戦後、日本画の世界において独自の表現を確立した画家たちや、近年日本画の材料を使ってその枠にとどまらない活動を行う人々の練馬区立美術館所蔵作品に、当館所蔵作品より現代日本画の代表的作家である稗田一穂(1920-)や、戦後日本画の革新運動として評価の高い「パンリアル」に参加した作家たちの作品を加え、「日本画」と呼ばれているものの本質に迫ろうと試みた。

担当学芸員：寺口淳治
 関連事業：講演会「今日、日本画とは何か」講師：寺口淳治、6月24日(土)
 講演会「日本画は生きつづける？」講師：野地耕一郎(練馬区立美術館学芸員)、7月8日(土)
 「ミュージアム・トーク(展示解説)」7月16日(日)・17日(月・祝)、寺口淳治
 印刷物：・パンフレット(A4判24頁)
 「『日本画の終焉』という展望？」野地耕一郎
 「アーティスト・インタビュー 出品作家『新恵美佐子さん』に聞く」聞き手：野地耕一郎
 「展覧会の成り立ち」寺口淳治
 ・ポスター(B3判)
 ・ちらし(A4判)
 ・案内はがき
 ・出品目録(A4判両面)



ちらし



案内はがき

パンフレット

備考：練馬区立美術館では「和歌山県立近代美術館名品展－大正の異色画家たち－」が、2006(平成18)年4月22日(土)～6月4日(日)まで開催された。
 関連記事：
 ・「東京・練馬区立美術館と共に見応えある32作家43点 展覧会「現代『日本画』の展望—内と外のあいだで—」『毎日新聞』2006年6月8日、24面
 ・「現代『日本画』の展望—内と外のあいだで—」『わかやま新報』2006年6月8日、5面
 ・「現代『日本画』の展望」『ニュース和歌山』2006年6月10日、5面
 ・「現代『日本画』の展望—内と外のあいだで 概念打ち破る43点を展示」『朝日新聞』2006年6月10日、29面
 ・「現代『日本画』の展望」『わかやま新報』2006年6月13日、6面
 ・「現代日本画の32人 伝統技法に斬新構図」『読売新聞』2006年6月21日、26面
 ・「『日本画とは』テーマに講演」『読売新聞』2006年6月25日、31面
 ・「現代『日本画』の展望—内と外のあいだで—」『WACA-P』vol.8、2006年7月、裏表紙
 ・「紙上ミュージアム 現代『日本画』の展望—内と外のあいだで—」『わかやま新報』2006年6月14日、1面
 ・「紙上ミュージアム 現代『日本画』の展望—内と外のあいだで—」『わかやま新報』2006年6月28日、1面
 ・「紙上ミュージアム 現代『日本画』の展望—内と外のあいだで—」『わかやま新報』2006年7月12日、1面
 ・「現代『日本画』の概念 可能性広げる選択肢」『読売新聞』2006年7月18日、6面
 ・「現代『日本画』の展望」『産経新聞』2006年7月19日、6面
 ・「紙上ミュージアム 現代『日本画』の展望—内と外のあいだで—」『わかやま新報』2006年7月26日、1面

「現代『日本画』の展望—内と外の間で—」出品リスト

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵者【備考】
1	新恵 美佐子	花-3	2005(平成17)	顔料・墨・アクリル絵具、綿布	181×227	個人(練馬区立美術館寄託)
2	三上 誠	作品	1949(昭和24)頃	顔料、紙	151.5×93	練馬区立美術館
3	三上 誠	環・経絡	1967(昭和42)	顔料、紙	120.9×179.1	当館
4	星野 真吾	喪中の作品A	1965(昭和40)	顔料、紙	182×92	当館
5	星野 真吾	暗室の生きもの	1974(昭和49)	顔料、紙	130×162	個人(練馬区立美術館寄託)
6	下村 良之介	雨の断層	1976(昭和51)	顔料・紙粘土、紙	123.5×162	当館
7	大野 信嵩	THE TWO FORMS	1959(昭和34)	墨・顔料、紙	136×121	当館
8	野村 耕	生成	1959(昭和34)	墨・顔料、紙	151×78.5	当館
9	野村 耕	律	1964(昭和39)	紙型・カシュー・油彩、ボード	151.5×90.7	当館
10	下村 良之介	月	1954(昭和29)	顔料、紙	121.7×121.3	当館
11	小野 具定	破船(鯨船)	1960(昭和35)	顔料、紙	65.2×90.9	練馬区立美術館
12	麻田 鷹司	青銅風景	1958(昭和33)	顔料、紙	181.2×227	練馬区立美術館
13	稗田 一穂	月昂	1969(昭和44)	顔料、紙	162×227.7	当館
14	稗田 一穂	群鶴	1978(昭和43)	顔料、紙	154.7×236.2	当館
15	麻山 鷹司	樹々	1955(昭和30)	顔料、紙	145.5×112.1	個人(練馬区立美術館寄託)



No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	所蔵者【備考】
16	小野 具定	不漁	1960 (昭和35)	顔料、紙	131.8×196.8	練馬区立美術館
17	水田 舜人	鳥の精	1964 (昭和39)	顔料、紙	181×227.3	練馬区立美術館
18	佐藤 多持	水芭蕉曼陀羅 (せ)	1967 (昭和42)	顔料、紙	163×546	個人 (練馬区立美術館寄託)
19	麻田 駿司	湖北	1966 (昭和41)	顔料、紙	137×274	財団法人鴨村獎学会
20	奥田 元宋	妙義赤岸	1989 (平成元)	顔料、紙	181×227	練馬区立美術館 [6月18日まで展示]
21	奥田 元宋	秋嶽紅樹	1975 (昭和50)	顔料、紙	222.5×119	練馬区立美術館 [6月20日より展示]
22	小野 具定	冬ざれ	1980 (昭和55)	顔料、紙	260×200	練馬区立美術館
23	土屋 祲一	獄	1989 (平成元)	顔料、紙	215×175	個人 (練馬区立美術館寄託)
24	土屋 祲一	樹	1996 (平成8)	顔料、紙	190×195	個人 (練馬区立美術館寄託)
25	北村 さゆり	water一薫る木立	2003 (平成15)	墨・膠・雲肌麻紙	182×546	個人 (練馬区立美術館寄託)
26	浅見 賢子	Matsu 2	2002 (平成14)	墨・糊・膠・アクリルエマルジョン、雲肌麻紙	180×210	個人 (練馬区立美術館寄託)
27	李 禹煥	点より	1980 (昭和55)	岩彩、キャンバス	193.9×258.8	当館
28	中山 計介	敷島屏風	1991 (平成3)	岩絵具・アクリル絵具、紙本	167×372	個人 (練馬区立美術館寄託)
29	岡村 桂三郎	肉を喰うライオン A	1985 (昭和60)	岩絵具・金箔・雲肌麻紙	227.3×181.8	個人 (練馬区立美術館寄託)
30	小嶋 悠司	穢土 '83	1983 (昭和58)	岩絵の具・金箔・膠・デトランプ、麻布	200×500	個人 (練馬区立美術館寄託)
31	八木 幾朗	海のはじまり	1997 (平成9)	墨・金砂子、紙	253×1544	個人 (練馬区立美術館寄託)
32	斎藤 隆	混沌 (もしくは習作)	1987 (昭和62)	コンテ、紙	203×333	練馬区立美術館
33	伊藤 彰	山水ーうつろふ 2	1997 (平成9)	墨画木炭、紙	210×360	個人 (練馬区立美術館寄託)
34	菊池 武彦	線の気韻1997-3	1997 (平成9)	岩絵具ほか、和紙	194×390	練馬区立美術館
35	菅原 健彦	雲水峠	2003 (平成15)	墨・岩絵具・胡粉・膠・麻紙	266×700	個人 (練馬区立美術館寄託)
36	竹内 啓	明神山 PM6 : 05 2/OCT 1996	1996 (平成8)	岩絵具・土・アクリル絵具・水・合風7号・アクリルアイム、墨	200×350	個人 (練馬区立美術館寄託)
37	新恵 美佐子	花-2	2005 (平成17)	顔料・墨・アクリル絵具、綿布	227×363	個人 (練馬区立美術館寄託)
38	山本 直彰	IKAROS 20032	2003 (平成15)	岩絵具・樹脂膠、白麻紙	201×440	個人 (練馬区立美術館寄託)
39	尾長 良範	ZONE	2003 (平成15)	墨・膠・雲肌麻紙	227.5×181.7	個人 (練馬区立美術館寄託)
40	斎藤 典彦	みなも-rb	2002 (平成14)	岩絵具・膠・絹	230×360	個人 (練馬区立美術館寄託)
41	園家 誠二	View	2005 (平成17)	墨・岩絵具・アクリルガッシュ、雲肌麻紙	190×520	個人 (練馬区立美術館寄託)
42	間島 秀徳	Water Works No.1	1999 (平成11)	墨・アクリル絵具ほか、和紙	230.3×390	個人 (練馬区立美術館寄託)
43	小野 友三	Untitled	1997 (平成9)	岩絵具・膠・雲肌麻紙	173.5×493.2	個人 (練馬区立美術館寄託)
44	武田 州左	GLOBE 光・429	2001 (平成13)	岩絵の具・膠、こうぞ紙	310×1103	個人 (練馬区立美術館寄託)



3. 「森鷗外と美術」展

期：2006(平成18)年9月10日(日)～10月22日(日)
 会館 日：月曜日 [9月18日(月・祝)、10月9日(月・祝)は開館、翌日休館]
 休館 催：和歌山県立近代美術館
 主催 特別協力：森鷗外記念会、文京区立本郷図書館鷗外記念室、森鷗外記念館
 協助 力：紀伊國屋書店
 会員 成：財団法人 地域創造
 観覧 場：展示室B (1階) + C (2階)
 料：800(650)円、大学生500(400)円
 ()内は20名以上の団体料金、高校生以下、65歳以上、障害者の方、県内に在学中の外国人留学生(外国人就学生を含む)は無料
 旨：作家として知られる森鷗外は、公的には文部省美術展覧会(文展)審査員や帝室博物館(現在の東京国立博物館)総長として、近代日本が美術という制度を作り上げる過程に深く関わり、私的にも、留学中にミュンヘンで出会った原田直次郎をはじめ、明治・大正期を代表する美術家と交友を持った。その多方面にわたる活躍を「美術」という視点からとらえなおすことを試みた。
 担当学芸員：宮本久宣
 関連事業：・テーマ講演会「うたかたの記」に登場するふたりの画家について
 10月8日(日)「原田直次郎を知っていますか」講師：宮本久宣
 10月9日(月・祝)「その後の原田直次郎とエクステル」講師：鐸木道剛(岡山大学大学院社会文化科学研究科准教授)
 ・「ミュージアムトーク(展示解説)」9月23日(土・祝)・10月14日(土)、宮本久宣
 印刷物：・図録(菊判368頁)
 「序論 鷗外が見た明治、大正の美術」川西由里(島根県立石見美術館学芸員)
 図版
 資料「原田直次郎作品集」
 資料「徳富蘇峰記念館所蔵 徳富蘇峰宛 原田直次郎書簡」
 「森鷗外と帝室博物館蔵書について」高橋裕次(東京国立博物館文化財部保存修復課保存修復室長)
 「原田直次郎の肖像画をめぐって『原田直次郎作品集』から」宮本久宣
 「森鷗外と肖像」堀切正人(静岡県立美術館主任学芸員)
 「鷗外とミュージアム 遊就館整理事業をめぐって」村上敬(静岡県立美術館学芸員)
 「作家作品解説」川西由里、堀切正人、宮本久宣、村上敬
 「関連年譜」山崎一穎、堀切正人
 ・ポスター(B2判)
 ・ちらし(A4判4頁)
 ・出品目録(A4判8頁)
 関連記事：・「『森鷗外と美術』展 9月10日から10月22日まで」『白浜新聞』2006年8月26日、2面
 ・「文豪 森鷗外と美術 9月10日から近代美術館」『ニュース和歌山』2006年8月30日、6面
 ・「紙上ミュージアム 森鷗外と美術」『わかやま新報』2006年8月30日、1面
 ・「森鷗外と美術 県立近代美術館で9月10日～10月22日」『わかやま新報』2006年8月31日、6面
 ・「森鷗外と美術展 和歌山県立近代美術館 ミュージアムガイド」『日本経済新聞』2006年8月31日、13面
 ・「森鷗外と美術」『近くで、いい旅 電車＆ウォーク』2006年9月号、裏表紙
 ・「和歌山県立近代美術館 森鷗外と美術」『南海沿線ガイド』9・10月号、3頁
 ・「特別展『森鷗外と美術』」『わかやま新報』2006年9月7日、5面
 ・「鷗外ゆかりの絵画一堂に 県立近代美術館『森鷗外と美術』展」『産経新聞』2006年9月15日、26面
 ・「最上聰『森鷗外にちなんだ美術作品を紹介』『毎日新聞』2006年9月19日、21面
 ・「親友の作品や画家をモデルにした小説等250点 近代美術館で森鷗外展」『わかやま新報』2006年9月20日、6面
 ・寺西肇「文豪が見た新時代の美 和歌山県立近代美術館『森鷗外と美術』展」『産経新聞』2006年9月20日、6面

「森鷗外と美術」展出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵先	【図版No】出品期間
-----	-----	-----	-----	-------	--------	-----	------------

- ・奥平俊六「紫明の藝術書紹介 近代日本の青春と洋画『森鷗外と美術』」『藝術文化雑誌 紫明』19、2006年9月20日、108頁
- ・「意外にも繋がっています 文豪・森鷗外と美術の関係」『びあ関西版』2006年9月21日、113頁
- ・「鷗外が美術界に与えた影響探る 近代美術館で企画展」『朝日新聞』2006年9月23日、33面
- ・「紙上ミュージアム 森鷗外と美術展」『わかやま新報』2006年9月27日、1面
- ・田原由紀雄「鷗外『美術紹介者』の顔 和歌山県立近代美術館で展覧会」『毎日新聞』(大阪 夕刊)2006年9月29日、12面
- ・岩本敏朗「啓蒙主義者の美の理想とは 森鷗外と美術 展」『京都新聞』2006年9月30日、9面
- ・「森鷗外と美術」『美術手帖』887、2006年10月1日、美術出版社、212頁
- ・「森鷗外と美術」『びあ関西版』2006年10月5日、122頁
- ・「紙上ミュージアム 森鷗外と美術展」『わかやま新報』2006年10月11日、1面
- ・堀切正人「森鷗外と日本美術の近代化」『聖教新聞』2006年11月15日
- ・山脇佐江子「森鷗外と美術 新たな切り口 新鮮な感興」『日本経済新聞』(夕刊)2006年11月16日
- ・堀切正人「森鷗外と美術 若い画家を発掘、庇護」『静岡新聞』(夕刊)2006年11月25日
- ・「文豪の『もう一つの顔』『森鷗外と美術』展」「十勝毎日新聞」2006年11月25日、12面
- ・「Mori Ogai and Art」『The Japan Times』2006年11月30日
- ・三浦篤「文豪の多面性」『芸術新潮』684、2006年12月1日、新潮社、143頁
- ・西田健作「鷗外を通じ探る近代美術」『朝日新聞』(夕刊)、2006年12月5日
- ・「美術プロデューサー 森鷗外」『山形新聞』2006年12月7日
- ・前田恭二「鷗外が見た近代美術」『読売新聞』2006年12月15日、31面
- ・前田恭二「回顧2006美術 4氏が選んだ展覧会ベスト4」『読売新聞』2006年12月21日、31面
- ・北澤憲昭「展覧会レビュー 森鷗外と美術」『美術手帖』891、2007年2月1日、美術出版社、170-171頁
- ・青木茂「展覧会評 森鷗外と美術」『美術研究』391、2007年3月、東京文化財研究所、232-237頁
- ・安田孝「イヴェント・レビュー『森鷗外と美術』展—近代日本における油彩画の変遷—」『日本近代文学』76、2007年5月15日、日本近代文学会、319-322頁



ポスター



図録



ちらし



第一部 芸術で結ばれた友情 原田直次郎と共に

I 出会い—西洋絵画と「舞姫たち」—

1 ガブリエル・ウォン・マックス	聖女テレーゼ・メルル	1868 (明治元)	油彩、キャンバス	67.8×55.8	島根県立石見美術館	[1]
2 ガブリエル・ウォン・マックス	煙を出す壺を抱く女性	制作年不詳	油彩、キャンバス	85.4×65.2	島根県立石見美術館	[2]
3 ユリウス・エクステル	肖像(自画像)	1886 (明治19)	油彩、キャンバス	60.2×39.3	東京藝術大学大学美術館	[3]
4 原田 直次郎	ガブリエル・マックス像	1884-86 (明治17-19)頃	油彩、キャンバス	39.5×30.4	個人	[4]
5 原田 直次郎	靴屋の阿爺	1886 (明治19)	油彩、キャンバス	60.4×46.5	東京藝術大学大学美術館	[5]
6 原田 直次郎	風景	1886 (明治19)	油彩、キャンバス	76.2×106.7	岡山県立美術館	[6]
7 原田 直次郎	神父	1885 (明治18)	油彩、キャンバス	46×37.8	SBC信越放送株式会社	[7]
8 原田 直次郎	老人像	1886 (明治19)頃	油彩、キャンバス	57.6×42.6	三重県立美術館	[8]
9 原田 直次郎	裸体習作	1886 (明治19)頃	油彩、キャンバス	25.5×18	個人	[9]
10 原田 直次郎	男性像	1886 (明治19)	油彩、板	21×16	個人	[10]
11 原田 直次郎	童女	1885 (明治18)頃	油彩、キャンバス	51×41	石橋財团石橋美術館	[11]
12 原田 直次郎	男性スケッチ	1884 (明治17)	鉛筆、紙	23×30.5	個人	[12]
13 山本 芳翠	月下の裸婦	1882-86 (明治15-19)頃	油彩、キャンバス	60.6×80.3	愛知県美術館	[14]
14 黒田 清輝	編物	1890 (明治23)	油彩、キャンバス	48.7×59.2	東京文化財研究所	[15]
15 浅井 忠	樹下の女	1901 (明治34)頃	油彩、キャンバス	45.8×37.8	石橋財团石橋美術館	[16]
16 藤島 武二	西洋婦人像	1906-07 (明治39-40)頃	油彩、キャンバス	58.3×39.1	島根県立石見美術館	[17]
17 武石 弘三郎	婦人肖像	1907-12 (明治40年代)	大理石	45×48×24	神奈川県立近代美術館	[18]
18 湯浅 一郎	午睡	1909 (明治42)	油彩、キャンバス	45.8×54.8	群馬県立近代美術館管理	[19]
19 南 真造	坐せる女	1908 (明治41)	油彩、キャンバス	112.1×83.3	広島県立美術館	[20]

II 共闘—批評と明治美術の革新—

■日本画の伝統と変革

20 狩野 芳崖	懸崖山水図	1882 (明治15)頃	紙本墨画	87.8×52.7	下関市立美術館	[22]	10/3~
21 狩野 芳崖	懸崖飛沫図	1885 (明治18)頃	紙本墨画	30.2×31.4	山口県立美術館	[23]	~10/1
22 狩野 芳崖	寿老人図	1881-85 (明治14-18)頃	紙本墨画淡彩	183.2×78.5	静岡県立美術館	[24]	~10/9
23 狩野 芳崖	羅漢図	制作年不詳	紙本著色(双幅)	右:134.9×61.9、左:135.2×61.9	山口県立美術館	[25]	~10/1
24 狩野 芳崖	伏龍羅漢	1885 (明治18)	紙本著色	149×89.5	福井県立美術館	[26]	10/11~
25 橋本 雅邦	維摩居士	1885 (明治18)頃	紙本著色	131×60	茨城県近代美術館	[27]	~10/1
26 橋本 雅邦	三井寺	1894 (明治27)	紙本著色	30.5×64	静岡県立美術館	[28]	~10/9
27 橋本 雅邦	風神雷神	1895 (明治28)	紙本著色(双幅)	各138×52	広島県立美術館	[29]	10/3~
28 橋本 雅邦	蘇武図	1898 (明治31)	絹本著色	154×72.3	下関市立美術館	[30]	10/3~
29 下村 観山	ラファエルロ《椅子の聖母》模写	1904 (明治37)	絹本著色	56×54.5	横浜美術館	[31]	10/3~
30 下村 観山	奇襲	1904 (明治37)頃	絹本著色	径114	福井県立美術館	[32]	~10/1
31 横山 大観	赤壁	1902 (明治35)頃	絹本著色	123.5×48.2	茨城県近代美術館	[34]	10/3~
32 横山 大観	曳舟	1905 (明治38)	絹本著色	118.7×50.7	愛媛県美術館	[35]	~10/1
33 菱田 春草	放鶴	1900 (明治33)	絹本著色	166×82.1	愛媛県美術館	[37]	10/3~
34 菱田 春草	苦行	1909 (明治42)	絹本著色	130.6×50.8	姫路市立美術館	[38]	~10/1
35 岡倉 秋水	慈母觀音	1918 (大正7)	絹本著色	177.3×68.7	福井県立美術館	[39]	10/1~
36 岡倉 秋水	矢面	明治・大正期	絹本著色	198.7×141.7	福井県立美術館	[40]	~10/1
37 寺崎 広業	月光燈影	1901 (明治34)	絹本著色	174×85.6	島根県立美術館	[41]	10/3~
38 松本 楓湖	八岐大蛇	1909 (明治42)	絹本著色	150×70	島根県立石見美術館	[42]	10/3~
39 平櫛 田中	五浦釣人	1963 (昭和38)	木彫	高さ113	岡山県立美術館	[43]	

■原田直次郎の挑戦 北派(旧派)の絵画

40 原田 直次郎	毛利敬親肖像下絵	1890 (明治23)頃	コンテ、紙	39×32.6	山口県立山口博物館	[45]
41 原田 直次郎	毛利敬親肖像	1890 (明治23)	油彩、キャンバス	93×65.5	山口県立山口博物館	[46]

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵先	【図版№】	出品期間
-----	-----	-----	-----	-------	--------	-----	-------	------

42	伊藤 快彦	新島襄像	1891(明治24)	油彩、キャンバス	71.5×48.5	同志社中学校	[47]
43	原田 直次郎	風景	1897(明治30)	油彩、キャンバス	76×110.5	東京藝術大学大学美術館	[48]
44	原田 直次郎	花	1896(明治29)	油彩、キャンバス	80×65	岐阜県美術館寄託	[49]
45	原田 直次郎表紙、挿画	『国民之友』69(「舞姫」掲載)	1890(明治23)年1月3日刊	冊子	21.6×14.8	徳富蘇峰記念館	[50]
46		『種草紙』11(「うたかたの記」掲載)	1890(明治23)年8月25日刊	冊子	21.6×14.8	県立神奈川近代文学館	[51]
47	原田 直次郎表紙、挿画	『新著百種』12(「文づかひ」掲載)	1891(明治24)年1月28日刊	冊子	18.8×12.5	島根県立石見美術館	[52]
48	原田 直次郎挿画	『国民之友』58(「於母影」掲載)	1889(明治22)年8月21日刊	冊子	21.6×14.5	徳富蘇峰記念館	[53]
49	原田 直次郎表紙	『国民之友』158	1892(明治25)年6月23日刊	冊子	21.5×14.8	個人	[54]
50	原田 直次郎表紙	『国民之友』160	1892(明治25)年7月13日刊	冊子	21.5×14.8	徳富蘇峰記念館	[55]
51	原田 直次郎表紙	『めさまし草』1	1896(明治29)年1月31日刊	冊子	22×14.9	久米美術館	[56]
52	原田 直次郎表紙	『めさまし草』4	1896(明治29)年4月25日刊	冊子	22×14.9	久米美術館	[57]
53	原田 直次郎表紙	『めさまし草』9	1896(明治29)年9月30日刊	冊子	22×14.9	久米美術館	[58]
54	原田 直次郎表紙	『めさまし草』12	1896(明治29)年12月28日刊	冊子	22×14.9	久米美術館	[59]
55	原田 直次郎表紙	『めさまし草』13	1897(明治30)年1月29日刊	冊子	21.8×14.8	久米美術館	[60]
56	原田 直次郎	素戔鳴尊八岐大蛇退治画稿	1895(明治28)頃	油彩、キャンバス	77.7×53.5	岡山県立美術館	[61]
57	佐久間 文吾	和氣清麻呂奏神教図	1890(明治23)	油彩、キャンバス	135.5×104.8	宮内庁三の丸尚蔵館	[62]
58	本多 錦吉郎	羽衣天女	1890(明治23)	油彩、キャンバス	127.2×89.8	兵庫県立美術館	[63]
59	二世五姓田 芳柳	菅公梅ヲ詠スルノ図	1891(明治24)	油彩、キャンバス	125.5×73.5	宮内庁三の丸尚蔵館	[64]
60	印藤 真権	古代応募兵図	1890(明治23)	油彩、キャンバス	102×90	宮内庁三の丸尚蔵館	[65]
61	川村 清雄	勝海舟江戸開城図	1887(明治20)	油彩、キャンバス	119.8×61.4	東京都江戸東京博物館	[66]
62	川村 清雄	室内	1899-1900(明治32-33)	油彩、板	35.2×27.4	神奈川県立近代美術館	[67]
63	川村 清雄	静物写生	1875(明治8)	鉛筆、紙	33.1×51.5	静岡県立美術館	[68]
64	伊藤 快彦	髑髏	1890(明治23)	油彩、キャンバス	40.5×34	星野画廊	[69]
65	松岡 寿	ピエトロ・ミカの服装の男	1881(明治14)	油彩、キャンバス	47.2×36.7	岡山県立美術館	[70]
66	松岡 寿	森と小川	1895(明治28)	油彩、キャンバス	23.2×32.6	千葉県立美術館	[71]
67	中村 不折	裸体	1903-05(明治36-38)頃	油彩、キャンバス	99.8×79.7	島根県立石見美術館	[72]
68	山本 芳翠	秋の奥日光	1890(明治23)	油彩、キャンバス	178.2×116.2	株式会社精養軒(上野精養軒)	[73]
69	小山 正太郎	仙台の桜	1881(明治14)	油彩、キャンバス	39.5×60.8	新潟県立近代美術館・万代島美術館	[74]
70	岡 精一	川辺の小舟	1890(明治23年)頃	油彩、キャンバス	40.6×73.5	大阪市立近代美術館建設準備室	[75]
71	五百城 文哉	袋田の滝	1892(明治25)頃	油彩、キャンバス	72×49	茨城県立近代美術館	[76]
72	五百城 文哉	春日山春景図	1890(明治23)	油彩、キャンバス	39.5×79	栃木県立美術館	[77]
73	小泉 成一	小春ノ日和	1888(明治21)	油彩、キャンバス	57×79.5	新潟県立近代美術館・万代島美術館	[79]
74	三輪 大次郎	漁夫補綱	1891(明治24)	油彩、キャンバス	62.5×94.5	宮内庁三の丸尚蔵館	[80]
75	渡部 審也	猿曳図	1898(明治31)頃	油彩、キャンバス	65.5×45.6	岐阜県美術館	[81]
76	印藤 真権	虚鐸之秘曲『小宴記念』	1895(明治28)	水彩、紙	15.8×25	岐阜県美術館	[82-1]
77	龜井 至一	少女『小宴記念』より	1895(明治28)	水彩、紙	24.5×17.6	岐阜県美術館	[82-2]
78	原田 直次郎	風景『小宴記念』より	1895(明治28)	水彩、紙	15×10.2	岐阜県美術館	[82-4]
79	本多 錦吉郎	野路のむら雨『小宴記念』より	1895(明治28)	水彩、紙	13×21.9	岐阜県美術館	[82-5]
80	渡部 金秋	清盛之栄花『小宴記念』より	1895(明治28)	水彩、紙	12.5×21.8	岐阜県美術館	[82-7]
81	渡辺 文三郎	松島秋月『小宴記念』より	1895(明治28)	水彩、紙	15.2×24.5	岐阜県美術館	[82-8]
82	石井 鼎湖	農婦『小宴記念』より	1895(明治28)	水彩、紙	24.3×15.2	岐阜県美術館	[82-9]
83	石田 益敏	風景『小宴記念』より	1895(明治28)	水彩、紙	9.9×15.1	岐阜県美術館	[82-10]
84	波々伯部 梶四郎	伯爵伊藤博文君肖像『小宴記念』より	制作年不詳	石版、紙	31.9×24.2	岐阜県美術館	[82-11]
85	東城 錦太郎	軍人のいる風景『小宴記念』より	1895(明治28)	水彩、紙	15.3×24.3	岐阜県美術館	[82-12]
86	渡部 審也	鹿のいる風景『小宴記念』より	1895(明治28)	水彩、紙	11.4×22.4	岐阜県美術館	[82-13]
87	河久保 正名	海辺風景『小宴記念』より	1895(明治28)	水彩、紙	16×24.2	岐阜県美術館	[82-14]

■黒田清輝の登場 南派(新派)の絵画

88	黒田 清輝	ボーラーの黄葉	1891(明治24)	油彩、キャンバス	65.4×80.8	島根県立石見美術館	[83]
89	黒田 清輝	洋燈と二児童	1891(明治24)	油彩、キャンバス	100.4×81	ひろしま美術館	[84]
90	黒田 清輝	裸体	1889(明治22)	油彩、キャンバス	80×43.8	島根県立石見美術館	[85]
91	黒田 清輝	暖かき日	1897(明治30)	油彩、キャンバス	50.2×61	愛知県美術館	[86]
92	黒田 清輝	昼寝	1894(明治27)	油彩、キャンバス	49.8×61	東京文化財研究所	[87]
93	黒田 清輝	大磯鳴立庵	1896(明治29)	油彩、キャンバス	25×36.2		[88]
94	黒田 清輝	昔語り下絵(構図)	1896(明治29)	油彩、キャンバス	41.1×63.3	東京文化財研究所	[89]
95	黒田 清輝	昔語り下絵(舞妓)	1896(明治29)	油彩、キャンバス	94.4×46.8	東京文化財研究所	[90]
96	黒田 清輝	浜の夕映	1913(大正2)	油彩、板	37.7×26.1	府中市美術館	[92]
97	久米 桂一郎	果園の春	1890(明治23)	油彩、板	23.5×32.3	府中市美術館	[94]
98	久米 桂一郎	秋景	1892(明治25)	油彩、キャンバス	39×55	愛知県美術館	[95]
99	久米 桂一郎	秋景	1895(明治28)	油彩、キャンバス	99.2×73	久米美術館	[96]
100	和田 英作	富士	1899(明治32)	油彩、キャンバス	39.5×51.6	府中市美術館	[98]
101	和田 英作	読書	1902(明治35)	油彩、キャンバス	73.6×54	石橋財团石橋美術館	[99]
102	長原 孝太郎	牛肉屋の二階	1892(明治25)	水彩・インク、紙	18.6×24.3	三重県立美術館	[100]
103	長原 孝太郎	焼芋屋	制作年不詳	水彩・インク、紙	23×30.6	三重県立美術館	[101]

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵先	【図版№】	出品期間
-----	-----	-----	-----	-------	--------	-----	-------	------



■美学、美術史学、美術解剖学の紹介

104	長原 孝太郎	第6回白馬会ポスター	1901(明治34)	石版、紙	48.2×33.8	三重県立美術館	[102]	~10/1
105	長原 孝太郎	第9回白馬会ポスター	1904(明治37)	石版、紙	39.3×46.8	三重県立美術館	[103]	10/3~
106	藤島 武二	桜の美人	1892-93(明治25-26)頃	油彩、キャンバス	56×38	石水博物館	[104]	
107	湯浅 一郎	漁家	1898(明治31)	油彩、キャンバス	61×81.5	群馬県立近代美術館	[105]	
108	湯浅 一郎	画室	1901-03(明治34-36)	油彩、キャンバス</td				

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵先	[回観]	出品期間
-----	-----	-----	-----	-------	--------	-----	------	------



147	原田 直次郎	風景（箱根）	1892（明治25）	水彩、紙	26.5×36.5	個人	[149]
148	原田 直次郎	上野東照宮	1889（明治22）	油彩、キャンバス	75.5×58.5	個人	[150]
149	小林 萬吾	芝増上寺	1892-93（明治25-26）	油彩、キャンバス	97.3×180	愛媛県美術館	[151]
150	安藤 伸太郎	日本の寺の内部	1893（明治26）	油彩、キャンバス	107.3×76.7	神奈川県立近代美術館	[152]
151	原田 直次郎	賛頤御肖像（明治天皇騎馬像）	1892（明治25）	木口木版、紙	43.5×31.9	島根県立美術館	[154]
152	合田 清	刻 明治天皇肖像	1890（明治23）	木口木版、紙	21.6×15.8	島根県立美術館	[155]
153	伊藤 快彦	原田 直次郎《靴屋の阿翁》模写	不詳	油彩、キャンバス	54×42	京都市美術館	[156]
154	伊藤 快彦	江の島風景	1891（明治24）	油彩、キャンバス	32.5×48.5	東京国立博物館	[157]
155	和田 英作	海神	1918（大正7）	油彩、キャンバス	53×40.8	島根県立石見美術館	[158]
156	長原 孝太郎	自画像	1900（明治33）	油彩、キャンバス	45.5×33.5	三重県立美術館	[159]
157	三宅 克己	農村風景	1896（明治29）	水彩、紙	28.5×48.5	島根県立石見美術館	[161]
158	大下 藤次郎	シドニー	1898（明治31）	水彩、紙	22.6×33.2	島根県立石見美術館	[162]
159	大下 藤次郎著・森 鶴外題言	『水彩画の某』	1901（明治34）	冊子	15.5×11	島根県立石見美術館	[165]
160	森 鶴外	『水彩画の某』題言	1901（明治34）	墨、紙	17.7×100.2	島根県立石見美術館	[166]
161		『大下藤次郎造作集』	1912（大正元）	冊子	19.5×12.9	島根県立石見美術館	[167]
162	原田 直次郎	徳富蘇峰宛書簡	1891（明治24）年8月24日	墨、紙	本紙:18.3×28.7、戯画:12×24	徳富蘇峰記念館	[168]
163	原田 直次郎	遠近法（翻訳草稿および仏語原書）	不詳	墨・朱墨、紙(9冊)			
		目次:25.1×17、第1編:25.1×17.3、第2編:25.1×17.2、第3編:25.1×17.2、第4編:25×16.9、第5編:25.4×17、蔭影法:25.1×17.					
		原書:Armand Cassagne "Traite Pratique de Perspective" Paris, 1884 22.6×14.8、下書きノート:20.2×12.6					
		東京国立博物館					[169]

第2部 芸術がもたらした栄光と活躍 鷗外の多面性

164	五姓田 芳柳	明治九年神風党暴動時刀創図	1876（明治9）	紙本著色	25.8×18.5	個人	[170]
165	五姓田 芳柳	明治十年西南役外科図	1877（明治10）	紙本著色	32.5×26.7	個人	[171]
166	五姓田 芳柳	明治天皇大阪臨幸臨時病院行幸の図	1878（明治11）頃	絹本着色	80×125	靖国神社遊就館	[172]
167	黒田 清輝	足立寛像	1913（大正2）	油彩、キャンバス	72.7×58.8	個人	[175]
168	岡田 三郎助	小池正直像	1908（明治41）	油彩、キャンバス	58.9×47.7	個人	[176]
169	新海 竹太郎	山県有朋像	1911（明治44）	ブロンズ	高さ45	個人	[180]
170	岡田 三郎助	山県有朋像	1913（大正2）	油彩、キャンバス	40.9×31.8	愛知県美術館	[181]
171	新海 竹太郎	青山胤道博士首像	1920（大正9）	ブロンズ	高さ57	山形美術館	[182]
172	和田 英作	小金井良精像	1910（明治43）	油彩、キャンバス	91×73	東京大学医学部解剖学教室	[183]
173	和田 英作	片山國嘉像	1913（大正2）	油彩、キャンバス	91.5×65.5	東京大学医学部法医学教室	[184]
174	亀井 茲明	「明治二十七八年輓役寫真帖」上・下	1897（明治30）	コロタイプ印刷、冊子(2冊)			
		上:28.5×40×3、下:28.3×40.3×3.5					
		財団法人 亀井温故館					[185]
175	浅井 忠	花園口上陸図	1894-95（明治27-28）	水彩、紙	16.5×44	佐倉市立美術館	[187]
176	浅井 忠	平壌大同江凍光亭	1894（明治27）	ペン・水彩、紙	21.2×33.2	千葉県立美術館	[189]
177	川村 清雄	海底に遺る日清勇士の髑髏	1899（明治32）以前	漆絵、板	42.8×81	静岡県立美術館	[191]
178	能久親王書・森 鶴外跋	伴戦扶勞	1917（大正6）	墨、紙	69.8×57.2	個人	[192]
179	日名子 実三	軍医学校五十周年記念塔レリーフ「軍医学校旧校舎」	1937（昭和12）	ブロンズ	35×59.3	個人	[194-1]
180	日名子 実三	軍医学校五十周年記念塔レリーフ「衛生部員の活躍」	1937（昭和12）	ブロンズ	35×59.3	個人	[194-2]
181	日名子 実三	軍医学校五十周年記念塔レリーフ「軍陣衛生学の振興」	1937（昭和12）	ブロンズ	35×59.3	個人	[194-3]
182	森林 太郎	第二軍軍医部長臨時報告書	1904（明治37）	冊子	24.7×17.3	個人	[197]

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵先	[回観]	出品期間
-----	-----	-----	-----	-------	--------	-----	------	------

V 鷗外と展覧会、博物館

183	中村 不折	白頭翁	1907（明治40）	油彩、キャンバス	200.2×136.6	個人	[199]
184	長原 孝太郎	風神	1910（明治43）	油彩、キャンバス	116.6×80.9	大阪市立美術館	[200]
185	長原 孝太郎	明星	1930（昭和5）	油彩、キャンバス	129.5×79.3	岐阜県美術館	[201]
186	橋本 邦助	秋の花	1907（明治40）	油彩、キャンバス	121.5×60.5	栃木県立美術館	[202]
187	岡田 三郎助	黒き帶	1915（大正4）	油彩、キャンバス	105.5×59	島根県立石見美術館	[203]
188	永地 秀太	しばり	1913（大正2）	油彩、キャンバス	91.5×65.5	山口県立美術館	[204]
189	森脇 忠	女の裸体	1922（大正11）	油彩、キャンバス	152×102	京都市美術館	[205]
190	石井 柏亭	漁船	1913（大正2）	グッショ、紙	52.5×73	個人	[206]
191	藤島 武二	カンピドリオのあたり	1919（大正8）	油彩、キャンバス(2点組)	各188×94.4	大阪市立近代美術館建設準備室	[208]
192	満谷 國四郎	杏花	1920（大正9）	油彩、キャンバス	112×136.4	大阪市立近代美術館建設準備室	[209]
193	中川 八郎	初秋の夕	1919（大正8）	油彩、キャンバス	94.5×121.6	島根県立石見美術館	[210]
194	和田 英作	風景	1914（大正3）	油彩、キャンバス	52.2×71.6	島根県立石見美術館	[211]
195	鹿子木 孟郎	加茂の森	1923（大正12）	油彩、キャンバス	100×100	島根県立石見美術館	[212]
196	新海 竹太郎	羅漢像	1908（明治41）	ブロンズ	83×125	山形美術館	[213]
197	北村 四海	空想に耽り居る女	1916（大正5）	大理石	61.5×30×31	新潟県立近代美術館・万代島美術館	[214]
198	武石 弘三郎	母	1917（大正6）	ブロンズ	35×20.5×25.5	新潟県立近代美術館・万代島美術館	[215]
199	建島 大夢	子供	1917（大正6）[191(平成6)寄付]	ブロンズ	91.5×37.5×20	当館	[216]
200	高村 真夫	春日野	1911（明治44）	油彩、キャンバス	121.5×152	新潟県立近代美術館・万代島美術館	[219]
201		「鷗外遺稿博物館蔵書者略伝」貰	1918-22（大正7-11）	冊子	23.7×15.9	東京国立博物館	[226]
202		「鷗外遺稿博物館書目解題」漆、玖	1918-22（大正7-11）	冊子(2冊)	23.8×16.3	東京国立博物館	[227]

VI 次世代へのまなざし

203	藤島 武二	マンドリンを弾く女	不詳	油彩、キャンバス	46×38	朝日新聞社	[228]
204	鷗野 輝、星子著・藤島 武二著	『毒草』	1904（明治37）5月29日刊	冊子	14.5×14.8	当館	[229]
205	細川 美作表紙・長原 孝太郎裏表紙	『明星』100	1908（明治41）11月5日刊	冊子	26×18.8	県立神奈川近代文学館	[231]
206	細川 美作表紙・高村 光太郎裏表紙	『スバル』10					

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵先	【図版番】	出品期間
227	木下 垣太郎	自画像	1905(明治38)	水彩、紙	28.7×21.3	県立神奈川近代文学館	【264】	
228	木下 垣太郎	助六	不詳	油彩、板	33×23.8	個人	【266】	
229	木下 垣太郎	『唐草表紙』	1915(大正4)年2月10日刊	冊子	19.1×13.2	県立神奈川近代文学館	【267】	
230	木下 垣太郎・小林 潤太郎装丁	『食後の唄』	1917(大正5)年12月10日刊	冊子	15.2×13.2	当館	【268】	
231	中村 祐	洲崎義郎氏の肖像	1919(大正8)	油彩、キャンバス	83×64	新潟県立近代美術館・万代島美術館	【269】	
232	宮芳 平	自画像	1914(大正3)	油彩、板	30.5×23.1	安曇野市豊科近代美術館	【270】	
233	宮芳 平	椿	1914(大正3)	油彩、キャンバス	209×126	安曇野市豊科近代美術館	【272】	
234	宮芳 平	歌	1915(大正4)	油彩、キャンバス	106×66.6	文京区立本郷図書館鶴外記念室	【273】	
235	村山 梶多	自画像	1918(大正7)	油彩、キャンバス	52×44.2	大阪市立美術館	【275】	
236	村山 梶多	男性裸体	1917-18(大正6-7)	油彩、キャンバス	45.4×33.8	個人	【276】	
237	村山 梶多	山本だけの肖像	1915(大正4)	木炭、紙	54×46	横浜美術館	【277】	10/3~
238	村山 梶多	友人の像	1917(大正6)	木炭、紙	97.1×60.7	大阪市立美術館	【278】	~10/1
239	広川 松五郎	火犬-ソラトラウストより	1918(大正7)	木版、紙	23.8×18	個人	【279】	
240	生田 長江	『ツアラトゥストラ』	1911(明治44)年1月3日刊[再版10月10日]	冊子	23.2×16.5	個人	【280】	
241		『我等』7	1914(大正3)年7月1日刊	冊子	22.4×15.2	新宮市立佐藤春夫記念館	【281】	
242	原 勝四郎	画工像	1932(昭和7)	油彩、ポール紙	65×52.8	当館	【282】	
243	橋口 五葉	化粧の女	1918(大正7)	木版、紙	51.2×36.3	当館	【283】	
244	平福 百穂画・徳富 蘇峰賛・跋文 森 鶴外	過眼小景帖	1919(大正8)	紙本墨画淡彩	画・譜各17×10.5、序文17×23.8、跋分17×22.7	徳富蘇峰記念館	【288】	
245	吉田 博	風景	1911-20(明治44-大正9)頃	油彩、キャンバス	60.6×50	島根県立石見美術館	【289】	
246		『明星』2-3「鶴外先生記念号」	1922(大正11)年8月1日刊	冊子	24×19	個人	【294】	
247		『明星』2-4「鶴外先生第二記念号」	1922(大正11)年9月1日刊	冊子	24×19	個人	【295】	
248		『新小説』27-9「臨時増刊 文豪鶴外森林太郎」	1922(大正11)年8月3日刊	冊子	22.2×14.8	個人	【296】	
249		『三田文学』13-8「鶴外先生追悼号」	1922(大正11)年8月1日	冊子	22.1×14.7	個人	【297】	
250	森 於菟、森 潤三郎編	『鶴外遺珠玉と思ひ出』	1933(昭和8)年12月15日	冊子	20.3×14.2	新宮市立佐藤春夫記念館	【298】	
251	武石 弘三郎	森鶴外レリーフ	1962(昭和37)	ブロンズ	60.5×69×3.5	文京区立本郷図書館鶴外記念室	【299】	
252	高田 博厚	森鶴外レリーフ	1962(昭和37)	石膏、著色	46×30.5×10	新宮市立佐藤春夫記念館	【300】	
■美術家たちの装丁による鶴外の著書								
253	森 鶴外著・木下 垣太郎装丁	『ファウスト』第1部、第2部	第1部:1913(大正2)年1月15日、冊子 第2部:3月22日刊		各19×13	文京区立本郷図書館鶴外記念室	【304】	~10/1:第1部、 10/3~:第2部
254	森 鶴外著・木下 垣太郎装丁	『マクベス』	1913(大正2)年7月23日刊	冊子	19×13	文京区立本郷図書館鶴外記念室	【305】	10/3~
255	森 鶴外著・木下 垣太郎装丁	『ギョツツ』	1916(大正5)年5月5日刊	冊子	19.4×13.3	島根県立石見美術館	【308】	
256	森 鶴外著・久保田 米齋装丁	『黄金杯』	1910(明治43)年1月1日刊	冊子	22.5×15	文京区立本郷図書館鶴外記念室	【309】	
257	森 鶴外著・杉浦 非水装丁	『恋愛三昧』	1913(大正2)年2月21日刊	冊子	15.5×9.3	文京区立本郷図書館鶴外記念室	【310】	~10/1
258	森 鶴外著・長原 止水装丁	『即興詩人』上・下	1902(明治35)年9月1日刊	冊子	23×16	文京区立本郷図書館鶴外記念室	【313】	~10/1:上巻、 10/3~:下巻
259	森 鶴外著・長原 止水装丁	『玉匣両浦島』	1902(明治35)年12月29日刊	冊子	15×10.5	島根県立石見美術館	【314】	
260	森 鶴外著・長原 止水装丁	『謎』	1914(大正3)年5月5日刊	冊子	19×12.8	島根県立石見美術館	【316】	
261	森 鶴外著・中村 不折装丁	『人の一生 飛行機』	1911(明治44)年1月1日刊	冊子	22.3×15	島根県立石見美術館	【317】	10/3~
262	森 鶴外著・橋口 五葉装丁	『十八十話』	1913(大正2)年5月25日刊	冊子	19×13	個人	【318】	
263	森 鶴外著・橋口 五葉装丁	『青年』	1913(大正2)年2月10日刊	冊子	19×13	島根県立石見美術館	【319】	
264	森 鶴外著・橋口 五葉装丁	『天保物語』	1914(大正3)年5月7日刊	冊子	22.3×15	島根県立石見美術館	【320】	~10/1
265	森 鶴外著・橋口 五葉装丁	『塵泥』	1915(大正4)年12月23日刊	冊子	19×12.8	島根県立石見美術館	【321】	
266	森 鶴外著・藤島 武二装丁	『寂しき人々』	1911(明治44)年7月20日刊	冊子	22.2×15.2	島根県立石見美術館	【323】	
267	森 鶴外著・藤島 武二装丁	『蛙』	1919(大正8)年5月13日刊	冊子	22.4×15.3	島根県立石見美術館	【324】	
■美術家たちより、鶴外と家族宛の葉書								
268	寺崎 広業	森鶴外宛葉書	1904(明治37)年10月15日付		14.1×9	文京区立本郷図書館鶴外記念室	【327】	~10/1
269	寺崎 広業	森鶴外宛葉書	1904(明治37)		14×9	文京区立本郷図書館鶴外記念室	【328】	10/3~
270	大下 薫次郎	森鶴外宛葉書	1907(明治40)年1月1日付		14×9	文京区立本郷図書館鶴外記念室	【329】	~10/1
271	大村 西崖	森鶴外宛葉書	1907(明治40)年11月10日付		14.3×8.7	文京区立本郷図書館鶴外記念室	【330】	10/3~
272	下村 観山	森鶴外宛葉書	1910(明治43)年1月3日付		14.2×9	文京区立本郷図書館鶴外記念室	【333】	~10/1
273	高村 光太郎	森鶴外宛葉書	1910(明治43)年2月3日付		14.1×9	文京区立本郷図書館鶴外記念室	【335】	10/3~
274	山本 鼎	森鶴外宛葉書	1908(明治41)年1月14日付		13.9×8.9	文京区立本郷図書館鶴外記念室	【337】	~10/1
275	フリット・ルンプ	森鶴外宛葉書	1910(明治43)年12月21日付		14.2×9.1	文京区立本郷図書館鶴外記念室	【338】	10/3~
276	山本 鼎	森鶴外宛葉書	1914(大正3)年1月1日付		13.9×8.9	文京区立本郷図書館鶴外記念室	【340】	~10/1
277	村山 梶多	森鶴外宛葉書	1908(明治41)年9月15日付		14.1×9	文京区立本郷図書館鶴外記念室	【350】	10/3~
278	村山 梶多	森鶴外宛葉書	1912(明治45)年1月1日付		14.1×8.9	文京区立本郷図書館鶴外記念室	【352】	~10/1
279	村山 梶多	森鶴外宛葉書	1912(大正元)年11月6日付		14.1×9	文京区立本郷図書館鶴外記念室	【353】	10/3~

4. 科学の感情ーあたらしい時代の感覚と表現ー

会 休館日：2006(平成18)年11月3日(金・祝)～12月17日(日)
 会 休館日：日：月曜日(祝日の場合は翌日)
 会 休館日：催：和歌山県立近代美術館
 会 休館日：場：展示室C(2階)
 会 休館日：観覧料：一般・400(350)円、大学生・250(200)円
 会 休館日：()は20名以上の団体料金。高校生以下、65歳以上、障害者の方、県内に在学中の外国人留学生(外国人就学生を含む)は無料
 会 休館日：旨：産業革命以降の西欧で発展した近代科学とその技術を急いで取り入れた近大の日本。科学技術の正確さ、生産性、力強さ、スピードなどがもたらしたものに、人々が抱いたさまざまな思いは、美術作品のなかにもあらわれている。この展覧会では、科学に出会った作家たちが美術作品の上に反映させた感情を見なおすことによって、科学の時代といわれる今、近代美術のあらたな魅力を発見しようとした。

担当学芸員：植野比佐見

関連事業：「ミュージアムトーク(展示解説)」11月4日(土)・11月23日(木・祝)、植野比佐見

印刷物：パンフレット(A5判16頁)

「はじめに」「科学としての近代絵画」「細密描写のこころ」「科学技術と表現」「新しいモチーフの発見」「科学の新しい目で」「おわりに」植野比佐見

・ちらし(A4判)
 ・出品目録(B5判6頁)

関連記事：「科学の進展…感情や芸術にどう影響」『毎日新聞』2006年10月26日、33面

・「科学の感情 県立近代美術館で3～12月7日」『わかやま新報』2006年11月2日、6面

・「紙上ミュージアム 科学の感情ーあたらしい時代の感覚と表現ー」『わかやま新報』2006年11月8日、1面

・「科学の時代 感覚と表現 近代美術館 高井貞二回顧展も」『ニュース和歌山』2006年11月15日

・「紙上ミュージアム 科学の感情ーあたらしい時代の感覚と表現ー」『わかやま新報』2006年11月22日、1面

・「紙上ミュージアム 科学の感情ーあたらしい時代の感覚と表現ー」『わかやま新報』2006年12月5日、1面

・「科学が私たちの感覚と美術表現をどう変えたか 県立近代美術館で企画展」『毎日新聞』2006年12月12日、26面

・「科学の感情 作品を一堂に 県立近代美術館」『産経新聞』2006年12月14日、26面

科学の感情ーあたらしい時代の感覚と表現ー

2006.11.3FRI ~ 12.17

「科学の感情ーあららしい時代の感覚と表現ー」出品リスト

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材料	寸法(cm)	備考
■プロローグ・ヨーロッパにおける「科学時代」の表現						
1	デュフィ、ラウル	電気の精(10点組)	1953(昭和28)	リトグラフ、紙	各100×62	個人蔵
2	ロート、アンドレ	ミルマンドの城壁	制作年不詳	油彩、キャンバス	33×24	
3	ロート、アンドレ	風景	制作年不詳	水彩、紙	35.4×53.8	
4	ピカソ、パブロ	泣く女	1937(昭和12)	銅版、紙	69×49.2	
5	ピカソ、パブロ	貧しき食事	1904(明治37)/1913(大正2) ゴラール版	銅版、紙	46.3×38	
6	チャベック、カレル	「ダーシェンカ あるいは子犬の物語」(初版)	1933(昭和8)	冊子	28.4×21	
7	チャベック、カレル	「RUR DRAMA」(第4版)	1922(大正11)	冊子	21.8×14.7	
8	チャベック、カレル	「RUR」(ロッサム・ユニヴァーサル・ロボット)(第6版)	1924(大正13)	冊子	21.8×14.7	
9~17	グレーズ、メツアンジエ共著	「キュビズムについて」	1947(昭和22)	冊子	27.1×22.1	
10	メツアンジエ、ジャン	無題	1947(昭和22) 刷	銅版、紙	17.4×12.8	
11	ローランサン、マリー	無題	1947(昭和22) 刷	銅版、紙	17.5×12.7	
12	グレーズ、アルベル	無題	1946(昭和21)/1947(昭和22) 刷	銅版、紙	17.5×12.5	
13	レジェ、フェルナン	無題	1945(昭和20)/1947(昭和22) 刷	銅版、紙	16.5×12.7	
14	グリス、ファン	無題	1947(昭和22) 刷	銅版、紙	17.7×13.9	
15	ピカビア、フランシス	無題	1907(明治40)/1947(昭和22) 刷	銅版、紙	17.3×12.6	
16	ヴィヨン、ジャック	無題	1921(大正10)/1947(昭和22) 刷	銅版、紙	7.6×12.8	
17	デュシャン、マルセル	無題	1947(昭和22) 刷	銅版、紙	17.4×7	
■科学としての近代絵画						
18	神中 糸子	模写「風景」	1878~80(明治11~13)	鉛筆、紙	15.5×23.4	
19	神中 糸子	模写「ローマ水道跡」	1878~80(明治11~13)	鉛筆、紙	12.5×23.5	
20	神中 糸子	飯田町風景	1879(明治12)	鉛筆、紙	18.7×23.9	
21	神中 糸子	風景	1878~80(明治11~13)	鉛筆、紙	13.2×20.8	
■細密描写のこころ：科学の目と表現						
22	徳力 富吉郎	人形	1927(昭和2)	顔料、紙	40×51.4	
23	岡本 神草	舞妓図	1920(大正9)頃	顔料、絹	42×51	
24	杉田 勇次郎	蔬菜	1925(大正14)頃	顔料、絹	45.5×52.5	
25	伊藤 草白	葡萄之図	1925(大正14)	顔料、絹	41.9×51.4	
26	日高 昌克	草	1923(大正12)	顔料、絹	39.4×44.8	
■科学技術と表現：新しい技術・リトグラフと銅版画						
27	ロートレック、アンリ・ド・トゥールーズ アリストイド・ブリュアン	『聖アトワースの誘惑 第3集』より(3点)	1893(明治26)	リトグラフ、紙	139×99.8	個人蔵
28~30	ルドン、オディロン	『聖アトワースの誘惑 第3集』より(3点)	1896(明治29)	リトグラフ、紙		
31	ムンク、エドヴァルト	病める子	1896(明治29)	リトグラフ、紙	42×52	
32	熊澤 喜太郎 [版元]	御祭禮	1892(明治25)	リトグラフ、紙	36.1×26.7	
33~35	織田 一磨	『東京風景』より(3点)	1916(大正5)	リトグラフ、紙		
36	ゴヤ、フランシスコ	上野廣小路(40.3×28.5)、駿河臺(39.4×28.9)、愛宕山(41.8×26)		銅版、紙	15.5×19.2	個人蔵
37	ゴヤ、フランシスコ	人食い禿鷲『戦争の惨禍』	1906(明治39)	銅版、紙	20.2×31.6	個人蔵
38	ゴヤ、フランシスコ	【ムーア人の闘牛】『闘牛技』	1937(昭和12)	銅版、紙	34.7×21.8	
39	ブラック、ジョルジュ	コンポジション(静物 I)	1911(明治44)	銅版、紙	20×28.1	
40	長谷川 潔	ヴォルクスの村	1927(昭和2)	銅版、紙	13.4×37.9	個人蔵
41	長谷川 潔	南仏古村(ムーアン・サルトゥー)	1925(大正14)	銅版、紙	17×30	
42	駒井 哲郎	エッフェル塔と雲	1933(昭和8)	銅版、紙	15.5×19.5	
43	曾我尾 武治	足場	1942(昭和17)	銅版、紙	72.5×54.5	
44	曾我尾 武治	船の修理所	1936(昭和11)	銅版、紙	43×36	
		入江(滞船)	1940(昭和15)	銅版、紙		



No.	作者名	作品名	制作年	技法・材料	寸法(cm)	備考
■科学技術と表現 印刷物・写真・映画をめぐって						
45	『方寸』3-9 [図版] バーナード・リーチ《[無題]》	1909(明治42) 年12月10日、方寸社	冊子	リトグラフ、紙	31.2×22.7	
46	『方寸』4-1 織田一磨《初冬の曇り日》	1910(明治43) 年1月10日、方寸社	リトグラフ、紙	22.6×15.1		
47	『方寸』2-4 石井柏亭《体業》	1908(明治41) 年5月20日、方寸社	リトグラフ、紙	20.6×12.1		
48	『エッチング』63 [図版] 曾我尾武治《春浅き水辺》	1938(昭和13) 年1月15日、日本エッティング研究所	冊子	26.7×19.4		
49	『エッチング』87 [図版] 長谷川潔《静物(花)》	1940(昭和15) 年2月15日、日本エッティング研究所	冊子	26.3×19.2		
50	『エッチング』106 [図版] 駒井哲郎《河岸》	1941(昭和16) 年11月15日、日本エッティング研究所	冊子	26.4×18.8		
■科学技術と表現 印刷物・写真・映画をめぐって						
51	佐伯 祐三	ポスターとロウソク立て	1925(大正14)	油彩、キャンバス	45.5×53.6	
52	川口 航外	水差しのある静物	1925(大正14)	油彩、キャンバス	80×65.7	
53	川口 航外	静物	1927~29(昭和2~4)	油彩、キャンバス	73.4×60.4	
54	石垣 栄太郎	拳闘	1925(大正14)	油彩、キャンバス	75.4×91.2	
55	瑛 九	犬と女	1950(昭和25)	フォトデッサン、印画紙	21.9×28.1	
56	瑛 九	愛撫	1951(昭和26)	フォトデッサン、印画紙	26.3×21.9	
57	瑛 九	フォトデッサン	制作年不詳	フォトデッサン、印画紙	20.2×25.2	
58	瑛 九	顔	制作年不詳	フォトデッサン、印画紙	27.8×22	
59	高井 貞二	キャメラ	1938(昭和13)	油彩、キャンバス	112×145.5	
60	恩地 孝四郎	邦楽座内景『新東京百景』	1929(昭和4)	木版、紙	18.6×24.3	
61	武田 新太郎	[映画館]	制作年不詳	木版、紙	52.8×39.8	
62	谷中 安規	月のロケーション	1935(昭和10)	木版、紙	15×15.4	
63	谷中 安規	[ムッタ・ハウス]	1933(昭和8)	木版、紙	16.6×21	
64	谷中 安規	ロケーション	1933(昭和8)	木版、紙	14.1×19	
65	山口 進	静物	1926(大正15/昭和元)	木版、紙	23.8×16.3	
66	前田 藤四郎	時計	1932(昭和7)	リノカット・銅凸	26.5×34	
67	恩地 孝四郎	サークス(ハーゲンベック・サークスの印象)	1933(昭和8)	木版、紙	44.3×34.1	
68	恩地 孝四郎	南海への思念	1942(昭和17)	木版、紙	84.2×51.8	
69	石垣 栄太郎	街	1925(大正14)	油彩、キャンバス	126.0×91	
70	高井 貞二	感情の遊離	1932(昭和7)	油彩、キャンバス	150.7×91	
71~72	恩地 孝四郎	『蟲・魚・介 アオイ書房十週年記念書窓版画帖十連聚其八』	1943(昭和18) 年3月15日、アオイ書房			
73	アブノワ、ワルワーラ	71 蜂(木版、紙 26.6×41.3)、72 カブトムシ(木版、紙 26.2×41.3)	1934(昭和9) 年10月10日、版画荘	リトグラフ、紙	31×45.6	
74	麻田 辨次	「ブーシキン『葬儀屋』中村省三郎訳」	1931(昭和6) 年11月15日、大衆版画協会	木版、紙	30.1×22.1	
75	藤牧 義夫	『大衆版画』2 表紙	1931(昭和6) 年11月15日、大衆版画協会	木版、紙	30.1×22.1	
76		『新版画』7 『ねま』	1933(昭和8) 年1月1日、新版画集団	木版、紙	15.4×11.6 (29.5×22.冊子)	
		『SHOCHIKUZA NEWS』6-17 表紙・MAXIM(真木真)《静物》				
		1926(大正15/昭和元) 年4月30日、道頓堀松竹座				
		『SHOCHIKUZA NEWS』16-1 表紙	1931(昭和6) 年1月7日、道頓堀松竹座			
		『SHOCHIKUZA NEWS』16-17 表紙・A NEW IDOL OF THE DANCE	1931(昭和6) 年4月28日、道頓堀松竹座			
		『SHOCHIKUZA NEWS』16-23 表紙・OKA	1931(昭和6) 年6月10日、道頓堀松竹座			
		『SHOCHIKUZA NEWS』2-11 表紙・SHIN(山田伸吉)	1925(大正14) 年9月17日、新京極松竹座			
		『SHOCHIKUZA NEWS』2-17 表紙・SHIN(山田伸吉)《女は踊る》	1925(大正14) 年10月28日、新京極松竹座			
		『SHOCHIKUZA NEWS』2-19 表紙	1925(大正14) 年10月28日、新京極松竹座			
		『SHOCHIKUZA NEWS』3-12 表紙・真木真《踊る》	1926(大正15/昭和元) 年3月24日、新京極松竹座			
		『SHOCHIKUZA NEWS』3-21 表紙・m(真木真)《活動写真映写機械の或る一部分》	1926(大正15/昭和元) 年5月28日、新京極松竹座			

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材料	寸法(cm)	備考
-----	-----	-----	-----	-------	--------	----

85		『SHOCHIKUZA NEWS』4-8 表紙・SHIN (山田伸吉)《同時に起れる三つの幻想》	1926 (大正15/昭和元)	新京極松竹座	21.3×14.9	
86		『SHOCHIKUZA NEWS』4-9 表紙・SHIN (山田伸吉)《黄卵色の部屋》	1926 (大正15/昭和元)	新京極松竹座	21.7×14.6	
87		『SHOCHIKUZA NEWS』4-9 (ママ) 表紙・SHIN (山田伸吉)《市街に於けるトラピアター》	1926 (大正15/昭和元)	新京極松竹座	21.6×14.8	
88 五姓田 芳柳	相川龍藏守胤像	1887 (明治20)	顔料、絹	127×40.3		
89 五姓田 芳柳	相川鍋次郎守正像	1887 (明治20)	顔料、絹	128.2×40.4		

■写真雑誌表紙に見る科学の時代の意匠—島村安彦氏寄贈写真雑誌コレクションより

90	『フォトタイムス』9-1 表紙・渡邊義雄	1932 (昭和7) 年1月1日、フォトタイムス社	冊子	22×15.2		
91	『フォトタイムス』9-3 表紙・光村利弘	1932 (昭和7) 年3月1日、フォトタイムス社	冊子	22×15.2		
92	『フォトタイムス』9-5 表紙・木村専一	1932 (昭和7) 年5月1日、フォトタイムス社	冊子	22×15.2		
93	『フォトタイムス』9-6 表紙・古川成俊	1932 (昭和7) 年6月1日、フォトタイムス社	冊子	21.9×15.2		
94	『フォトタイムス』9-7 表紙・窪田千秋	1932 (昭和7) 年7月1日、フォトタイムス社	冊子	22.3×15.2		
95	『フォトタイムス』9-8 表紙・光村利弘	1932 (昭和7) 年8月1日、フォトタイムス社	冊子	21.9×15.1		
96	『フォトタイムス』9-11 表紙・渡邊義雄	1932 (昭和7) 年11月1日、フォトタイムス社	冊子	22×15.3		
97	『フォトタイムス』10-4 表紙・田村榮	1933 (昭和8) 年4月1日、フォトタイムス社	冊子	22.2×15.2		
98	『フォトタイムス』15-5 表紙・阿部芳文	1938 (昭和13) 年5月1日、フォトタイムス社	冊子	26.2×18.8		
99	『フォトタイムス』15-6 表紙・阿部芳文	1938 (昭和13) 年6月1日、フォトタイムス社	冊子	26.2×18.9		
100	『フォトタイムス』15-9 表紙・写真 濱谷浩、構成 田中雅夫	1938 (昭和13) 年9月1日、フォトタイムス社	冊子	26×19		
101	『フォトタイムス』17-12 表紙・写真 土門拳、構成 亀倉雄策	1940 (昭和15) 年12月1日、フォトタイムス社	冊子	26×18.8		
102	『写真サロン』1-1 表紙・恩地孝四郎	1933 (昭和8) 年1月1日、玄光社	冊子	25.6×19		
103	『写真サロン』2-1 表紙・恩地孝四郎	1933 (昭和8) 年7月1日、玄光社	冊子	25.6×19		
104	『写真サロン』3-1 表紙・恩地孝四郎	1934 (昭和9) 年1月1日、玄光社	冊子	25.8×18.9		
105	『写真サロン』4-6 表紙・恩地孝四郎	1934 (昭和9) 年12月1日、玄光社	冊子	25.6×19.1		
106	『写真サロン』5-2 表紙・恩地孝四郎	1935 (昭和10) 年2月1日、玄光社	冊子	25.9×19		
107	『写真サロン』7-1 表紙・恩地孝四郎	1936 (昭和11) 年1月1日、玄光社	冊子	25.6×19.1		
108	『写真サロン』12-2 表紙・関根正一郎	1938 (昭和13) 年8月1日、玄光社	冊子	26×18.8		
109	『写真サロン』12-3 表紙・黒田漣	1938 (昭和13) 年9月1日、玄光社	冊子	26×19		
110	『写真サロン』13-2 表紙・関根正一郎、黒田漣	1939 (昭和14) 年2月1日、玄光社	冊子	25.8×19.2		
111	『写真サロン』15-2 表紙・P. マン	1940 (昭和15) 年2月1日、玄光社	冊子	26×19.1		
112	『寫眞科學』82-2 題字・亀倉雄策	1944 (昭和19) 年2月1日、アルス	冊子	25.7×18.3		
113	『寫眞科學』82-3 生態写真特輯号 題字・亀倉雄策	1944 (昭和19) 年3月1日、アルス	冊子	25.6×18.3		
114	『寫眞科學』82-6 X線写真特輯号 題字・亀倉雄策	1944 (昭和19) 年6月1日、アルス	冊子	25.5×18.3		
115	『アサヒカメラ』21-5 表紙・森 二良	1936 (昭和11) 年5月1日、朝日新聞社	冊子	26.6×19.1		
116	『アサヒカメラ』21-6	1936 (昭和11) 年6月1日、朝日新聞社	冊子	26.6×19.1		
117	『アサヒカメラ』22-1 表紙・野村繁雄	1936 (昭和11) 年7月1日、朝日新聞社	冊子	26.4×19		
118	『アサヒカメラ』25-5 表紙・成田春陽	1938 (昭和13) 年5月1日、朝日新聞社	冊子	26.3×18.9		
119	『アサヒカメラ』26-4 表紙・濱谷浩	1938 (昭和13) 年10月1日、朝日新聞社	冊子	26.5×19.1		
120	『アサヒカメラ』26-2 表紙・濱谷浩	1938 (昭和13) 年8月1日、朝日新聞社	冊子	26.2×19.1		
121	『アサヒカメラ』27-2 表紙・堀野正雄	1939 (昭和14) 年2月1日、朝日新聞社	冊子	26.5×19		

■科学技術と表現：コラージュの街頭

122 清水 正博	日劇 (マーカスショウ)	1934 (昭和9)	木版、紙	21.6×16.1		
123 清水 正博	劇場 (浅草松竹座)	1934 (昭和9)	木版、紙	23×15.9		
124 前田 藤四郎	ショウインドー(装飾窓)	1931 (昭和6)	リノカット、紙	19.8×25		
125 川上 澄生	銀座『新東京百景』	1929 (昭和4)	木版、紙	18.4×24.2		
126 伊東 健乃典	[ガスステイション]	制作年不詳	木版、紙	23.4×32.4		
127 謙訪 兼紀	丸之内仲通『新東京百景』	1929 (昭和4)	木版、紙	25.5×19.7		
128 平川 清蔵	風景	1926 (大正15/昭和元)	木版、紙	26.8×35		
129 藤森 静雄	初夏ノ赤門『新東京百景』	1929 (昭和4)	木版、紙	17.9×24.2		
130 恩地 孝四郎	九段薄暮	1926 (大正15/昭和元)	木版、紙	28.4×19.2		
131 川上 澄生	丸の内一景『新東京百景』	1930 (昭和5)	木版、紙	17.9×24		
132 逸見 享	聖橋『新東京百景』	1930 (昭和5)	木版、紙	18.2×24.2		
133 前川 千帆	明治座『新東京百景』	1930 (昭和5)	木版、紙	24.3×18.4		
134 伊東 健乃典	[川沿いの町並み]	1942 (昭和17)	木版、紙	24.2×35.2		

■新しいモチーフの発見・俯瞰風景：都市の見通しを求めて

135 香山 小鳥	風景	1911 (明治44)	油彩、板	22.7×14.6		
136 清水 正博	バルーン	1934 (昭和9)	木版、紙	21.8×15.5		
137 恩地 孝四郎	大東京遠望	1931 (昭和6)	木版、紙	20.6×29.8		
138 深澤 素一	代々木風景	1925 (大正14)	木版、紙	22.4×24.6		
139 清水 正博	数寄屋橋より	1933 (昭和8)	木版、紙	17.9×24		

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材料	寸法(cm)	備考
-----	-----	-----	-----	-------	--------	----

140 武藤 六郎	東京駅『武藤六郎版画集第1輯』	1933 (昭和8)	木版、紙	23×32.1		
141 逸見 享	本郷元町展望公園『新東京百景』	1931 (昭和6)	木版、紙	24×18		
142 林 武	神戸風景	1924 (大正13)	油彩、キャンバス	45.8×61		
	■新しいモチーフの発見・スポーツ					
143 川上 澄生	野球大会之図	1932 (昭和7)	木版、紙	21.5×28.5		
144 深澤 素一	神宮球場早慶戦『新東京百景』	1931 (昭和6)	木版、紙	18.3×24.6		
145 恩地 孝四郎	鎌倉	1938 (昭和13)	木版、紙	19.1×27.8		
146 藤森 静雄	八月・豊島園の夏 (板橋区)『大東京十二景』	1933 (昭和8)	木版、紙	24.3×31.6		
147 古賀 春江	海水浴	1922 (大正11)	油彩、キャンバス	91.3×117		
	■新しいモチーフの発見・都市の変転を見守るもの：水の流れを					
148 谷中 安規	大川端 (東京)『新日本百景』	1940 (昭和15)	木版、紙	22.6×30		
149 謙訪 兼紀	向島『新東京百景』	1929 (昭和4)	木版、紙	17×24.7		
150 藤森 静雄	永代橋『新東京百景』	1930 (昭和5)	木版、紙	18×24.2		
151 深澤 素一	築地『新東京百景』	1929 (昭和4)	木版、紙	17.8×		

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材料	寸法(cm)	備考
195	谷口 薫美	鐵橋	制作年不詳	木版、紙	20.1×27.8	
196	大久保 一	陸橋	1932(昭和7)頃	木版、紙	16.5×21.1	
197	鈴木(武田) 健夫	新宿駅	制作年不詳	木版、紙	31×42	
198	鈴木(武田) 健夫	青果市場	1934(昭和9)	木版、紙	37.8×50.2	
199	鈴木(武田) 健夫	魚河岸	1934(昭和9)	木版、紙	38.2×52.7	
■新しいモチーフの発見：電気：電信柱と明るい夜の情緒						
200	石井 柏亭	日本ばし『東京十二景』	1914-17(大正3-6)	木版、紙	34.5×21.7	
201	石井 柏亭	新ばし『東京十二景』	1914-17(大正3-6)	木版、紙	38.9×25.7	
202	小泉 癸巳男	日本橋	制作年不詳	木版、紙	22.7×30.2	
203	武藤 六郎	夜の日本橋『武藤六郎版画集第1輯』	1933(昭和8)	木版、紙	23.3×32.3	
204	田中 春吉	[風景]	制作年不詳	油彩、板	33×23.2	
205	作者不詳	建物	制作年不詳	油彩、キャンバスボード	33.3×24.2	
206	木下 雅子	新緑	1927(昭和2)	油彩、キャンバス	45.7×38.2	
207	野村 俊彦	[帝劇]	制作年不詳	木版、紙	23.2×32.3	
208	藤森 静雄	夜の歌舞伎座『新東京百景』	1930(昭和5)	木版、紙	18.0×24.5	
209	石井 鶴三	東京駅夕景『大東京風景』	1928(昭和3)	木版、紙	23.8×34.3	
210	徳力 富吉郎	道頓堀の夜	制作年不詳	木版、紙	22.5×30	
211	亀井 玄兵衛	静まれる四条街頭	1935(昭和10)頃	木版、紙	17.6×24.2	
212	徳力 富吉郎	祇園町の夜更	1933(昭和8)	木版、紙	30.8×42.7	
213	藤森 静雄	五月・夜の銀座(京橋区)『大東京十二景』	1933(昭和8)	木版、紙	31.4×24.6	
214	深澤 索一	[風景]	1925(大正14)	木版、紙	21.2×15.4	
215	清水 孝一	風景	制作年不詳	木版、紙	20×15	
216	深澤 索一	薄日	1925(大正14)	木版、紙	25.8×23	
■新しいモチーフの発見：二人の東京風景						
217~219	関野 準一郎	『東京の窓 アオイ書房十週年記念書窓版画帖十連聚其五』	1942(昭和17)年7月31日、アオイ書房	銅版、紙		
217		東京の夏の朝(26.5×42.1)、218 私は銀座が嫌ひである(26.7×42.1)、219 東京には描きたい風景が(26.7×42.1)				
220~221	織田 一磨	『都會生活 アオイ書房十週年記念書窓版画帖十連聚其一』				
220		並木風景(26.8×42.5)、221 河船(27×42.5)	1941(昭和16)年9月30日、アオイ書房	リトグラフ、紙		
■新しいモチーフの発見：郊外へ広がる都市：田園の発見						
222	前川 千帆	地下鉄『新東京百景』	1931(昭和6)	木版、紙	18×24.2	
223	前川 千帆	五反田駅『新東京百景』	1932(昭和7)	木版、紙	18×24.1	
224	藤森 静雄	三月・田園調布の春(大森区)『大東京十二景』	1933(昭和8)	木版、紙	28.3×46.8	
225	平塚 遼一	代々木風景	1931(昭和6)	木版、紙	26.2×37.3	
226	永礼 資朗	代々木上原(東京)	1934(昭和9)	木版、紙	23×32.2	
227	石崎 重利	[郊外]	制作年不詳	木版、紙	26.4×34.9	
228	永礼 資朗	雪景色(東京)	1934(昭和9)	木版、紙	22.8×32.1	
229	永礼 資朗	春の風景	1934(昭和9)	木版、紙	23×30.3	
230	伊東 健典	[土管のある風景]	1936(昭和11)	木版、紙	30.4×39.6	
231	佐伯 祐三	下落合風景	1926(大正15／昭和元)頃	油彩、キャンバス	50.0×60.5	
232	亀井 玄兵衛	郊外風景	昭和初期	墨、紙	54.4×84.1	
233	亀井 玄兵衛	冬日	昭和初期	墨、紙	58.6×59.4	
■新しいモチーフの発見：機械						
234	高井 貞二	機械	1931(昭和6)頃	油彩、キャンバス	52.9×45.5	
235	高井 貞二	『事業之日本』9-10 高井貞二『文明』図版	1930(昭和5)年9月20日、事業之日本社	冊子	26×18.5	個人蔵
236	高井 貞二	「文明」下図(スケッチブックより)	1930(昭和5)	水彩、紙	24.2×28	
237	高井 貞二	「青き襷衣」下図	1936(昭和11)	鉛筆、紙	28×19	
238	高井 貞二	「感情の遊離」下図	1932(昭和7)	水彩、紙	38.2×28	
239	高井 貞二	輪廻	1936(昭和11)	油彩、キャンバス	108.9×143.9	
240	高井 貞二	[失題]	1936(昭和11)	油彩、キャンバス	116.8×91.1	
241	谷中 安規	瞑想氏	1933(昭和8)	木版、紙	17.2×23.4	
242	谷中 安規	花は花	1933(昭和8)	木版、紙	16.1×23.3	
243	谷中 安規	うすむらさき	1933(昭和8)	木版、紙	14.6×22.2	
244	谷中 安規	観覧車	1933(昭和8)	木版、紙	16.9×23.2	
245	谷中 安規	ドラゴンズドリーム	1939(昭和14)頃	木版、紙	21.8×28.2	
246	谷中 安規	繪本『FOU』表画	1936(昭和11)	木版、紙	15×25.7	
247~248	川西 英	『港都情景 アオイ書房十週年記念書窓版画帖十連聚其二』				
247		造船所(26.6×42.4)、248 観艦式(26.8×42)	1941(昭和16)年12月15日、アオイ書房	木版、紙		
249	武井 武雄	ギリシア(紀元前1000年頃)『宇宙説 アオイ書房十週年記念書窓版画帖十連聚其六』	1942(昭和17)年12月25日、アオイ書房	銅版、紙	26.8×41.8	
250		写真 北原鐵雄・詞 恩地孝四郎「船」より『書窓』3-4 1936(昭和11)年9月1日、アオイ書房		冊子	23×16	

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材料	寸法(cm)	備考
251	谷中 安規	『書窓』3-1「出版創作六種」より、恩地孝四郎作「飛行官能」紹介	1936(昭和11)年5月19日、アオイ書房	冊子	23.5×16	
252	谷中 安規	接戦『版芸術』16「戦争版画集」	1933(昭和8)年7月1日、白と黒社	木版、紙	14.2×19.3(29×20.6冊子)	
253	初山 澄	装甲列車『白と黒』19「満州事変創作版画作画集」	1931(昭和6)年11月1日、白と黒社	木版、紙	15×29.5(30.3×21.4冊子)	
254	表紙・恩地孝四郎	『最新科学図鑑「機械時代」』	1932(昭和7)年3月19日、ARS	冊子	25×19.5×2.5	個人蔵
255	稗田 一穂	『登の波止場』	1942(昭和17)	顏料、紙	148.7×125.2	
256	高井 貞二	地図	1934(昭和9)	油彩、キャンバス	131×162.6	
■科学の新しい目でー前衛美術を支えたもの						
257	表紙・恩地孝四郎	『書窓』1-2	1935(昭和10)年5月10日、アオイ書房	冊子	22.8×15.7	
258	表紙・恩地孝四郎	『書窓』1-6	1935(昭和10)年9月10日、アオイ書房	冊子	24×16.2	
259	表紙・恩地孝四郎	『書窓』1-7	1935(昭和10)年10月10日、アオイ書房	冊子	23.3×16	
260	表紙・恩地孝四郎	『書窓』2-5「印刷研究特輯」	1936(昭和11)年3月11日、アオイ書房	冊子	23.3×16.2	
261	表紙・恩地孝四郎	『書窓』4-5「紙の舞」	1937(昭和12)年7月15日、アオイ書房	冊子	23.2×16.2	
262	恩地孝四郎	恩地孝四郎写真・構成・詩「植物の世界から」『書窓』6-1	1938(昭和13)年6月31日、アオイ書房	冊子	23×16	
263~264	恩地 孝四郎	『海の童話 詩を伴ふ版画速作』より	1934(昭和9)年7月2日、版画社	木版、紙		
263		「3.爪は貝殻 腹幹は珊瑚 脣は朱きボリプ體」(26.8×43.7)、264 「5.烈しい沈黙 捕げられたキノ」(28.5×43.7)				
265	中村 岳	表紙『ゆうかり』26	1935(昭和10)年3月31日	木版、紙	28×19	
266	平川 清蔵	失題『Hanga』1	1924(大正13)年2月1日、神戸版画の家	木版、紙	15.6×12.3	
267	深澤 素一	土蔵のある風景『Hanga』3 表紙	1924(大正13)年9月15日、神戸版画の家	木版、紙	10.7×9(25×18.8冊子)	
268	藤牧 義夫	つき『新版画』12	1934(昭和9)年4月10日、新版画集団	木版、紙	12.9×12.3(29.7×21.7冊子)	
269	稗田 一穂	羽化	1959(昭和34)	顏料、紙	155.3×112.3	
270	加藤 太郎	トンボ	1944(昭和19)	木版、紙	21.2×14.4	
271	加藤 太郎	四葉	1944(昭和19)	木版、紙	24×15	
272	加藤 太郎	【作品】	1938(昭和13)頃	木版、紙	36.1×23.5	
273	建島 大夢	魔法使いの女	1923(大正12)	ブロンズ	h.45.3	
274	織田 一磨	感覺	1920(大正9)	リトグラフ、紙	20.7×24.6	
275	恩地 孝四郎	失題【人体】	1927(昭和2)頃	木版、紙	28.4×21.7	
276	恩地 孝四郎	植物の世界	1927(昭和2)頃	木版、紙		
277	恩地 孝四郎	人貌	1924(大正13)	木版、紙	17×23.6	
278	恩地 孝四郎	音楽	1944(昭和19)	木版、紙	34.5×25	
279	稻垣 知雄	炎				

5. 美術百科「前衛の関西」の巻

- 会期：【前期】2007年1月4日(木)～2月18日(日)【後期】2月27日(火)～4月8日(日)
 休館日：月曜日【1月8日(月・祝)、2月12日(振替休日)は開館、翌日休館、2月19日～2月26日(展示替え期間)】
 主催：和歌山県立近代美術館
 協力：株式会社西本、久保田テツ(大阪大学コミュニケーションデザイン・センター)、NPO和歌山芸術文化支援協会(wacss)
 会場：展示室A(1階)+B(1階)+C(1階)
 観覧料：一般310(250)円、大学生210(160)円
 ()内は20名以上の団体料金、高校生以下、65歳以上、障害者の方、県内に在学中の外国人留学生(外国人就学生を含む)は無料
 旨：コレクションをさまざまな視点から紹介するシリーズの第5弾。当館では1983年から「関西の美術家シリーズ」をはじめ、関西の戦後美術の紹介に取り組んできており、今回はそれぞれの時代の美術家たちの問題提議を収蔵作品を通して振り返る。敗戦後間もない時期から、新たな芸術の創造を目指した関西の作家たちの作品を見なおし、そこに受け継がれている前衛精神を紹介した。
 担当学芸員：奥村泰彦
 関連事業：・「アーティスト・トーク」林康夫(陶芸家)・山中嘉一(画家)・森口宏一(彫刻家)・ログズ・ギャラリー、3月21日(水・祝)
 ・「ガソリンミュージック&クルージング 日本横断2006-2007」ログズ・ギャラリー、4月1日(日)～5日(木)
 主催：NPO和歌山芸術文化支援協会(wacss)
 協賛：大桑教育文化振興財団
 協力：air 和歌山実現委員会、和歌山県立近代美術館
 ・「ミュージアムトーク(展示解説)」1月8日(月・祝)、1月28日(日)、2月12日(月・祝)、2月18日(日)、3月4日(月)、4月8日(日)、奥村泰彦
 印刷物：・ポスター(B2判)
 ・ちらし(A4判)
 ・出品目録(B4判12頁)
 関連記事：・「紙上ミュージアム『美術百科「前衛の関西」の巻』『わかやま新報』2006年12月27日、1面
 ・「美術百科『前衛の関西』の巻(前期) 県立近代美術館で1月4日～」『わかやま新報』2006年12月28日、5面
 ・「県立近代美術館 コレクション展 前衛の関西 1」『紀伊民報』2007年1月10日、5面
 ・「独自表現を模索 精神たどる 県立近代美術館で「前衛の関西」展」『毎日新聞』2007年1月11日、20面
 ・「美術百科「前衛の関西」の巻 県立近代美術館でスタート」『わかやま新報』2007年1月11日、6面
 ・定期便教育の窓、和歌山放送、2007年1月13日放送
 ・紙上ミュージアム『美術百科「前衛の関西」の巻』『わかやま新報』2007年1月17日、1面
 ・「展覧会ピックアップ 美術百科「前衛の関西」の巻 前期」『びあ関西版』612、2007年1月18日、108頁
 ・「前期2月18日まで コレクションによる全館展示 美術百科「前衛の関西」の巻」『わかやま新報』2007年1月19日、5面
 ・「関西の前衛美術系譜たどる 近代美術館で展示」『ニュース和歌山』2007年1月20日、6面
 ・「県立近代美術館 コレクション展 前衛の関西 2」『紀伊民報』2007年1月24日、5面
 ・「ART CATALOGUE 美術百科「前衛の関西」の巻」『L magazine』2007年2号
 ・「近代美術館で作品を鑑賞」『わかやま新報』2007年1月25日、2面
 ・「美術百科「前衛の関西」の巻」『中外日報』2007年1月25日、16面
 ・「おすすめ展覧会情報 和歌山県立近代美術館 美術百科「前衛の関西」の巻 前期」『arch』2007年2月1日
 ・「県立近代美術館 コレクション展 前衛の関西 3」『紀伊民報』2007年2月7日、5面
 ・「美術百科「前衛の関西」の巻 所蔵品で動向を概観」『京都新聞』2007年2月10日、8面
 ・「紙上ミュージアム『美術百科「前衛の関西」の巻』『わかやま新報』2007年2月14日、1面
 ・「県立近代美術館 コレクション展 前衛の関西 4」『紀伊民報』2007年2月28日、5面
 ・「カルチャーインフォメーション 和歌山県立近代美術館 美術百科「前衛の関西」の巻 コレクションによる全館展示」『WACA-P』2007年3月
 ・「県立近代美術館 コレクション展 前衛の関西 5」『紀伊民報』2007年3月21日、5面
 ・「県立近代美術館 コレクション展 前衛の関西 6」『紀伊民報』2007年3月28日、7面

「美術百科『前衛の関西』の巻」出品リスト

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材料	寸法(cm)	備考
■イントロダクション(エントランスホールから展示室へ)						
1	山口 牧生	かたむくかたち A	1984(昭和59)	黒御影石、ベンガラ	180×76×51	(ライトコートに展示)
2	北堅 吉彦	熊野-moegi(萌黄)	1999(平成11)	油彩、キャンバス	270×320×320(3点)	(エントランスホール、作者の好意により保存)
3	松本 薫	Cycle-90' R II	1990(平成2)	ステンレススチール、モーター他	200×72×140	
4	堀内 正和	四つの立方体(線)	1979(昭和54)	鉄	85×208×98	
5	松谷 武判	波動 2000-1	2000(平成12)	ビニール接着剤・鉛筆、キャンバス	197×291	個人蔵
6	秋山 陽	META-VOID	2004(平成16)	陶	130×125×136	【前期】(後期は2階ホワイエに展示)
7	清水 九兵衛	FIGURE C	1986(昭和61)	アルミニウム	50×400.5×358.5	個人蔵【後期】
8	宮崎 豊治	身辺モデラー類似化-	1984(昭和59)	鉄、漆	85×55×50	
9	福岡 道雄	反という字	1990(平成2)	ブロンズ	13×64.5×49.4	
■陶による表現の開拓 四耕会と走泥社から始まる表現						
10	林 康夫	作品	1948(昭和23)	テラコッタ	33×23.5×21.5	
11	林 康夫	人体	1950(昭和25)	陶	46×23×18.5	
12	林 康夫	作品 51-2	1951(昭和26)	テラコッタ	32×50×27.5	
13	林 康夫	作品 51-3	1951(昭和26)	テラコッタ	49×32×27	
14	林 康夫	作品(弧)	1955(昭和30)	陶	39.5×34×24.3	
15	林 康夫	作品 58-2	1958(昭和33)	陶	29.9×39.6×16.9	
16	林 康夫	作品 66-21	1966(昭和41)	陶	35×35×28.5	
17	三浦 省吾	作品	1951(昭和26)	陶	29.3×31.5×21.5	
18	八木 一夫	奇偶	1973(昭和48)	黒陶	34.4×28×21.2	
19	八木 一夫	陰気な暦	1977(昭和52)	黒陶	30.4×30.6×7.8	



ポスター



ちらし

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材料	寸法(cm)	備考
20	堀内 正和	人差指	1965(昭和40)	ブロンズ	50.2×15.8×15	
21	鈴木 治	土偶 野武士	1959(昭和34)	陶	43×26×18	
22	山田 光	作品	1956(昭和31)	陶	20.2×35×22.3	
23	山田 光	作品(黒釉)	1956(昭和31)	陶	31.5×33.5×27	
24	山田 光	二つの塔	1959(昭和34)	陶	右:75×20×11・左:81×21×9	
25	山田 光	館	1964(昭和39)	陶	32.8×28×26	
26	山田 光	陶壁	1969(昭和44)	陶	41×50×6	
27	熊倉 順吉	作品	1956(昭和31)	陶	57×51×45	
28	熊倉 順吉	作品	1964(昭和39)	陶	49.6×38.5×38	
29	熊倉 順吉	顔	1969(昭和44)	陶	59.7×21×19	
30	森野 泰明	二つの惑星	1958(昭和33)	陶	23×28×20	
31	森野 泰明	WORK 68-1	1968(昭和43)	陶	33×29×6	
32	森野 泰明	WORK 68-2	1968(昭和43)	陶	27×26×6	
33	森野 泰明	WORK 68-3	1968(昭和43)	陶	38×34×7	
34	柳原 陸夫	鳩の巣	1963(昭和38)	陶	38×49×22	
35	柳原 陸夫	鳩巣	1963(昭和38)	陶	63×43×24	
36	宮永 理吉	寓	1963(昭和38)	陶	58×108×24	
37	川上 力三	雲の記憶	1960(昭和35)	陶	107×50×48	
38	川上 力三	無題	1964(昭和39)	陶	60.7×24.6×15	
39	川上 力三	無題	1966(昭和41)	陶	40.7×24×10.4	
40	佐藤 敏	失題	1966(昭和41)	陶	21×21×23.5	
41	佐藤 敏	唐草マン	1973(昭和48)	陶	44×26.5×30	

■日本画の革新 パンリアル美術協会に集った作家たち

42	三上 誠	碑	1957(昭和32)	顔料、紙	120.5×60.5	【前期】
43	三上 誠	荒地	1960(昭和35)	インク・蠟・顔料、紙	152×121.5	【前期】
44	三上 誠	機構の生理	1970(昭和45)	顔料、紙	121.2×91.3	【前期】
45	三上 誠	凍	1960(昭和35)	混合技法、紙	93×121	【後期】
46	三上 誠	環・経絡	1967(昭和42)	顔料、紙	120.9×179.1	【後期】
47	野村 耕	生成	1959(昭和34)	墨・彩色、紙	150.2×77.8	【前期】
48	野村 耕	無題	1961(昭和36)	紙型・彩色、板	182.1×60	【前期】
49	野村 耕	律	1964(昭和39)	紙型・彩色、板	151.5×90.7	【後期】
50	野村 耕	迷	1964(昭和39)	紙型・カシュー・油彩、ボード	121.4×91	【後期】
51	下村 良之介	夜の曲	1951(昭和26)	彩色、紙	121×121	【前期】
52	下村 良之介	月	1954(昭和29)	彩色、紙	121.7×121.3	【後期】
53	下村 良之介	鳥のほこら	1965(昭和40)	紙粘土・顔料、紙	182.5×170	
54	星野 貞吾	喪中の作品 A	1965(昭和40)	顔料、紙	180.6×89.5	
55	大野 俊嵩	作品	1961(昭和36)	顔料・麻布、綿布	151.3×169.5	【前期】
56	大野 俊嵩	Two Forms	1959(昭和34)	顔料・木屑・綿・麻布	136.8×122.1×17.6	【後期】

■現代美術懇談会(ゲンビ)とその時代

57	植木 茂	モードス	1949(昭和24)	木	57×27×20	
58	須田 勉太	作品	1957(昭和32)	水彩・油彩、紙	28.4×37	
59	杉山 英行	作品	1957(昭和32)	水彩・グラッタージュ、紙	35.9×25.2	【前期】
60	杉山 英行	スクラップ	1958(昭和33)	油彩・キャンバス	73×53.3	【前期】
61	杉山 英行	個型	1957(昭和32)	水彩・グラッタージュ、紙	50.3×38.6	【後期】
62	杉山 英行	作品	1958(昭和33)	墨・グラッタージュ、紙	56.8×39.5	【後期】



No.	作者名	作品名	制作年	技法・材料	寸法(cm)	備考
63	津高 和一	爆発	1954(昭和29)	油彩、キャンバス	131×163	
64	津高 和一	アシタハキノウニナル	1964(昭和39)	油彩、キャンバス	193×129.8	
65	松谷 武判	作品のC	1961(昭和36)	油彩・カスガイ・セメント、合板	182.5×91.5	個人蔵
66	関根 勢之助	落下する赤	1964(昭和39)	油彩、キャンバス	162.1×130.3	
67	中西 康進	独房の喜劇	1959(昭和34)	油彩、布、板他	91×182	個人蔵
■具体美術協会の成果						
68	元永 定正	作品	1964(昭和39)	アクリル、小石、キャンバス	281×181.2	
69	田中 敦子	'61 赤と黒	1961(昭和36)	ビニール絵具、キャンバス	175×129.5	
70	白髪 一雄	地察星 青眼虎	1961(昭和36)	油彩、キャンバス	194×130.6	
71	白髪 一雄	作品	1972(昭和47)	油彩、キャンバス	130.4×162.5	【前期】
72	白髪 一雄	羅刹天譲(ランチリチエイソハカ)	1980(昭和55)	油彩、キャンバス	130.8×194	【後期】
73	白髪 一雄	平治元年十二月二十六日	1966(昭和41)	油彩、キャンバス	273×363.8	
74	松谷 武判	WORK-63-9	1963(昭和38)	ビニール接着剤・油彩他、キャンバス	187×192	
75	前川 強	作品	1963(昭和38)	油彩、麻布、キャンバス	229×179.5×7	
76	向井 修二	作品	1965(昭和40)	油彩、キャンバス	183×137	
77	松田 豊	CHO-CHO-RED	1966(昭和41)	木、モーター他	91×91	個人蔵【前期】
78	松田 豊	SRU-SRU-L	1972(昭和47)	板、紐、モーター他	123×123	個人蔵【前期】
79	松田 豊	GROUND-88	1990(平成2)	木、竹、塗料、モーター他	162×65	個人蔵【前期】
80	松田 豊	[無題]	1960年代後半	木、塗料、モーター他	173.5×173.5	個人蔵【後期】
81	松田 豊	STAGE-28	1990(平成2)	木、塗料、モーター他	173.5×173.5	個人蔵【後期】
82	松田 豊	領主	1998(平成10)	木、塗料、モーター他	162×162	個人蔵【後期】
83	元永 定正	無題	1972(昭和47)	アクリル絵具、キャンバス	130.5×162.5	
84	関根 美夫	作品#395-396	1975(昭和50)	油彩、キャンバス	162.1×270.2	
85	田中 敦子	WORK '91G	1991(平成3)	アクリル絵具、キャンバス	200×200	
86	菅井 渚	雷神	1958(昭和33)	油彩、キャンバス	162.6×130.7	【前期】
87	堂本 尚郎	二元的なアンサンブル	1962(昭和37)	油彩、キャンバス	162×122	【後期】
■デモクラート美術家協会と版画制作の展開						
88	泉 茂	夜明け前	1953(昭和28)	銅版、紙	8.7×16.3	
89	泉 茂	深夜のセロ弾き	1954(昭和29)	銅版、紙	18.3×10.6	
90	泉 茂	回想の幼年期	1954(昭和29)	銅版、紙	27.5×21.5	
91	泉 茂	とり	1954(昭和29)	銅版、紙	47.7×39.7	個人蔵【前期】
92	泉 茂	仲間	1955(昭和30)	銅版、紙	18.9×28	【前期】
93	泉 茂	逃げたスペード	1955(昭和30)	銅版、紙	18.0×13.7	個人蔵【前期】
94	泉 茂	祈り	1955(昭和30)	銅版、紙	18.4×11.9	【前期】
95	泉 茂	キャバレー	1953(昭和28)	銅版、紙	12×20.8	【後期】
96	泉 茂	のろわれた者(異邦人)	1954(昭和29)	銅版、紙	16.6×8.7	【後期】
97	泉 茂	ためいき/何処へ	1954(昭和29)	銅版、紙	17.2×11.3	【後期】
98	泉 茂	とり	1954(昭和29)	銅版、紙	47.7×39.7	個人蔵【後期】
99	泉 茂	マグムオカリーナ	1954(昭和29)	銅版、紙	17.5×12.1	個人蔵【後期】
100	泉 茂	ジエラシー	1955(昭和30)	銅版、紙	14.8×19.9	【後期】
101	泉 茂	ゲームの瞳	1955(昭和30)	銅版、紙	11.1×21	【後期】
102	泉 茂	目	1955(昭和30)	油彩、キャンバス	60.5×72.5	
103	泉 茂	祭	195			

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材料	寸法(cm)	備考	No.	作者名	作品名	制作年	技法・材料	寸法(cm)	備考
107	泉 茂	インディアン	1956(昭和31)	石版、紙	48.8×39	【後期】	175	森口 宏一	作品 B	1964(昭和39)	油彩、ラッカ、ポリエスチル樹脂他	180.7×104.3	
108	泉 茂	マダム・インディアン	1956(昭和31)	石版、紙	53.1×42	【後期】	176	森口 宏一	白土三平・カムイ伝・より	1967(昭和42)	シルクスクリーン、アクリル板・ステンレススチール他	97×65×10.5	個人蔵【前期】
109-112	泉 茂	しゃも	1957(昭和32)	油彩、キャンバス	65.2×48.5	個人蔵	177	森口 宏一	ボッティチェリ・ヴィナスの誕生・より	1967(昭和42)	シルクスクリーン、アクリル板・ステンレススチール	87.9×134.4×10.5	【前期】
		『詩集 大阪』(詩:小野十三郎、銅版画:泉茂・澤野井信夫、表題:早川良雄)より4点	1955(昭和30)	1956(昭和31)	銅版、紙		178	森口 宏一	グリューネワルト・聖エラスムスと聖マウリス・より	1967(昭和42)	シルクスクリーン、アクリル板・ステンレススチール	90×65×10.5	個人蔵【前期】
113-116	『句画集 壁画』(併句:山口誓子・銅版画:泉茂・澤野井信夫、表題:早川良雄)より4点	1956(昭和31)	銅版、紙	113 泉 茂 無題(23.5×18.2)、114 無題(14.3×18)			179	森口 宏一	作品A	1964(昭和39)	ラッカ、ポリエスチル樹脂、アルミニウム他	180.4×130.5	【後期】
		115 澤野井 信夫 無題(18×24.2)、116 無題(13.9×19.3)					180	森口 宏一	ニュース・ペーパー・より	1967(昭和42)	94×65.5×10.5	個人蔵【後期】	
117	吉田 利次	【『浜の男』下図】	1956(昭和31)以前	コンテ・水彩、紙	50.1×38.2		181	森口 宏一	ニュース・ペーパー・より	1967(昭和42)	80×55×10.5	個人蔵【後期】	
118	森 泰	作品	1957(昭和32)	木版、紙	46.3×60		182	森口 宏一	ニュース・ペーパー・より	1967(昭和42)	95×64.5×10.5	個人蔵【後期】	
119	森 啓	作品	1957(昭和32)	水彩・コンテ、紙	65.7×50.6		183	森口 宏一	自画像・顔	1973(昭和48)	フィルム、アクリル、ステンレススチール他	57.5×49×10.5	個人蔵
120-125	高井 義博	『高井義博エッセイ』第1集「荒地の中に立っている」より6点	1955(昭和30)	銅版、紙	個人		184	山中 嘉一	Signal	1967(昭和42)	シルクスクリーン、キャンバス	162×130.3	個人蔵【前期】
		120 箱庭の人間(25×18.1)、121 原子時代(17.9×22)、122 休日の日どこかで(24.5×18.2)【前期】					185	山中 嘉一	Victory	1967(昭和42)	シルクスクリーン、キャンバス	162×130.3	個人蔵【前期】
		123 孤独な女(25×17.5)、124 アプレの愛情(18×24)、125 二つの像(25×17.9)【後期】					186	山中 嘉一	Blue-zone	1968(昭和43)	シルクスクリーン、キャンバス	162×130.3	個人蔵【後期】
126	内海 柳子	堀の中の鳥	1958(昭和33)	銅版、紙	23.8×27.1	個人蔵【前期】	187	山中 嘉一	Sky-zone	1968(昭和43)	シルクスクリーン、キャンバス	162×97	個人蔵【後期】
127	内海 柳子	へいの中の蝶	1957(昭和32)	銅版、紙	17.3×24.6	【後期】	188	吉原 英雄	出来事 II	1966(昭和41)	石版・銅版、紙	51.1×38.1	【前期】
128	内海 柳子	堀の中の物語	1957(昭和32)	銅版、紙	23.7×19.7	個人蔵	189	吉原 英雄	サマー・タイム	1967(昭和42)	石版・銅版、紙	56×41.7	【前期】
129	内海 柳子	堀の中の住人	1958(昭和33)	銅版、紙	23.4×28.4	個人蔵【前期】	190	吉原 英雄	ヤング・レディ	1968(昭和43)	石版・銅版、紙	56×41.6	【前期】
130	内海 柳子	陽気な仕事場	1958(昭和33)	銅版、紙	17.4×22.9	【後期】	191	吉原 英雄	シーソー 1	1968(昭和43)	石版・銅版、紙	100.1×100.2	【後期】
131-136	木村 茂	『木村茂エッセイ』より6点	1958(昭和33)	銅版、紙	個人蔵		192	吉原 英雄	彼女は空に	1968(昭和43)	石版・銅版、紙	70.6×103.2	【後期】
		131 百合花(28×20.2)、132 転車台(18.8×28)、133 レールB(18.5×14.2)【前期】					193	林 康夫	肖像 又は ゲート	1974(昭和49)	陶	46×27×30	【前期】
		134 樹根(28.1×20.9)、135 鉄骨(22.2×30.8)、136 レールC(27.9×15.2)【後期】					194	熊倉 順吉	秘められた欲望	1972(昭和47)	陶	54.7×34×16.5	【後期】
137	山中 嘉一	【題不詳】	1956(昭和31)	石版、紙	54.7×39.6	個人蔵	195	林 秀行	作品	1969(昭和44)	陶	28×51×5.5	
138	山中 嘉一	【題不詳】	1956(昭和31)	石版、紙	54.6×39.6	個人蔵	196	林 秀行	箱の中の輪ちかい	1968(昭和43)	陶	37.5×37.5×37.5	
139	山中 嘉一	方形の詩(A)	1957(昭和32)	石版、紙	54.4×38.3	個人蔵	197	林 秀行	美容体操	1973(昭和48)	磁	31×20.5×11.9	
140	山中 嘉一	手	1957(昭和32)	石版、紙	54.3×38.4	個人蔵	198	宮永 理吉	4つの円筒	1970(昭和45)	陶	29×34×27	
141	船井 裕	鳥寄せ	1957(昭和32)	石版、紙	40.5×56	【前期】	199	山田 光	陶面の中の1/4円環	1976(昭和51)	陶	43×34×13	
142	船井 裕	CHILD & SPELL	1957(昭和32)	石版、紙	41×23.5	【前期】	200	山田 光	陶面の中の数字	1976(昭和51)	陶	54×34×9	【前期】
143	船井 裕	CHILD & SPELL	1958(昭和33)	石版、紙	28.5×43	【前期】	201	柳原 瞳夫	風の十字路	1979(昭和54)頃	陶	43×34×29	【後期】
144	船井 裕	けもの	1957(昭和32)	石版、紙	36.5×51.6	【後期】	202	三島 喜美代	パッケージ	1974(昭和49)	陶	26×36.5×27	
145	船井 裕	CHILD & SPELL	1958(昭和33)	石版、紙	38.2×26	【後期】	203	星野 晚	表層・深層	1979(昭和48)	黒陶	17×46×118	
146	船井 裕	音楽家	1957(昭和32)	石版、紙	28×39.1	【後期】	204	木村 光佑	OUT OF TIME-24	1970(昭和45)	石版・シルクスクリーン、アクリル板・紙	77.8×54	【前期】
147	吉原 英雄	たわむれ	1956(昭和31)	油彩、合板	129.9×91	【後期】	205	木村 光佑	OUT OF TIME-25	1970(昭和45)	石版・シルクスクリーン、アクリル板・紙	77.8×53.8	【前期】
148	吉原 英雄	ひまわり	1956(昭和31)	石版、紙	40.5×29	【前期】	206	木村 光佑	現在位置-存在(C)	1971(昭和46)	石版・シルクスクリーン、紙	72.7×103	【後期】
149	吉原 英雄	水族館	1956(昭和31)	石版、紙	51×38	【前期】	207	木村 光佑	OUT OF TIME-26	1970(昭和45)	石版・シルクスクリーン、アクリル板・紙	77.8×53.8	【後期】
150	吉原 英雄	赤い実	1957(昭和32)	石版、紙	54.5×65.5	個人蔵【前期】	208	木村 光佑	現在位置 フレーミング(A)	1971(昭和46)	石版・シルクスクリーン、紙	73.5×104.9	【後期】
151	吉原 英雄	潛水	1957(昭和32)	石版、紙	40.5×55	【前期】	209	木村 光佑	現在位置-存在(A)	1970(昭和45)	石版・シルクスクリーン、紙	73.8×103	【後期】
152	吉原 英雄	夜の鳥	1957(昭和32)	石版、紙	28.6×22.2	個人蔵【前期】	210	黒崎 彰	箇のコンボジションA/B/C(6点組)	1970(昭和45)	木版、紙	各83.1×57	【前期】
153	吉原 英雄	沈んだチエス	1958(昭和33)	石版、紙	34×25.5	個人蔵【前期】	211	黒崎 彰	窓話69	1969(昭和44)	木版、紙	50×70	【後期】
154	吉原 英雄	砂漠の花	1958(昭和33)	石版、紙	67.5×56	個人蔵【前期】	212	黒崎 彰	深い闇 1	1970(昭和45)	木版、紙	55×55	【後期】
155	吉原 英雄	海の日蝕	1958(昭和33)	石版、紙	19.4×27.2	個人蔵【前期】	213	黒崎 彰	赤い闇 2	1970(昭和45)	木版、紙	79.5×54.7	【後期】
156	吉原 英雄	ポンゴのおどり	1959(昭和34)	石版、紙	55.3×40.4	【前期】	214	泉 茂	北の空	1970(昭和45)	シルクスクリーン、紙	79.2×109.3	個人蔵
157	吉原 英雄	いやな野郎	1957(昭和32)	石版、紙	68.7×51.4	個人蔵【後期】	215	泉 茂	KF1506(丸)	1972(昭和47)	油彩、キャンバス	182×227	
158	吉原 英雄	火の鳥	1957(昭和32)	石版、紙	55.5×45.3	【後期】	216	井田 黒一	"Wind, please pass through this hole"	1973(昭和48)	石版・ホットスタンプ、紙	70×54.3	
159	吉原 英雄	鳥人	1957(昭和32)	石版、紙	49.5×38.8	【後期】	217	井田 黒一	Rose Hole	1973(昭和48)	石版・孔版、スポンジ・紙	71.8×55.6×1	
■1960年代から70年代へ													
160	泉 茂	Painting (DF1005)	1965(昭和40)	油彩、キャンバス	162×130	個人蔵	218	井田 黒一	Girls Interior-1	1973(昭和48)	石版、紙	54.4×70	
161	泉 茂	ピーコック	1960(昭和35)	石版、紙	32.8×43.3	個人蔵【後期】	219	井田 黒一	SPRAYED-LA VIE EN ROSE	1973(昭和48)	石版、紙	70.3×54	
162	泉 茂	層	1961(昭和36)	銅版、紙	45×51.9	【後期】	220	木村 秀樹	Pencil 2-1/2/3	1974(昭和49)	シルクスクリーン、紙	各75.5×107.1	
163													

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材料	寸法(cm)	備考
-----	-----	-----	-----	-------	--------	----



236	北辻 良央	WORK (Cézanne) I	1978 (昭和53)	銅版、紙	19.2×15.1	【後期】
237	井田 照一	Floor, Paper and Four Stones	1976 (昭和51)	木版・石版、紙	145.5×101.5	
238	関根 勢之助	ランドスケープ3-1/2/3	1976 (昭和51)	シンナープリント・色鉛筆、紙	各109.2×79.2	
239	孫 雅由	現前OC78-01	1978 (昭和53)	油彩、木炭、麻布	194×130.5	
240	福岡 道雄	ピンクの残像又は黒の降下	1972 (昭和47)	黒色強化ポリエチレン、布、木	200×150×150	個人蔵
241	福岡 道雄	蛾1	1972 (昭和47)	黒色強化ポリエチレン、木	227×209×33	個人蔵
242	福岡 道雄	蛾2	1972 (昭和47)	黒色強化ポリエチレン、木	204×199×62	個人蔵
243	福岡 道雄	坂道	1974 (昭和49)	黒色強化ポリエチレン、木	121×51×61	
244	福岡 道雄	石をとす (2)	1977 (昭和52)	黒色強化ポリエチレン、木	95×60×45	
245	福岡 道雄	竹生島	1983 (昭和58)	黒色強化ポリエチレン、木	47×120×160	
246	福岡 道雄	鳥になれるか2	1990 (平成2)	ブロンズ	91×62×15	
■インテルメツツオ (2階ホワイエ)						
247	北堅 吉彦	山並-senkoushu (鮮光朱)	1999 (平成11)	油彩	170×1020	(大階段通り場、作者の好意により保存)
248	曾我 孝司	重力質-柱	1984 (昭和59)	プリキ、真鍮、塩化ビニール	230×45×9000	
249	山口 牧生	四面体へのアプローチ	1982 (昭和57)	黒御影石、ベンガラ	40×195×40	
■1980年代以後の表現						
250	森口 宏一	作品	1981 (昭和56)	ステンレススチール	200×73×250	
251	清水 九兵衛	WIG 7	1980 (昭和55)	アルミニウム	97.5×18.5×12.2	
252	山田 光	黒陶スクリーン	1982 (昭和57)	陶	56×29×8	
253	山田 光	窓	1983 (昭和58)	陶	51×46×12	
254	鈴木 治	馬	1984 (昭和59)	陶	74.6×48.9×23	
255	鈴木 治	太陽のシグナル	1984 (昭和59)	陶	61.5×51×17	
256	宮永 理吉	台密の屋根	1987 (昭和62)	陶	26×38×18	
257	泉 茂	敲三角	1982 (昭和57)	油彩、キャンバス	163×130	個人蔵
258	佐藤 敏	レッド・ゾーンB	1979 (昭和48)	陶、金属	51.5×81×11	
259	佐藤 敏	Gメン	1982 (昭和57)	陶	38×34.5×25.5	
260	佐藤 敏	失題	1982 (昭和57) 頃	陶	27.5×20×25.5	
261	林 秀行	見栄をきる	1982 (昭和57)	陶	42×11.2×13.2	
262	林 秀行	天使の孤独	1982 (昭和57)	磁	52×12×12	
263	林 秀行	鳥のシリーズ二度めの恋	1983 (昭和58)	黒陶	59.3×42.1×14.3	
264	熊倉 順吉	ブラックミュージック	1984 (昭和59)	陶	41.5×25×13	
265	熊倉 順吉	ミュージシャン	1984 (昭和59)	陶	42×23×10.5	
266	熊倉 順吉	作品	1984 (昭和59)	陶	37×40×22	
267	荒木 高子	頬廻の聖書	1983 (昭和58)	磁土	14.5×22.3×20.3	
268	荒木 高子	砂の聖書	1983 (昭和58)	シャモット、砂	18×64×46	
269	木村 秀樹	H君の水鳥	1983 (昭和58)	シルクスクリーン、キャンバス	88.8×89.6	
270	北辻 良央	WORK-RR2	1982 (昭和57)	鉄、素焼粘土、パステル・紙	106×88×20	
271	山本 容子	Love Lash <ROMANCE>	1984 (昭和59)	銅版、紙	57×75.5	
272	関根 勢之助	絵画時間 Grey 2-6-18min	1985 (昭和60) 頃	インク、紙	79.4×61	【前期】
273	関根 勢之助	絵画時間 Dark Grey 20min	1985 (昭和60) 頃	インク、紙	79.4×61	【前期】
274	関根 勢之助	絵画時間 6つの面	1984 (昭和59) 頃	インク、紙	79.4×61	【後期】
275	関根 勢之助	絵画時間 3-5-7-9min	1984 (昭和59) 頃	インク、紙	79.4×61	【後期】
276	浅野 弥衛	無題	1981 (昭和56)	油彩、キャンバス	72.8×91	【後期】
277	野村 仁	自転と重力	1982-84 (昭和57-59)	写真	178×119.6	
278	川俣 正	ヴェニス・ビエンナーレ1982年6月~8月、ニューヨーク	1982 (昭和57)	石版、紙	44.6×52.2	【前期】
279	川俣 正	P.S.I7ジエイ1985年4月~6月、ニューヨーク	1985 (昭和60)	石版、紙	48.6×59.5	【前期】
280	曾我 孝司	重力平面一水の家 No.10	1984 (昭和59)	ブロンズ、鉄	65×50×110	個人蔵
281	宮崎 豊治	身辺モデルー類似化ー	1985 (昭和60)	鉄、漆	120×225×103	

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材料	寸法(cm)	備考
-----	-----	-----	-----	-------	--------	----

282	宮崎 豊治	身辺モデルー類似化ー	1985 (昭和60)	鉄、漆	152×65×40	
283	篠山 忠保	四本柱	1986 (昭和61)	陶	75.3×46.2×45.4	【前期】
284	篠山 忠保	かたやね	1986 (昭和61)	陶	63×40.3×22	【後期】
285	川上 力三	行先	1988 (昭和63)	陶	34.8×18.6×34.1	【前期】
286	川上 力三	遍路者	1988 (昭和63)	陶	52×38×39.5	【後期】
287	濱田 弘明	River Side	1988 (昭和63)	シルクスクリーン、布、コラージュ他	120×395	
288	小清水 渚	浮くかたち	1984 (昭和59)	木	72.5×202.5×85.4	
289	北山 善夫	鉛でもどうかね	1987 (昭和62)	竹、紙、革	69×214.5×61	
290	秋山 陽	主のない領域	1986 (昭和61)	黒陶、鉄	66×150×100	
291	木村 秀樹	冬のライオン	1986 (昭和61)	シルクスクリーン、キャンバス	140.3×199.9	
292	林 康夫	Focus VI-B	1984 (昭和59)	陶	34.5×38.5×38.5	
293	林 康夫	Phase 85-2	1985 (昭和60)	陶	38.5×32.5×33.5	
294	清水 桂博	WORK 87-A	1987 (昭和62)	陶	29×135×156	
295	森村 泰昌	肖像 (娘 II)	1988 (昭和63)	写真	154×115.7	
296	森村 泰昌	美術史の娘、王女A	1990 (平成2)	写真、メディア	227×182.4	
297	坪井 明日香	唐織追想	1990 (平成2)	陶	63×44×34	
298	小清水 渚	花・赤い	1986 (昭和61)	木、水銀朱、大理石、水	75×240×240	
299	川島 麟樹	Yellow Vacation II	1986 (昭和61)	木、鉄、真鍮、石、アクリル絵具	255×250×44	
300	柳原 瞳夫	雲気紋笑口壺 1	1986 (昭和61)	陶	51×47×33	【前期】
301	柳原 瞳夫	破顔笑口壺	1990 (平成2)	陶	65×32.5×32	【後期】
302	中西 學	THUNDER	1988 (昭和63)	発泡スチロール、アクリル樹脂他	138×181×16	
303	池垣 タダヒコ	series "old melancholy" 「胡鶯」	1985 (昭和60)	銅、はんだ	131×710×480	
304	北辻 良央	オリーブ・祈る人	1989 (平成元)	鉄、木、石、銅、ステンレススチール	245×202×52	
305	木村 秀樹	BANK OF ENGLAND	1988 (昭和63)	シルクスクリーン、紙	160.3×130	【前期】
306	吉原 英雄	二つの地平A	1989 (平成元)	石版、紙	220×125	【後期】
307	吉原 英雄	二つの地平B	1988 (昭和63)	石版、紙	219.5×123.5	【前期】
308	岸中 延年	Spring into View 88-6	1988 (昭和63)	銅版、紙	154.1×119.9	【後期】
309	岸中 延年	Spring into View 90-13	1990 (平成2)	銅版、紙	160.2×160.4	【前期】
310	中路 規夫	6P# MY ROMANCE-A, B, C,	1992 (平成4)	シルクスクリーン、キャンバス	179.6×395.4	個人蔵
311	安東 菜々	Work I-21	1988 (昭和63)	シルクスクリーン、紙	180×260	【後期】
312	奥野 稔和	92V-0303	1992 (平成4)	写真	149.4×199.3	【前期】
313	秋岡 美帆	ゆれるかけ	1990 (平成2)	ネコプリント、紙	154.6×213.5	【前期】
314	小枝 繁昭	Still Life on the Table #3	1990 (平成2)	シルクスクリーン、アクリル絵具、紙	213.5×146.1	【前期】
315	濱田 弘明	Untitled '92-12	1992 (平成4)	シルクスクリーン、写真、キャンバス、紙	180×225	
316	中川 雅宣	果実あつめ I	1989 (平成元)	アクリル絵具、紙	94.5×180×15	【前期】
317	中川 雅宣	果実あつめ	1989 (平成元)	アクリル絵具、紙他	180×120×20	個人蔵 【後期】
318	河崎 ひろみ	あらゆるものと小さなひとつのために '89	1989 (平成元)	油彩、キャンバス	194×912	個人蔵
319						

展覧会事業 常設展

2006(平成18)年度常設展

1. コレクション展 2006-春
4月22日(土)～7月9日(日)

2. コレクション展 2006-夏
7月17日(月・祝)～10月1日(日)
野田裕示+鈴木理策
7月17日(月・祝)～8月27日(日)

3. コレクション展 2006-秋
10月8日(日)～12月10日(日)
没後20年 高井貞二—ニューヨークのタカイー
11月3日(金・祝)～12月10日(日)

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材料	寸法(cm)	備考
195	谷口 薫美	鐵橋	制作年不詳	木版、紙	20.1×27.8	
196	大久保 一	陸橋	1932(昭和7)頃	木版、紙	16.5×21.1	
197	鈴木(武田) 健夫	新宿駅	制作年不詳	木版、紙	31×42	
198	鈴木(武田) 健夫	青果市場	1934(昭和9)	木版、紙	37.8×50.2	
199	鈴木(武田) 健夫	魚河岸	1934(昭和9)	木版、紙	38.2×52.7	
■新しいモチーフの発見：電気：電信柱と明るい夜の情緒						
200	石井 柏亭	日本ばし『東京十二景』	1914-17(大正3-6)	木版、紙	34.5×21.7	
201	石井 柏亭	新ばし『東京十二景』	1914-17(大正3-6)	木版、紙	38.9×25.7	
202	小泉 癸巳男	日本橋	制作年不詳	木版、紙	22.7×30.2	
203	武藤 六郎	夜の日本橋『武藤六郎版画集第1輯』	1933(昭和8)	木版、紙	23.3×32.3	
204	田中 春吉	[風景]	制作年不詳	油彩、板	33×23.2	
205	作者不詳	建物	制作年不詳	油彩、キャンバスボード	33.3×24.2	
206	木下 雅子	新緑	1927(昭和2)	油彩、キャンバス	45.7×38.2	
207	野村 俊彦	[帝劇]	制作年不詳	木版、紙	23.2×32.3	
208	藤森 静雄	夜の歌舞伎座『新東京百景』	1930(昭和5)	木版、紙	18.0×24.5	
209	石井 鶴三	東京駅夕景『大東京風景』	1928(昭和3)	木版、紙	23.8×34.3	
210	徳力 富吉郎	道頓堀の夜	制作年不詳	木版、紙	22.5×30	
211	亀井 玄兵衛	静まれる四条街頭	1935(昭和10)頃	木版、紙	17.6×24.2	
212	徳力 富吉郎	祇園町の夜更	1933(昭和8)	木版、紙	30.8×42.7	
213	藤森 静雄	五月・夜の銀座(京橋区)『大東京十二景』	1933(昭和8)	木版、紙	31.4×24.6	
214	深澤 索一	[風景]	1925(大正14)	木版、紙	21.2×15.4	
215	清水 孝一	風景	制作年不詳	木版、紙	20×15	
216	深澤 索一	薄日	1925(大正14)	木版、紙	25.8×23	
■新しいモチーフの発見：二人の東京風景						
217~219	関野 準一郎	『東京の窓 アオイ書房十週年記念書窓版画帖十連聚其五』	1942(昭和17)年7月31日、アオイ書房	銅版、紙		
217		東京の夏の朝(26.5×42.1)、218 私は銀座が嫌ひである(26.7×42.1)、219 東京には描きたい風景が(26.7×42.1)				
220~221	織田 一磨	『都會生活 アオイ書房十週年記念書窓版画帖十連聚其一』				
220		並木風景(26.8×42.5)、221 河船(27×42.5)	1941(昭和16)年9月30日、アオイ書房	リトグラフ、紙		
■新しいモチーフの発見：郊外へ広がる都市：田園の発見						
222	前川 千帆	地下鉄『新東京百景』	1931(昭和6)	木版、紙	18×24.2	
223	前川 千帆	五反田駅『新東京百景』	1932(昭和7)	木版、紙	18×24.1	
224	藤森 静雄	三月・田園調布の春(大森区)『大東京十二景』	1933(昭和8)	木版、紙	28.3×46.8	
225	平塚 遼一	代々木風景	1931(昭和6)	木版、紙	26.2×37.3	
226	永礼 資朗	代々木上原(東京)	1934(昭和9)	木版、紙	23×32.2	
227	石崎 重利	[郊外]	制作年不詳	木版、紙	26.4×34.9	
228	永礼 資朗	雪景色(東京)	1934(昭和9)	木版、紙	22.8×32.1	
229	永礼 資朗	春の風景	1934(昭和9)	木版、紙	23×30.3	
230	伊東 健典	[土管のある風景]	1936(昭和11)	木版、紙	30.4×39.6	
231	佐伯 祐三	下落合風景	1926(大正15／昭和元)頃	油彩、キャンバス	50.0×60.5	
232	亀井 玄兵衛	郊外風景	昭和初期	墨、紙	54.4×84.1	
233	亀井 玄兵衛	冬日	昭和初期	墨、紙	58.6×59.4	
■新しいモチーフの発見：機械						
234	高井 貞二	機械	1931(昭和6)頃	油彩、キャンバス	52.9×45.5	
235	高井 貞二	『事業之日本』9-10 高井貞二『文明』図版	1930(昭和5)年9月20日、事業之日本社	冊子	26×18.5	個人蔵
236	高井 貞二	「文明」下図(スケッチブックより)	1930(昭和5)	水彩、紙	24.2×28	
237	高井 貞二	「青き襷衣」下図	1936(昭和11)	鉛筆、紙	28×19	
238	高井 貞二	「感情の遊離」下図	1932(昭和7)	水彩、紙	38.2×28	
239	高井 貞二	輪廻	1936(昭和11)	油彩、キャンバス	108.9×143.9	
240	高井 貞二	[失題]	1936(昭和11)	油彩、キャンバス	116.8×91.1	
241	谷中 安規	瞑想氏	1933(昭和8)	木版、紙	17.2×23.4	
242	谷中 安規	花は花	1933(昭和8)	木版、紙	16.1×23.3	
243	谷中 安規	うすむらさき	1933(昭和8)	木版、紙	14.6×22.2	
244	谷中 安規	観覧車	1933(昭和8)	木版、紙	16.9×23.2	
245	谷中 安規	ドラゴンズドリーム	1939(昭和14)頃	木版、紙	21.8×28.2	
246	谷中 安規	繪本『FOU』表画	1936(昭和11)	木版、紙	15×25.7	
247~248	川西 英	『港都情景 アオイ書房十週年記念書窓版画帖十連聚其二』				
247		造船所(26.6×42.4)、248 観艦式(26.8×42)	1941(昭和16)年12月15日、アオイ書房	木版、紙		
249	武井 武雄	ギリシア(紀元前1000年頃)『宇宙説 アオイ書房十週年記念書窓版画帖十連聚其六』	1942(昭和17)年12月25日、アオイ書房	銅版、紙	26.8×41.8	
250		写真 北原鐵雄・詞 恩地孝四郎「船」より『書窓』3-4 1936(昭和11)年9月1日、アオイ書房		冊子	23×16	

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材料	寸法(cm)	備考
251	谷中 安規	『書窓』3-1「出版創作六種」より、恩地孝四郎作「飛行官能」紹介	1936(昭和11)年5月19日、アオイ書房	冊子	23.5×16	
252	谷中 安規	接戦『版芸術』16「戦争版画集」	1933(昭和8)年7月1日、白と黒社	木版、紙	14.2×19.3(29×20.6冊子)	
253	初山 澄	装甲列車『白と黒』19「満州事変創作版画作画集」	1931(昭和6)年11月1日、白と黒社	木版、紙	15×29.5(30.3×21.4冊子)	
254	表紙・恩地孝四郎	『最新科学図鑑「機械時代」』	1932(昭和7)年3月19日、ARS	冊子	25×19.5×2.5	個人蔵
255	稗田 一穂	『登の波止場』	1942(昭和17)	顏料、紙	148.7×125.2	
256	高井 貞二	地図	1934(昭和9)	油彩、キャンバス	131×162.6	
■科学の新しい目でー前衛美術を支えたもの						
257	表紙・恩地孝四郎	『書窓』1-2	1935(昭和10)年5月10日、アオイ書房	冊子	22.8×15.7	
258	表紙・恩地孝四郎	『書窓』1-6	1935(昭和10)年9月10日、アオイ書房	冊子	24×16.2	
259	表紙・恩地孝四郎	『書窓』1-7	1935(昭和10)年10月10日、アオイ書房	冊子	23.3×16	
260	表紙・恩地孝四郎	『書窓』2-5「印刷研究特輯」	1936(昭和11)年3月11日、アオイ書房	冊子	23.3×16.2	
261	表紙・恩地孝四郎	『書窓』4-5「紙の舞」	1937(昭和12)年7月15日、アオイ書房	冊子	23.2×16.2	
262	恩地孝四郎写真・構成・詩「植物の世界から」『書窓』6-1	恩地孝四郎	1938(昭和13)年6月31日、アオイ書房	冊子	23×16	
263~264	恩地 孝四郎	『海の童話 詩を伴ふ版画速作』より	1934(昭和9)年7月2日、版画社	木版、紙		
263	「3.爪は貝殻 腹幹は珊瑚 脣は朱きボリプ體」(26.8×43.7)、264 「5.烈しい沈黙 捕げられたキノ」(28.5×43.7)					
265	中村 岳	表紙『ゆうかり』26	1935(昭和10)年3月31日	木版、紙	28×19	
266	平川 清蔵	失題『Hanga』1	1924(大正13)年2月1日、神戸版画の家	木版、紙	15.6×12.3	
267	深澤 素一	土蔵のある風景『Hanga』3 表紙	1924(大正13)年9月15日、神戸版画の家	木版、紙	10.7×9(25×18.8冊子)	
268	藤牧 義夫	つき『新版画』12	1934(昭和9)年4月10日、新版画集団	木版、紙	12.9×12.3(29.7×21.7冊子)	
269	稗田 一穂	羽化	1959(昭和34)	顏料、紙	155.3×112.3	
270	加藤 太郎	トンボ	1944(昭和19)	木版、紙	21.2×14.4	
271	加藤 太郎	四葉	1944(昭和19)	木版、紙	24×15	
272	加藤 太郎	【作品】	1938(昭和13)頃	木版、紙	36.1×23.5	
273	建島 大夢	魔法使いの女	1923(大正12)	ブロンズ	h.45.3	
274	織田 一磨	感覺	1920(大正9)	リトグラフ、紙	20.7×24.6	
275	恩地 孝四郎	失題【人体】	1927(昭和2)頃	木版、紙	28.4×21.7	
276	恩地 孝四郎	植物の世界	1927(昭和2)頃	木版、紙		
277	恩地 孝四郎	人貌	1924(大正13)	木版、紙	17×23.6	
278	恩地 孝四郎	音楽	1944(昭和19)	木版、紙	34.5×25	
279	稻垣 知雄	炎				

5. 美術百科「前衛の関西」の巻

- 会期：【前期】2007年1月4日(木)～2月18日(日)【後期】2月27日(火)～4月8日(日)
 休館日：月曜日【1月8日(月・祝)、2月12日(振替休日)は開館、翌日休館、2月19日～2月26日(展示替え期間)】
 主催：和歌山県立近代美術館
 協力：株式会社西本、久保田テツ(大阪大学コミュニケーションデザイン・センター)、NPO和歌山芸術文化支援協会(wacss)
 会場：展示室A(1階)+B(1階)+C(1階)
 観覧料：一般310(250)円、大学生210(160)円
 ()内は20名以上の団体料金、高校生以下、65歳以上、障害者の方、県内に在学中の外国人留学生(外国人就学生を含む)は無料
 旨：コレクションをさまざまな視点から紹介するシリーズの第5弾。当館では1983年から「関西の美術家シリーズ」をはじめ、関西の戦後美術の紹介に取り組んできており、今回はそれぞれの時代の美術家たちの問題提議を収蔵作品を通して振り返る。敗戦後間もない時期から、新たな芸術の創造を目指した関西の作家たちの作品を見なおし、そこに受け継がれている前衛精神を紹介した。
 担当学芸員：奥村泰彦
 関連事業：・「アーティスト・トーク」林康夫(陶芸家)・山中嘉一(画家)・森口宏一(彫刻家)・ログズ・ギャラリー、3月21日(水・祝)
 ・「ガソリンミュージック&クルージング 日本横断2006-2007」ログズ・ギャラリー、4月1日(日)～5日(木)
 主催：NPO和歌山芸術文化支援協会(wacss)
 協賛：大桑教育文化振興財団
 協力：air 和歌山実現委員会、和歌山県立近代美術館
 ・「ミュージアムトーク(展示解説)」1月8日(月・祝)、1月28日(日)、2月12日(月・祝)、2月18日(日)、3月4日(月)、4月8日(日)、奥村泰彦
 印刷物：・ポスター(B2判)
 ・ちらし(A4判)
 ・出品目録(B4判12頁)
 関連記事：・「紙上ミュージアム『美術百科「前衛の関西」の巻』『わかやま新報』2006年12月27日、1面
 ・「美術百科「前衛の関西」の巻(前期) 県立近代美術館で1月4日～」『わかやま新報』2006年12月28日、5面
 ・「県立近代美術館 コレクション展 前衛の関西 1」『紀伊民報』2007年1月10日、5面
 ・「独自表現を模索 精神たどる 県立近代美術館で「前衛の関西」展」『毎日新聞』2007年1月11日、20面
 ・「美術百科「前衛の関西」の巻 県立近代美術館でスタート」『わかやま新報』2007年1月11日、6面
 ・定期便教育の窓、和歌山放送、2007年1月13日放送
 ・紙上ミュージアム『美術百科「前衛の関西」の巻』『わかやま新報』2007年1月17日、1面
 ・「展覧会ピックアップ 美術百科「前衛の関西」の巻 前期」『びあ関西版』612、2007年1月18日、108頁
 ・「前期2月18日まで コレクションによる全館展示 美術百科「前衛の関西」の巻」『わかやま新報』2007年1月19日、5面
 ・「関西の前衛美術系譜たどる 近代美術館で展示」『ニュース和歌山』2007年1月20日、6面
 ・「県立近代美術館 コレクション展 前衛の関西 2」『紀伊民報』2007年1月24日、5面
 ・「ART CATALOGUE 美術百科「前衛の関西」の巻」『L magazine』2007年2号
 ・「近代美術館で作品を鑑賞」『わかやま新報』2007年1月25日、2面
 ・「美術百科「前衛の関西」の巻」『中外日報』2007年1月25日、16面
 ・「おすすめ展覧会情報 和歌山県立近代美術館 美術百科「前衛の関西」の巻 前期」『arch』2007年2月1日
 ・「県立近代美術館 コレクション展 前衛の関西 3」『紀伊民報』2007年2月7日、5面
 ・「美術百科「前衛の関西」の巻 所蔵品で動向を概観」『京都新聞』2007年2月10日、8面
 ・「紙上ミュージアム『美術百科「前衛の関西」の巻』『わかやま新報』2007年2月14日、1面
 ・「県立近代美術館 コレクション展 前衛の関西 4」『紀伊民報』2007年2月28日、5面
 ・「カルチャーインフォメーション 和歌山県立近代美術館 美術百科「前衛の関西」の巻 コレクションによる全館展示」『WACA-P』2007年3月
 ・「県立近代美術館 コレクション展 前衛の関西 5」『紀伊民報』2007年3月21日、5面
 ・「県立近代美術館 コレクション展 前衛の関西 6」『紀伊民報』2007年3月28日、7面

「美術百科「前衛の関西」の巻」出品リスト

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材料	寸法(cm)	備考
■イントロダクション (エントランスホールから展示室へ)						
1	山口 牧生	かたむくかたち A	1984(昭和59)	黒御影石、ベンガラ	180×76×51	(ライトコートに展示)
2	北堅 吉彦	熊野-moegi(萌黄)	1999(平成11)	油彩、キャンバス	270×320×320(3点)	(エントランスホール、作者の好意により保存)
3	松本 薫	Cycle-90' R II	1990(平成2)	ステンレススチール、モーター他	200×72×140	
4	堀内 正和	四つの立方体(線)	1979(昭和54)	鉄	85×208×98	
5	松谷 武判	波動 2000-1	2000(平成12)	ビニール接着剤・鉛筆、キャンバス	197×291	個人蔵
6	秋山 陽	META-VOID	2004(平成16)	陶	130×125×136	【前期】(後期は2階ホワイエに展示)
7	清水 九兵衛	FIGURE C	1986(昭和61)	アルミニウム	50×400.5×358.5	個人蔵【後期】
8	宮崎 豊治	身辺モデラー類似化-	1984(昭和59)	鉄、漆	85×55×50	
9	福岡 道雄	反という字	1990(平成2)	ブロンズ	13×64.5×49.4	
■陶による表現の開拓 四耕会と走泥社から始まる表現						
10	林 康夫	作品	1948(昭和23)	テラコッタ	33×23.5×21.5	
11	林 康夫	人体	1950(昭和25)	陶	46×23×18.5	
12	林 康夫	作品 51-2	1951(昭和26)	テラコッタ	32×50×27.5	
13	林 康夫	作品 51-3	1951(昭和26)	テラコッタ	49×32×27	
14	林 康夫	作品(弧)	1955(昭和30)	陶	39.5×34×24.3	
15	林 康夫	作品 58-2	1958(昭和33)	陶	29.9×39.6×16.9	
16	林 康夫	作品 66-21	1966(昭和41)	陶	35×35×28.5	
17	三浦 省吾	作品	1951(昭和26)	陶	29.3×31.5×21.5	
18	八木 一夫	奇偶	1973(昭和48)	黒陶	34.4×28×21.2	
19	八木 一夫	陰気な暦	1977(昭和52)	黒陶	30.4×30.6×7.8	



ポスター



ちらし

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材料	寸法(cm)	備考
20	堀内 正和	人差指	1965(昭和40)	ブロンズ	50.2×15.8×15	
21	鈴木 治	土偶 野武士	1959(昭和34)	陶	43×26×18	
22	山田 光	作品	1956(昭和31)	陶	20.2×35×22.3	
23	山田 光	作品(黒釉)	1956(昭和31)	陶	31.5×33.5×27	
24	山田 光	二つの塔	1959(昭和34)	陶	右:75×20×11・左:81×21×9	
25	山田 光	館	1964(昭和39)	陶	32.8×28×26	
26	山田 光	陶壁	1969(昭和44)	陶	41×50×6	
27	熊倉 順吉	作品	1956(昭和31)	陶	57×51×45	
28	熊倉 順吉	作品	1964(昭和39)	陶	49.6×38.5×38	
29	熊倉 順吉	顔	1969(昭和44)	陶	59.7×21×19	
30	森野 泰明	二つの惑星	1958(昭和33)	陶	23×28×20	
31	森野 泰明	WORK 68-1	1968(昭和43)	陶	33×29×6	
32	森野 泰明	WORK 68-2	1968(昭和43)	陶	27×26×6	
33	森野 泰明	WORK 68-3	1968(昭和43)	陶	38×34×7	
34	柳原 陸夫	鳩の巣	1963(昭和38)	陶	38×49×22	
35	柳原 陸夫	鳩巣	1963(昭和38)	陶	63×43×24	
36	宮永 理吉	寓	1963(昭和38)	陶	58×108×24	
37	川上 力三	雲の記憶	1960(昭和35)	陶	107×50×48	
38	川上 力三	無題	1964(昭和39)	陶	60.7×24.6×15	
39	川上 力三	無題	1966(昭和41)	陶	40.7×24×10.4	
40	佐藤 敏	失題	1966(昭和41)	陶	21×21×23.5	
41	佐藤 敏	唐草マン	1973(昭和48)	陶	44×26.5×30	

■日本画の革新 パンリアル美術協会に集った作家たち

42	三上 誠	碑	1957(昭和32)	顔料、紙	120.5×60.5	【前期】
43	三上 誠	荒地	1960(昭和35)	インク・蠟・顔料、紙	152×121.5	【前期】
44	三上 誠	機構の生理	1970(昭和45)	顔料、紙	121.2×91.3	【前期】
45	三上 誠	凍	1960(昭和35)	混合技法、紙	93×121	【後期】
46	三上 誠	環・経絡	1967(昭和42)	顔料、紙	120.9×179.1	【後期】
47	野村 耕	生成	1959(昭和34)	墨・彩色、紙	150.2×77.8	【前期】
48	野村 耕	無題	1961(昭和36)	紙型・彩色、板	182.1×60	【前期】
49	野村 耕	律	1964(昭和39)	紙型・彩色、板	151.5×90.7	【後期】
50	野村 耕	迷	1964(昭和39)	紙型・カシュー・油彩、ボード	121.4×91	【後期】
51	下村 良之介	夜の曲	1951(昭和26)	彩色、紙	121×121	【前期】
52	下村 良之介	月	1954(昭和29)	彩色、紙	121.7×121.3	【後期】
53	下村 良之介	鳥のほこら	1965(昭和40)	紙粘土・顔料、紙	182.5×170	
54	星野 貞吾	喪中の作品 A	1965(昭和40)	顔料、紙	180.6×89.5	
55	大野 俊嵩	作品	1961(昭和36)	顔料・麻布、綿布	151.3×169.5	【前期】
56	大野 俊嵩	Two Forms	1959(昭和34)	顔料・木屑・綿・麻布	136.8×122.1×17.6	【後期】

■現代美術懇談会(ゲンビ)とその時代

57	植木 茂	モードス	1949(昭和24)	木	57×27×20	
58	須田 勉太	作品	1957(昭和32)	水彩・油彩、紙	28.4×37	
59	杉山 英行	作品	1957(昭和32)	水彩・グラッタージュ、紙	35.9×25.2	【前期】
60	杉山 英行	スクラップ	1958(昭和33)	油彩・キャンバス	73×53.3	【前期】
61	杉山 英行	個型	1957(昭和32)	水彩・グラッタージュ、紙	50.3×38.6	【後期】
62	杉山 英行	作品	1958(昭和33)	墨・グラッタージュ、紙	56.8×39.5	【後期】



No.	作者名	作品名	制作年	技法・材料	寸法(cm)	備考
63	津高 和一	爆発	1954(昭和29)	油彩、キャンバス	131×163	
64	津高 和一	アシタハキノウニナル	1964(昭和39)	油彩、キャンバス	193×129.8	
65	松谷 武判	作品のC	1961(昭和36)	油彩・カスガイ・セメント、合板	182.5×91.5	個人蔵
66	関根 勢之助	落下する赤	1964(昭和39)	油彩、キャンバス	162.1×130.3	
67	中西 康進	独房の喜劇	1959(昭和34)	油彩、布、板他	91×182	個人蔵
■具体美術協会の成果						
68	元永 定正	作品	1964(昭和39)	アクリル、小石、キャンバス	281×181.2	
69	田中 敦子	'61 赤と黒	1961(昭和36)	ビニール絵具、キャンバス	175×129.5	
70	白髪 一雄	地察星 青眼虎	1961(昭和36)	油彩、キャンバス	194×130.6	
71	白髪 一雄	作品	1972(昭和47)	油彩、キャンバス	130.4×162.5	【前期】
72	白髪 一雄	羅刹天譲(ランダリチエイソハカ)	1980(昭和55)	油彩、キャンバス	130.8×194	【後期】
73	白髪 一雄	平治元年十二月二十六日	1966(昭和41)	油彩、キャンバス	273×363.8	
74	松谷 武判	WORK-63-9	1963(昭和38)	ビニール接着剤・油彩他、キャンバス	187×192	
75	前川 強	作品	1963(昭和38)	油彩、麻布、キャンバス	229×179.5×7	
76	向井 修二	作品	1965(昭和40)	油彩、キャンバス	183×137	
77	松田 豊	CHO-CHO-RED	1966(昭和41)	木、モーター他	91×91	個人蔵【前期】
78	松田 豊	SRU-SRU-L	1972(昭和47)	板、紐、モーター他	123×123	個人蔵【前期】
79	松田 豊	GROUND-88	1990(平成2)	木、竹、塗料、モーター他	162×65	個人蔵【前期】
80	松田 豊	[無題]	1960年代後半	木、塗料、モーター他	173.5×173.5	個人蔵【後期】
81	松田 豊	STAGE-28	1990(平成2)	木、塗料、モーター他	173.5×173.5	個人蔵【後期】
82	松田 豊	領主	1998(平成10)	木、塗料、モーター他	162×162	個人蔵【後期】
83	元永 定正	無題	1972(昭和47)	アクリル絵具、キャンバス	130.5×162.5	
84	関根 美夫	作品#395-396	1975(昭和50)	油彩、キャンバス	162.1×270.2	
85	田中 敦子	WORK '91G	1991(平成3)	アクリル絵具、キャンバス	200×200	
86	菅井 渚	雷神	1958(昭和33)	油彩、キャンバス	162.6×130.7	【前期】
87	堂本 尚郎	二元的なアンサンブル	1962(昭和37)	油彩、キャンバス	162×122	【後期】
■デモクラート美術家協会と版画制作の展開						
88	泉 茂	夜明け前	1953(昭和28)	銅版、紙	8.7×16.3	
89	泉 茂	深夜のセロ弾き	1954(昭和29)	銅版、紙	18.3×10.6	
90	泉 茂	回想の幼年期	1954(昭和29)	銅版、紙	27.5×21.5	
91	泉 茂	とり	1954(昭和29)	銅版、紙	47.7×39.7	個人蔵【前期】
92	泉 茂	仲間	1955(昭和30)	銅版、紙	18.9×28	【前期】
93	泉 茂	逃げたスペード	1955(昭和30)	銅版、紙	18.0×13.7	個人蔵【前期】
94	泉 茂	祈り	1955(昭和30)	銅版、紙	18.4×11.9	【前期】
95	泉 茂	キャバレー	1953(昭和28)	銅版、紙	12×20.8	【後期】
96	泉 茂	のろわれた者(異邦人)	1954(昭和29)	銅版、紙	16.6×8.7	【後期】
97	泉 茂	ためいき/何処へ	1954(昭和29)	銅版、紙	17.2×11.3	【後期】
98	泉 茂	とり	1954(昭和29)	銅版、紙	47.7×39.7	個人蔵【後期】
99	泉 茂	マグムオカリーナ	1954(昭和29)	銅版、紙	17.5×12.1	個人蔵【後期】
100	泉 茂	ジエラシー	1955(昭和30)	銅版、紙	14.8×19.9	【後期】
101	泉 茂	ゲームの瞳	1955(昭和30)	銅版、紙	11.1×21	【後期】
102	泉 茂	目	1955(昭和30)	油彩、キャンバス	60.5×72.5	
103	泉 茂</					

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材料	寸法(cm)	備考	No.	作者名	作品名	制作年	技法・材料	寸法(cm)	備考
107	泉 茂	インディアン	1956(昭和31)	石版、紙	48.8×39	【後期】	175	森口 宏一	作品B	1964(昭和39)	油彩、ラッカ、ポリエスチル樹脂他	180.7×104.3	
108	泉 茂	マダム・インディアン	1956(昭和31)	石版、紙	53.1×42	【後期】	176	森口 宏一	白土三平・カムイ伝・より	1967(昭和42)	シルクスクリーン、アクリル板・ステンレススチール他	97×65×10.5	個人蔵【前期】
109-112	泉 茂	しゃも	1957(昭和32)	油彩、キャンバス	65.2×48.5	個人蔵	177	森口 宏一	ボッティチェリ・ヴィナスの誕生・より	1967(昭和42)	シルクスクリーン、アクリル板・ステンレススチール	87.9×134.4×10.5	【前期】
		『詩集 大阪』(詩:小野十三郎、銅版画:泉茂・澤野井信夫、表題:早川良雄)より4点	1955(昭和30)	1956(昭和31)	銅版、紙		178	森口 宏一	グリューネワルト・聖エラスムスと聖マウリス・より	1967(昭和42)	シルクスクリーン、アクリル板・ステンレススチール	90×65×10.5	個人蔵【前期】
113-116	『句画集 壁画』(併句:山口誓子・銅版画:泉茂・澤野井信夫、表題:早川良雄)より4点	1956(昭和31)	銅版、紙	113 泉 茂 無題(23.5×18.2)、114 無題(14.3×18)			179	森口 宏一	作品A	1964(昭和39)	ラッカ、ポリエスチル樹脂、アルミニウム他	180.4×130.5	【後期】
		115 澤野井 信夫 無題(18×24.2)、116 無題(13.9×19.3)					180	森口 宏一	ニュース・ペーパー・より	1967(昭和42)	94×65.5×10.5	個人蔵【後期】	
117	吉田 利次	【『浜の男』下図】	1956(昭和31)以前	コンテ・水彩、紙	50.1×38.2		181	森口 宏一	ニュース・ペーパー・より	1967(昭和42)	80×55×10.5	個人蔵【後期】	
118	森 泰	作品	1957(昭和32)	木版、紙	46.3×60		182	森口 宏一	ニュース・ペーパー・より	1967(昭和42)	95×64.5×10.5	個人蔵【後期】	
119	森 啓	作品	1957(昭和32)	水彩・コンテ、紙	65.7×50.6		183	森口 宏一	自画像・顔	1973(昭和48)	フィルム、アクリル、ステンレススチール他	57.5×49×10.5	個人蔵
120-125	高井 義博	『高井義博エッセイ』第1集「荒地の中に立っている」より6点	1955(昭和30)	銅版、紙	個人		184	山中 嘉一	Signal	1967(昭和42)	シルクスクリーン、キャンバス	162×130.3	個人蔵【前期】
		120 箱庭の人間(25×18.1)、121 原子時代(17.9×22)、122 休日の日どこかで(24.5×18.2)【前期】					185	山中 嘉一	Victory	1967(昭和42)	シルクスクリーン、キャンバス	162×130.3	個人蔵【前期】
		123 孤独な女(25×17.5)、124 アプレの愛情(18×24)、125 二つの像(25×17.9)【後期】					186	山中 嘉一	Blue-zone	1968(昭和43)	シルクスクリーン、キャンバス	162×130.3	個人蔵【後期】
126	内海 柳子	堀の中の鳥	1958(昭和33)	銅版、紙	23.8×27.1	個人蔵【前期】	187	山中 嘉一	Sky-zone	1968(昭和43)	シルクスクリーン、キャンバス	162×97	個人蔵【後期】
127	内海 柳子	へいの中の蝶	1957(昭和32)	銅版、紙	17.3×24.6	【後期】	188	吉原 英雄	出来事II	1966(昭和41)	石版・銅版、紙	51.1×38.1	【前期】
128	内海 柳子	堀の中の物語	1957(昭和32)	銅版、紙	23.7×19.7	個人蔵	189	吉原 英雄	サマー・タイム	1967(昭和42)	石版・銅版、紙	56×41.7	【前期】
129	内海 柳子	堀の中の住人	1958(昭和33)	銅版、紙	23.4×28.4	個人蔵【前期】	190	吉原 英雄	ヤング・レディ	1968(昭和43)	石版・銅版、紙	56×41.6	【前期】
130	内海 柳子	陽気な仕事場	1958(昭和33)	銅版、紙	17.4×22.9	【後期】	191	吉原 英雄	シーソー1	1968(昭和43)	石版・銅版、紙	100.1×100.2	【後期】
131-136	木村 茂	『木村茂エッセイ』より6点	1958(昭和33)	銅版、紙	個人蔵		192	吉原 英雄	彼女は空に	1968(昭和43)	石版・銅版、紙	70.6×103.2	【後期】
		131 百合花(28×20.2)、132 転車台(18.8×28)、133 レールB(18.5×14.2)【前期】					193	林 康夫	肖像 又は ゲート	1974(昭和49)	陶	46×27×30	【前期】
		134 樹根(28.1×20.9)、135 鉄骨(22.2×30.8)、136 レールC(27.9×15.2)【後期】					194	熊倉 順吉	秘められた欲望	1972(昭和47)	陶	54.7×34×16.5	【後期】
137	山中 嘉一	【題不詳】	1956(昭和31)	石版、紙	54.7×39.6	個人蔵	195	林 秀行	作品	1969(昭和44)	陶	28×51×5.5	
138	山中 嘉一	【題不詳】	1956(昭和31)	石版、紙	54.6×39.6	個人蔵	196	林 秀行	箱の中の輪ちかい	1968(昭和43)	陶	37.5×37.5×37.5	
139	山中 嘉一	方形の詩(A)	1957(昭和32)	石版、紙	54.4×38.3	個人蔵	197	林 秀行	美容体操	1973(昭和48)	磁	31×20.5×11.9	
140	山中 嘉一	手	1957(昭和32)	石版、紙	54.3×38.4	個人蔵	198	宮永 理吉	4つの円筒	1970(昭和45)	陶	29×34×27	
141	船井 裕	鳥寄せ	1957(昭和32)	石版、紙	40.5×56	【前期】	199	山田 光	陶面の中の1/4円環	1976(昭和51)	陶	43×34×13	
142	船井 裕	CHILD & SPELL	1957(昭和32)	石版、紙	41×23.5	【前期】	200	山田 光	陶面の中の数字	1976(昭和51)	陶	54×34×9	【前期】
143	船井 裕	CHILD & SPELL	1958(昭和33)	石版、紙	28.5×43	【前期】	201	柳原 瞳夫	風の十字路	1979(昭和54)頃	陶	43×34×29	【後期】
144	船井 裕	けもの	1957(昭和32)	石版、紙	36.5×51.6	【後期】	202	三島 喜美代	パッケージ	1974(昭和49)	陶	26×36.5×27	
145	船井 裕	CHILD & SPELL	1958(昭和33)	石版、紙	38.2×26	【後期】	203	星野 晚	表層・深層	1979(昭和48)	黒陶	17×46×118	
146	船井 裕	音楽家	1957(昭和32)	石版、紙	28×39.1	【後期】	204	木村 光佑	OUT OF TIME-24	1970(昭和45)	石版・シルクスクリーン、アクリル板・紙	77.8×54	【前期】
147	吉原 英雄	たわむれ	1956(昭和31)	油彩、合板	129.9×91	【後期】	205	木村 光佑	OUT OF TIME-25	1970(昭和45)	石版・シルクスクリーン、アクリル板・紙	77.8×53.8	【前期】
148	吉原 英雄	ひまわり	1956(昭和31)	石版、紙	40.5×29	【前期】	206	木村 光佑	現在位置-存在(C)	1971(昭和46)	石版・シルクスクリーン、紙	72.7×103	【前期】
149	吉原 英雄	水族館	1956(昭和31)	石版、紙	51×38	【前期】	207	木村 光佑	OUT OF TIME-26	1970(昭和45)	石版・シルクスクリーン、アクリル板・紙	77.8×53.8	【後期】
150	吉原 英雄	赤い実	1957(昭和32)	石版、紙	54.5×65.5	個人蔵【前期】	208	木村 光佑	現在位置 フレーミング(A)	1971(昭和46)	石版・シルクスクリーン、紙	73.5×104.9	【後期】
151	吉原 英雄	潛水	1957(昭和32)	石版、紙	40.5×55	【前期】	209	木村 光佑	現在位置-存在(A)	1970(昭和45)	石版・シルクスクリーン、紙	73.8×103	【後期】
152	吉原 英雄	夜の鳥	1957(昭和32)	石版、紙	28.6×22.2	個人蔵【前期】	210	黒崎 彰	箇のコンボジションA/B/C(6点組)	1970(昭和45)	木版、紙	各83.1×57	【前期】
153	吉原 英雄	沈んだチエス	1958(昭和33)	石版、紙	34×25.5	個人蔵【前期】	211	黒崎 彰	窓話69	1969(昭和44)	木版、紙	50×70	【後期】
154	吉原 英雄	砂漠の花	1958(昭和33)	石版、紙	67.5×56	個人蔵【前期】	212	黒崎 彰	深い闇1	1970(昭和45)	木版、紙	55×55	【後期】
155	吉原 英雄	海の日蝕	1958(昭和33)	石版、紙	19.4×27.2	個人蔵【前期】	213	黒崎 彰	赤い闇2	1970(昭和45)	木版、紙	79.5×54.7	【後期】
156	吉原 英雄	ポンゴのおどり	1959(昭和34)	石版、紙	55.3×40.4	【前期】	214	泉 茂	北の空	1970(昭和45)	シルクスクリーン、紙	79.2×109.3	個人蔵
157	吉原 英雄	いやな野郎	1957(昭和32)	石版、紙	68.7×51.4	個人蔵【後期】	215	泉 茂	KF1506(丸)	1972(昭和47)	油彩、キャンバス	182×227	
158	吉原 英雄	火の鳥	1957(昭和32)	石版、紙	55.5×45.3	【後期】	216	井田 黒一	"Wind, please pass through this hole"	1973(昭和48)	石版・ホットスタンプ、紙	70×54.3	
159	吉原 英雄	鳥人	1957(昭和32)	石版、紙	49.5×38.8	【後期】	217	井田 黒一	Rose Hole	1973(昭和48)	石版・孔版、スポンジ・紙	71.8×55.6×1	
■1960年代から70年代へ													
160	泉 茂	Painting (DF1005)	1965(昭和40)	油彩、キャンバス	162×130	個人蔵	218	井田 黒一	Girls Interior-1	1973(昭和48)	石版、紙	54.4×70	
161	泉 茂	ピーコック	1960(昭和35)	石版、紙	32.8×43.3	個人蔵【後期】	219	井田 黒一	SPRAYED-LA VIE EN ROSE	1973(昭和48)	石版、紙	70.3×54	
162	泉 茂	層	1961(昭和36)	銅版、紙	45×51.9	【後期】	220	木村 秀樹	Pencil 2-1/2/3	1974(昭和49)	シルクスクリーン、紙	各75.5×107.1	
163	吉原												

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材料	寸法(cm)	備考
-----	-----	-----	-----	-------	--------	----



236	北辻 良央	WORK (Cézanne) I	1978 (昭和53)	銅版、紙	19.2×15.1	【後期】
237	井田 照一	Floor, Paper and Four Stones	1976 (昭和51)	木版・石版、紙	145.5×101.5	
238	関根 勢之助	ランドスケープ3-1/2/3	1976 (昭和51)	シンナープリント・色鉛筆、紙	各109.2×79.2	
239	孫 雅由	現前OC78-01	1978 (昭和53)	油彩、木炭、麻布	194×130.5	
240	福岡 道雄	ピンクの残像又は黒の降下	1972 (昭和47)	黒色強化ポリエチレン、布、木	200×150×150	個人蔵
241	福岡 道雄	蛾1	1972 (昭和47)	黒色強化ポリエチレン、木	227×209×33	個人蔵
242	福岡 道雄	蛾2	1972 (昭和47)	黒色強化ポリエチレン、木	204×199×62	個人蔵
243	福岡 道雄	坂道	1974 (昭和49)	黒色強化ポリエチレン、木	121×51×61	
244	福岡 道雄	石をとす (2)	1977 (昭和52)	黒色強化ポリエチレン、木	95×60×45	
245	福岡 道雄	竹生島	1983 (昭和58)	黒色強化ポリエチレン、木	47×120×160	
246	福岡 道雄	鳥になれるか2	1990 (平成2)	ブロンズ	91×62×15	
■インテルメツツオ (2階ホワイエ)						
247	北堅 吉彦	山並-senkoushu (鮮光朱)	1999 (平成11)	油彩	170×1020	(大階段通り場、作者の好意により保存)
248	曾我 孝司	重力質-柱	1984 (昭和59)	プリキ、真鍮、塩化ビニール	230×45×9000	
249	山口 牧生	四面体へのアプローチ	1982 (昭和57)	黒御影石、ベンガラ	40×195×40	
■1980年代以後の表現						
250	森口 宏一	作品	1981 (昭和56)	ステンレススチール	200×73×250	
251	清水 九兵衛	WIG 7	1980 (昭和55)	アルミニウム	97.5×18.5×12.2	
252	山田 光	黒陶スクリーン	1982 (昭和57)	陶	56×29×8	
253	山田 光	窓	1983 (昭和58)	陶	51×46×12	
254	鈴木 治	馬	1984 (昭和59)	陶	74.6×48.9×23	
255	鈴木 治	太陽のシグナル	1984 (昭和59)	陶	61.5×51×17	
256	宮永 理吉	台密の屋根	1987 (昭和62)	陶	26×38×18	
257	泉 茂	敲三角	1982 (昭和57)	油彩、キャンバス	163×130	個人蔵
258	佐藤 敏	レッド・ゾーンB	1979 (昭和48)	陶、金属	51.5×81×11	
259	佐藤 敏	Gメン	1982 (昭和57)	陶	38×34.5×25.5	
260	佐藤 敏	失題	1982 (昭和57) 頃	陶	27.5×20×25.5	
261	林 秀行	見栄をきる	1982 (昭和57)	陶	42×11.2×13.2	
262	林 秀行	天使の孤独	1982 (昭和57)	磁	52×12×12	
263	林 秀行	鳥のシリーズ二度めの恋	1983 (昭和58)	黒陶	59.3×42.1×14.3	
264	熊倉 順吉	ブラックミュージック	1984 (昭和59)	陶	41.5×25×13	
265	熊倉 順吉	ミュージシャン	1984 (昭和59)	陶	42×23×10.5	
266	熊倉 順吉	作品	1984 (昭和59)	陶	37×40×22	
267	荒木 高子	頬廻の聖書	1983 (昭和58)	磁土	14.5×22.3×20.3	
268	荒木 高子	砂の聖書	1983 (昭和58)	シャモット、砂	18×64×46	
269	木村 秀樹	H君の水鳥	1983 (昭和58)	シルクスクリーン、キャンバス	88.8×89.6	
270	北辻 良央	WORK-RR2	1982 (昭和57)	鉄、素焼粘土、パステル・紙	106×88×20	
271	山本 容子	Love Lash <ROMANCE>	1984 (昭和59)	銅版、紙	57×75.5	
272	関根 勢之助	絵画時間 Grey 2-6-18min	1985 (昭和60) 頃	インク、紙	79.4×61	【前期】
273	関根 勢之助	絵画時間 Dark Grey 20min	1985 (昭和60) 頃	インク、紙	79.4×61	【前期】
274	関根 勢之助	絵画時間 6つの面	1984 (昭和59) 頃	インク、紙	79.4×61	【後期】
275	関根 勢之助	絵画時間 3-5-7-9min	1984 (昭和59) 頃	インク、紙	79.4×61	【後期】
276	浅野 弥衛	無題	1981 (昭和56)	油彩、キャンバス	72.8×91	【後期】
277	野村 仁	自転と重力	1982-84 (昭和57-59)	写真	178×119.6	
278	川俣 正	ヴェニス・ビエンナーレ1982年6月~8月、ニューヨーク	1982 (昭和57)	石版、紙	44.6×52.2	【前期】
279	川俣 正	P.S.I7ジエイ1985年4月~6月、ニューヨーク	1985 (昭和60)	石版、紙	48.6×59.5	【前期】
280	曾我 孝司	重力平面一水の家 No.10	1984 (昭和59)	ブロンズ、鉄	65×50×110	個人蔵
281	宮崎 豊治	身辺モデルー類似化ー	1985 (昭和60)	鉄、漆	120×225×103	

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材料	寸法(cm)	備考
282	宮崎 豊治	身辺モデルー類似化ー	1985 (昭和60)	鉄、漆	152×65×40	
283	篠山 忠保	四本柱	1986 (昭和61)	陶	75.3×46.2×45.4	【前期】
284	篠山 忠保	かたやね	1986 (昭和61)	陶	63×40.3×22	【後期】
285	川上 力三	行先	1988 (昭和63)	陶	34.8×18.6×34.1	【前期】
286	川上 力三	遍路者	1988 (昭和63)	陶	52×38×39.5	【後期】
287	濱田 弘明	River Side	1988 (昭和63)	シルクスクリーン、布、コラージュ他	120×395	
288	小清水 渚	浮くかたち	1984 (昭和59)	木	72.5×202.5×85.4	
289	北山 善夫	鉛でもどうかね	1987 (昭和62)	竹、紙、革	69×214.5×61	
290	秋山 陽	主のない領域	1986 (昭和61)	黒陶、鉄	66×150×100	
291	木村 秀樹	冬のライオン	1986 (昭和61)	シルクスクリーン、キャンバス	140.3×199.9	
292	林 康夫	Focus VI-B	1984 (昭和59)	陶	34.5×38.5×38.5	
293	林 康夫	Phase 85-2	1985 (昭和60)	陶	38.5×32.5×33.5	
294	清水 桂博	WORK 87-A	1987 (昭和62)	陶	29×135×156	
295	森村 泰昌	肖像 (娘 II)	1988 (昭和63)	写真	154×115.7	
296	森村 泰昌	美術史の娘、王女A	1990 (平成2)	写真、メディア	227×182.4	
297	坪井 明日香	唐織追想	1990 (平成2)	陶	63×44×34	
298	小清水 渚	花・赤い	1986 (昭和61)	木、水銀朱、大理石、水	75×240×240	
299	川島 麟樹	Yellow Vacation II	1986 (昭和61)	木、鉄、真鍮、石、アクリル絵具	255×250×44	
300	柳原 瞳夫	雲気紋笑口壺 1	1986 (昭和61)	陶	51×47×33	【前期】
301	柳原 瞳夫	破顔笑口壺	1990 (平成2)	陶	65×32.5×32	【後期】
302	中西 學	THUNDER	1988 (昭和63)	発泡スチロール、アクリル樹脂他	138×181×16	
303	池垣 タダヒコ	series "old melancholy" 「胡鶴」	1985 (昭和60)	銅、はんだ	131×710×480	
304	北辻 良央	オリーブ・祈る人	1989 (平成元)	鉄、木、石、銅、ステンレススチール	245×202×52	
305	木村 秀樹	BANK OF ENGLAND	1988 (昭和63)	シルクスクリーン、紙	160.3×130	【前期】
306	吉原 英雄	二つの地平A	1989 (平成元)	石版、紙	220×125	【後期】
307	吉原 英雄	二つの地平B	1988 (昭和63)	石版、紙	219.5×123.5	【前期】
308	岸中 延年	Spring into View 88-6	1988 (昭和63)	銅版、紙	154.1×119.9	【後期】
309	岸中 延年	Spring into View 90-13	1990 (平成2)	銅版、紙	160.2×160.4	【前期】
310	中路 規夫	6P# MY ROMANCE-A, B, C,	1992 (平成4)	シルクスクリーン、キャンバス	179.6×395.4	個人蔵
311	安東 菜々	Work I-21	1988 (昭和63)	シルクスクリーン、紙	180×260	【後期】
312	奥野 慶和	92V-0303	1992 (平成4)	写真	149.4×199.3	【前期】
313	秋岡 美帆	ゆれるかけ	1990 (平成2)	ネコプリント、紙	154.6×213.5	【前期】
314	小枝 繁昭	Still Life on the Table #3	1990 (平成2)	シルクスクリーン、アクリル絵具、紙	213.5×146.1	【前期】
315	濱田 弘明	Untitled '92-12	1992 (平成4)	シルクスクリーン、写真、キャンバス、紙	180×225	
316	中川 雅宣	果実あつめ I	1989 (平成元)	アクリル絵具、紙	94.5×180×15	【前期】
317	中川 雅宣	果実あつめ	1989 (平成元)	アクリル絵具、紙他	180×120×20	個人蔵 【後期】
318	河崎 ひろみ	あらゆるものと小さなひとつのために '89				
319	木下 佳通代	LA '92-CA711	1989 (平成元)	油彩、キャンバス	194×912	個人蔵
320	原田 要	絵画の庭—平遠II	1992 (平成4)	アクリル絵具、キャンバス	218.5×290.8	
321-325	ログズギャラリー ガソリン・ミュージック&クルージング、日本横断、2006-20					

展覧会事業 常設展

2006(平成18)年度常設展

1. コレクション展 2006-春
4月22日(土)～7月9日(日)

2. コレクション展 2006-夏
7月17日(月・祝)～10月1日(日)
野田裕示+鈴木理策
7月17日(月・祝)～8月27日(日)

3. コレクション展 2006-秋
10月8日(日)～12月10日(日)
没後20年 高井貞二—ニューヨークのタカイー
11月3日(金・祝)～12月10日(日)

1. コレクション展 2006-春 小特集：追悼・建畠覚造+新収蔵作品

会期：2006(平成18)年4月22日(土)～7月9日(日)

休館日：月曜日(祝日の場合は翌日)

主催：和歌山県立近代美術館

会場：展示室A+B(1階)

観覧料：一般310(250)円 大学生210(160)円

()内は20名以上の団体料金

小・中・高校生、県内留学・就学生、障害者、65才以上の方は無料

内容：2005(平成17)年文化功労者に選ばれ、2006(平成18)年2月16日に逝去した建畠覚造(1919-2006)の足跡を、1950(昭和25)年から

96(平成8)年までの作品約70点によって回顧し、父・大夢(1880-1942)、同じく彫刻の道へ進んだ長男・朔弥(1944-)の作品と

もに展示した。さらに、昨年度新たに収蔵した作品を紹介した。

担当学芸員：奥村泰彦

印刷物：出品目録(B4判12頁)

関連記事：・加藤義夫「ベトナム近代絵画展 戦争の時代 独自の発展」『朝日新聞』(夕刊)2006年5月19日、12面
・わかやまNEWSウェーブ、2006年5月23日放映

「コレクション展2006-春」出品リスト

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	備考
-----	-----	-----	-----	-------	--------	----



■追悼・建畠覚造

1	建畠 覚造	MANJI	1982(昭和57)	ステンレススチール	270×170×75	
2	建畠 覚造	CLOUD 5(大)	1980(昭和55)	木	133.5×70.7×109.5	
3	建畠 覚造	地層(作品Aの23)	1951(昭和26)	ポリエステル	130×90×70	
4	建畠 覚造	作品 Aの8	1950(昭和25)	ポリエステル	27.5×20×37	
5	建畠 覚造	かほ	1953(昭和28)	木	69.5×21.5×30.2	
6	建畠 覚造	はには	1953(昭和28)	木	83.5×36×18.8	
7	建畠 覚造	垂直の展開	1954(昭和29)	木	118×24×19.5	
8	建畠 覚造	展開	1954(昭和29)	木	79×41.2×18.5	
9	建畠 覚造	核	1954(昭和29)	木	63×53×43	
10	建畠 覚造	核2	1956(昭和31)	セメント・鉄	83.5×76.5×40	
11	建畠 覚造	殻	1957(昭和32)	鉄・樹脂	73×50×76	
12	建畠 覚造	祖	1957(昭和32)	セメント・土管	124×37.5×37.5	
13	建畠 覚造	有機体	1958(昭和33)	木・セメント	124×95×56	
14	建畠 覚造	有機体3(マケット)	1957(昭和32)	セメント・鉄	42.5×12.5×11	
15	建畠 覚造	星の樹(マケット)	1959(昭和34)	ポリエステル	45.5×10.5×25	
16	建畠 覚造	鳥	1960(昭和35)	ポリエステル	124×122×33	
17	建畠 覚造	星の樹2	1961(昭和36)	ポリエステル・鉄	245×70.2×50	
18	建畠 覚造	斜めの壁	1962(昭和37)	鉄	105.5×124×19.5	
19	建畠 覚造	ORGAN	1962(昭和37)	セメント・石	95×123×23.8	
20	建畠 覚造	デッサン[有機体]	1957(昭和32)頃	鉛筆・インク、紙	18.4×16	
21	建畠 覚造	デッサン[星の樹2]	1961(昭和36)	鉛筆・インク、紙	35.4×25	
22	建畠 覚造	デッサン[ORGAN No.8]	1965(昭和40)頃	鉛筆・インク、紙	25.3×35.6	
23	建畠 覚造	デッサン[ORGAN-BOX]	1967(昭和42)	鉛筆・インク、紙	24.9×35.9	
24	建畠 覚造	デッサン[壁体]	1966(昭和41)頃	鉛筆・インク、紙	35.4×25.8	
25	建畠 覚造	デッサン[CHIMNEY BOTTLES]	1970(昭和45)頃	鉛筆・インク、紙	24.9×35.9	
26	建畠 覚造	ORGAN No.2(マケット)	1963(昭和38)	ポリエステル	36.5×12×53	

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	備考
27	建畠 覚造	ORGAN No.4(マケット)	1964(昭和39)	ポリエステル	33×9.5×10.5	
28	建畠 覚造	門'64(マケット)	1964(昭和39)	ポリエステル	34.5×21×7.3	
29	建畠 覚造	ORGAN No.8(マケット)	1965(昭和40)	ポリエステル	22×20×35.5	
30	建畠 覚造	ORGAN-BOX(マケット)	1967(昭和42)	ポリエステル	36.8×12.5×12	
31	建畠 覚造	壁体(マケット)	1966(昭和41)	ホワイトプロンズ	53×21×11	
32	建畠 覚造	ORGAN No.16	1967(昭和42)	アルミニウム	43×16×18	
33	建畠 覚造	標識2	1969(昭和44)	強化プラスティック	43.2×30.2×7.2	
34	建畠 覚造	CHIMNEY BOTTLES	1970(昭和45)	アルミニウム・ステンレススチール	62×66.3×20	
35	建畠 覚造	Go Go	1971(昭和46)	アルミニウム・ステンレススチール	60.5×76.5×18	
36	建畠 覚造	波(マケット)	1971(昭和46)	強化プラスチック	70×42.5×42	
37	建畠 覚造	デッサン[波]	1974(昭和49)頃	鉛筆・インク、紙	45.6×25.6	
38	建畠 覚造	標識	1971(昭和46)	アクリル・強化樹脂	34.6×120.5×30	
39	建畠 覚造	儀式(小)	1972(昭和47)	アルミニウム・ステンレス、皮	23.5×150×12.9	
40	建畠 覚造	デッサン[ひと(大)]	1975(昭和50)頃	鉛筆・インク、紙	43×26×18	
41	建畠 覚造	ひと(大)	1975(昭和50)	プロンズ	211.5×81×148.4	
42	建畠 覚造	二人	1975(昭和50)	プロンズ	63×137×60	
43	建畠 覚造	ALARM	1972(昭和47)	ポリエステル・アクリル	57×38×30	個人蔵
44	建畠 覚造	NIGHT WATCH	1975(昭和50)	アルミニウム・ステンレススチール	60×60×3	個人蔵
45	建畠 覚造	???	1976(昭和51)	真鍮、アルミニウム・鉄	125×120×50	個人蔵
46	建畠 覚造	????	1977(昭和52)	ステンレススチール・アルミニウム	91×51×47.7	
47	建畠 覚造	さ傘2	1974(昭和49)	アルミニウム	90.5×50×47.6	
48	建畠 覚造	ECLIPSE(DISK 1)	1976(昭和51)	アルミニウム・鉄・木・モーター	56×156×88	
49	建畠 覚造	DISK 2	1977(昭和52)	アルミニウム・鉄・木・モーター	36.5×86×32.5	
50	建畠 覚造	DISK 3	1977(昭和52)	アルミニウム・真鍮	40×36×55	
51	建畠 覚造	DISK 4	1977(昭和52)	アルミニウム・木	35.5×31×31	
52	建畠 覚造	DISK 5	1977(昭和52)	アルミニウム・ステンレススチール	45×45×8	
53	建畠 覚造	DISK 9	1977(昭和48)	木・鏡	45×45×8	
54	建畠 覚造	瑞徵(マケット)	1979(昭和48)	木	45×45×8	
55	建畠 覚造	室内1	1979(昭和48)	木	45×45×8	
56	建畠 覚造	室内2	1979(昭和48)	木	45×45×8	
57	建畠 覚造	室内3	1979(昭和48)	木	45×45×8	
58	建畠 覚造	室内4	1979(昭和48)	木	45×45×8	
59	建畠 覚造	室内5	1979(昭和54)	木	33×33×7	個人蔵
60	建畠 覚造	DISK 16	1979(昭和54)	木	33×33×11	個人蔵
61	建畠 覚造	DISK 17	1979(昭和54)	木	55×55×7	個人蔵
62	建畠 覚造	DISK 18	1979(昭和54)	木	55×55×7	個人蔵
63	建畠 覚造	DISK 19	1979(昭和54)	木	90×70×12	
64	建畠 覚造	CLOUD 4(大)	1981(昭和56)	ジュラルミン	3837.8×183.3×38.5	
65	建畠 覚造	CLOUD 3(大)	1981(昭和56)	木	69.7×70×30.8	
66	建畠 覚造	CLOUD 8(大)	1981(昭和56)	木	89×85×30.8	
67	建畠 覚造	CLOUD 9(大)	1981(昭和56)	木	91×84×26	
68	建畠 覚造	CLOUD 6(大)	1981(昭和56)	木	41.5×188×28.5	
69	建畠 覚造	UNDERGROUND 4(大)	1981(昭和56)	木	44.5×44.5×6	
70	建畠 覚造	CLOUD 10	1981(昭和56)	木	4.9×44.5×44.2	
71	建畠 覚造	CLOUD 11	1981(昭和56)	木	45×45×6.5	個人蔵
72	建畠 覚造	CLOUD 12	1981(昭和56)	木	45×45×6.5	
73	建畠 覚造	CLOUD 13	1981(昭和57)	木	80.6×177.8×26.1	
74	建畠 覚造	断層	1982(昭和57)	木	40×89.6×89.8	
75	建畠 覚造	LANDSCAPE 14	1983(昭和58)	木、ウレタン塗料	42.3×30.2×30	
76	建畠 覚造	LANDSCAPE 16	1984(昭和59)	木、ウレタン塗料	38.3×29.7×30.1	
77	建畠 覚造	LANDSCAPE 17	1984(昭和59)	木、ウレタン塗料	30.3×29.8×30	
78	建畠 覚造	LANDSCAPE 18				

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	備考
94	シーガル, ジョージ	【我はわが愛する者につき】(40×25)、95 【われ胡桃の園にくだりゆき】(40×25)、96 【帰れ帰れシラミの婦よ】(40×25)	1988 (昭和63)	石膏、木、アクリル絵具、他	264.6×359.9×270.4	
97	シーガル, ジョージ	煉瓦の壁ぞいに歩く男	1957 (昭和32)	油彩、キャンバス	176.2×136.6	
98	ロスコ, マーク	赤の上の黄褐色と黒	1966 (昭和41)	シルクスクリーン、紙		
99~108	ラインハート, アド	『10 SCREENPRINTS』				
99		Untitled (33.5×25.5)、100 Untitled (33.5×14.8)、101 Untitled (53.3×14.8)、102 Untitled (53.4×14.8)、103 Untitled (40.7×25.4)、104 Untitled (30.5×30.5)、105 Untitled (53.3×17.8)、106 Untitled (45.8×22.9)、107 Untitled (45.7×23)、108 Untitled 1966 (昭和41)				
109	フランシス, サム	白い線	1960 (昭和35)	リトグラフ、紙	84.7×63.3	
110	宇佐美 圭司	還元 No.6	1963 (昭和38)	油彩、キャンバス	135×184.8	
111	荒川 修作	(UNTITLED)	1964 (昭和39)	油彩、キャンバス	225×162.7	
■建島大夢と近代の美術						
112	建島 大夢	若き日の北村西望(胸像)	1911 (明治44)	ブロンズ	25×13×12	
113	建島 大夢	お湯のつかれ	1913 (大正2)/鋳造1970 (昭和45)	ブロンズ	h.68×40×56	
114	建島 大夢	魔法使いの女	1923 (大正12)	ブロンズ	h.45.3×12.5×20	
115	建島 大夢	少女胸像	昭和前期	大理石	h.46	
116	建島 大夢	恩師の顔	1939 (昭和14)	ブロンズ	h.35	
117	建島 大夢	夢	1939 (昭和14)	ブロンズ	h.168.5	
118	建島 大夢	憩う女	1925 (大正14)/1970 (昭和45) 錫造	ブロンズ	h.113	
119	神中 糸子	海岸風景	1888-92 (明治21-25)	油彩、キャンバス	38×80.4	
120	梅原 龍三郎	静浦(口野)風景	1929 (昭和4)	油彩、キャンバス	60.8×50.1	
121	萬 鐵五郎	湘南風景	1922 (大正11)頃	油彩、キャンバス	33.3×46.0	個人蔵
122	岸田 劉生	黒き帽子の自画像	1914 (大正3)	油彩、板	51.3×39.2	個人蔵
123	保田 龍門	自画像	1915 (大正4)	油彩、キャンバス	45.4×37.7	
124	川口 軌外	キヤフエにて	1927 (昭和2)	油彩、キャンバス	79×64	個人蔵
125	川口 軌外	静物	1927-29 (昭和2-4)	油彩、キャンバス	73.4×60.4	
127	宮坂 勝	静物	1926 (大正15)頃	油彩、キャンバス	27×34.7×キャンバス	
128	佐伯 祐三	オワーズ河周辺風景	1924 (大正13)	油彩、キャンバス	46×53.7	
129	佐伯 祐三	パリの街角	1925 (大正14)	油彩、キャンバス	65×41.5	
130	佐伯 祐三	リュ・デュ・シャトーの歩道	1925 (大正14)	油彩、キャンバス	60×73.1	
131	佐伯 祐三	カフェ・レストラン	1927 (昭和2)	油彩、キャンバス	61×50.3	個人蔵
132	佐伯 祐三	モラン風景	1928 (昭和3)	油彩、ボード	38×44.5	
133	松本 索介	三人	1943 (昭和18)	油彩、キャンバス	162.2×112.5	個人蔵
■新収蔵作品と20世紀の美術(2)						
134	郭 德俊	フォードと郭(A)	1974 (昭和49)	リトグラフ、紙	63.5×898.7	
135	田中 敦子	WORK '91G	1991 (平成3)	アクリル、キャンバス	直径200	
136	中西 學	THUNDER	1988 (昭和63)	発泡スチロール、アクリル樹脂他	138×181×16	
137	中川 佳宣	monogram 98008	1998-99 (平成10-11)	牛革、綿、糸、木、アクリル絵具他	95×33×45	
138	建島 朔弥	アイルコンボネットー1	1991 (平成3)	木、アクリル絵具	68×148×140	
139	原 勝四郎	春の風景	制作年不詳	油彩、板	21.6×27.2	個人蔵
140	原 勝四郎	お嬢さん	1948 (昭和23)頃	油彩、板	45.7×37.7	個人蔵
141	原 勝四郎	風景(海)	制作年不詳	油彩、板	23.6×32.5	個人蔵
142	清水 達三	枯木灘	2001 (平成13)	顔料、麻紙	172.5×332	
143	西村 伊作	花器	1919 (大正8)	陶	20.5×23×20	
144	中村 善種	余呂の廢船	1988 (昭和63)	油彩、キャンバス	194×259	
■展示室外の作品						
145	フランガン, パリー	ねじまがった釣鐘の上を跳ぶ野兔	1989 (平成元)	ブロンズ	230×187×128.5	
146	小河 刑司	COLOR TINT -RED AND BLUE-	1996 (平成8)	アクリル絵具・ミックスホワイト、木	240×25×20	
147	北堅 吉彦	熊野-moegi(萌黄)	1999 (平成11)	油彩、キャンバス	270×320×320 (3点組)	
148	北堅 吉彦	山並-senkoushu(鮮光朱)	1999 (平成11)	油彩	170×1020	
149	ノグチ, イサム	黒いシリエット	1958 (昭和33)	アルミニウム	241×73×60	
150	グレコ, エミリオ	病人を看護する	1963 (昭和38)	ブロンズ	157×186.5×12	
151	秋山 陽	META-VOID	2004 (平成16)	陶	130×125×136	
152	クルーガー, バーバラ	無題(私を覚えていて)	1988 (昭和63)	シルクスクリーン、ビニール	378.7×268.1×5	
153	ステラ, フランク	ラッカ III	1968 (昭和43)	アクリル絵具、キャンバス	304×760	
154	鈴木 久雄	単錐台-II	1984 (昭和59)	鉄	113×119.5×120	
155	井上 雅之	T-9216	1992 (平成4)	陶	216×246×179	
156	金子 潤	DANGO	1985 (昭和60)	陶	57×72×53	
157	山口 牧生	かたむくかたち A	1984 (昭和59)	黒御影石、ベンガラ	180×76×51	
158	保田 春彦	球を覆う幕舎	1994 (平成6)	ステンレススチール	208×335×305	
159	保田 春彦	聚落を囲う壁 II	1994-95 (平成6-7)	鉄	60.0×127.5×451.2	
160	建島 覚造	MANJI	1982 (昭和57)	ステンレススチール	270×170×75	
161	スネルソン, ケネス	着地	1969 (昭和44)	ステンレススチール	250×1000×360	

2. コレクション展 2006-夏 小特集「野田裕示+鈴木理策」

会期：2006(平成18)年7月17日(月・祝)～10月1日(日)
 小特集「野田裕示+鈴木理策」：7月17日(月・祝)～8月27日(日)
 休館日：月曜日(祝日の場合は翌日)
 催：和歌山県立近代美術館
 場：展示室A+B(1階)
 内容：展示室Aでは当館のコレクションを「和歌山ゆかりの作家と近代日本の美術」、「20世紀の美術－写真作品を中心に」、「偶然と必然－線の表現を中心」のコーナーにより紹介し、展示室Bではともに和歌山県の出身で現在国際的に活躍する画家・野田裕示(1952年御坊市生まれ)と写真家・鈴木理策(1963年新富市生まれ)を紹介した。野田裕示は、彫刻家・岡本敦生とのコラボレーション作品を含む近作、鈴木理策は近作「海と山のあいだ」を展示した。

担当学芸員：奥村一郎(コレクション展 2006-夏)、井上芳子・奥村一郎(小特集「野田裕示+鈴木理策」)
 印刷物：「コレクション展 2006-夏」：出品目録(A4判4頁)
 小特集「野田裕示+鈴木理策」：ポスター(B3判)、出品目録(A4判両面)



ポスター

「コレクション展 2006-夏」出品リスト

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材料	寸法(cm)	備考
■和歌山ゆかりの作家と近代日本の美術						
1	川口 軌外	少女と貝殻	1934 (昭和9)	油彩、キャンバス	167.3×267.2	
2	建島 大夢	若き日の北村西望(胸像)	1911 (明治44)	ブロンズ	25×13×12	
3	神中 糸子	海岸風景	1888-92 (明治21-25)	油彩、キャンバス	38.0×80.4	
4	萬 鐵五郎	湘南風景	1922 (大正11)頃	油彩、キャンバス	33.3×46	個人蔵
5	保田 龍門	自画像	1915 (大正4)	油彩、キャンバス	60.9×50.2	
6	岸田 劉生	黒き帽子の自画像	1914 (大正3)	油彩、板	51.3×39.2	個人蔵
7	田中 恭吉	[バラの刺]	制作年不詳	油彩、キャンバス	45.5×33.4	
8	恩地 孝四郎	海の女	1912 (明治45/大正元)	油彩、キャンバス	45×33.3	
9	原 勝四郎	小窓	1940 (昭和15)	油彩、ボール紙	58.4×70.4	
10	佐伯 祐三	帽子をかぶる自画像	1922 (大正11)	油彩、キャンバス	73.3×53.9	
11	佐伯 祐三	ポスターとロウソク立て	1925 (大正14)	油彩、キャンバス	45.5×53.6	
12	佐伯 祐三	広告のある門	1925 (大正14)	油彩、キャンバス	60×73.3	
13	佐伯 祐三	下落合風景	1926 (大正15/昭和元)頃	油彩、キャンバス	50×60.5	
14	佐伯 祐三	オブセルヴァトワール附近	1927 (昭和2)	油彩、キャンバス	73×92	
15	佐伯 祐三	カフェ・レストラン	1927 (昭和2)	油彩、キャンバス	61×50.3	個人蔵
16	遠水 御舟	竹生園	1928 (昭和3)	顔料、絹	124.8×41.2	個人蔵
17	川端 龍子	狩人の幻想	1948 (昭和23)	顔料、紙	239.8×721.6	
18	村井 正誠	アラブの窓	1929 (昭和4)	油彩、キャンバス	80.9×196.5	
19	村井 正誠	形象 A	1939 (昭和14)	油彩、板	89.4×145.8	
20	村井 正誠	クリシフィ	1947 (昭和22)頃	油彩、キャンバス	100×80.5	
21	松本 索介	三人	1943 (昭和18)	油彩、キャンバス	162.2×112.5	個人蔵

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材料	寸法(cm)	備考
-----	-----	-----	-----	-------	--------	----



■20世紀の美術—写真作品を中心に

22	ホックニー, デヴィッド	パンドン・ホール	1983 (昭和58)	Cプリント、コラージュ	124.4×162.9	
23	ルフ, トマス	肖像 (J. バウムガルトナー)	1989 (平成元)	Cプリント	200.6×156.2	
24	ルフ, トマス	肖像 (P. フリース)	1988 (昭和63)	Cプリント	202.3×156.5	
25	ルフ, トマス	肖像 (G. ベルツ)	1988 (昭和63)	Cプリント	201.2×156	
26	森村 泰昌	肖像 (娘 II)	1988 (昭和63)	Cプリント	127.9×90.3	
27	森村 泰昌	美術史の娘、王女A	1990 (平成2)	Cプリントに加工	210.7×164.8	
28	シャーマン, シンディ	無題 #131	1983 (昭和58)	Cプリント	241.5×115	
29	シャーマン, シンディ	無題 #128	1983 (昭和58)	Cプリント	175×115	
30	シャーマン, シンディ	無題 #132	1984 (昭和59)	Cプリント	181×122.8	
31	曾我 孝司	重力質一柱	1984 (昭和59)	ブリキ、真鍮、塩化ビニールパイプ	230×45×1575	
32	野田 裕示	WORK-299	1987 (昭和62)	アクリル・木、キャンバス	229.5×187×9.4	
33	野田 裕示	WORK-505	1988 (昭和63)	アクリル、キャンバス	262.3×183.2×7	
34	シーガル, ジョージ	煉瓦の壁ぞいに歩く男	1988 (昭和63)	石膏・木・アクリル絵具、他	264.6×359.9×270.4	
35	杉本 博司	フォ・シティ・ミュージック・ホール、ニューヨーク	1978 (昭和53)	ゼラチンシルヴァープリント	42.3×54.5	
36	杉本 博司	カボット・ストリート・シネマ、マサチューセッツ州	1978 (昭和53)	ゼラチンシルヴァープリント	42.3×54.5	
37	杉本 博司	オハイオ・シアター、オハイオ	1980 (昭和55)	ゼラチンシルヴァープリント	42×54.4	
38	杉本 博司	太平洋 オレゴン I	1985 (昭和60)	ゼラチンシルヴァープリント	42.1×54.4	
39	杉本 博司	カリブ海 ジャマイカ	1980 (昭和55)	ゼラチンシルヴァープリント	40.1×54.6	
40	杉本 博司	日本海 北海道 I	1988 (昭和63)	ゼラチンシルヴァープリント	42.2×54.4	
41	野村 仁	午前のアナレンマ '90	1990 (平成2)	Cプリント	90.6×90	
42	野村 仁	正午のアナレンマ '90	1990 (平成2)	Cプリント	111.1×90	
43	野村 仁	午後のアナレンマ '90	1990 (平成2)	Cプリント	90.5×90	
44	ノグチ, イサム	空虚	1971-79 (昭和46-54)	ブロンズ	116×86×66	
45	ロスコ, マーク	赤の上の黄褐色と黒	1957 (昭和32)	油彩、キャンバス	176.2×136.6	

■偶然と必然一線の表現を中心に

46	難波田 史男	スモッグの彼方の蟹気楼	1966 (昭和41)	水彩・インク、紙	76.9×109.4	
47	難波田 史男	作品 1	1966 (昭和41)	インク、紙	74.2×109.2	
48	難波田 史男	作品 5	1966-69 (昭和41-44)	インク、紙	73.8×106.6	
49	難波田 史男	作品 9	1966-69 (昭和41-44)	インク、紙	66.4×90.8	
50	難波田 史男	作品 3	1966-69 (昭和41-44)	インク、紙	76.7×108.8	
51	難波田 史男	作品 4	1966-69 (昭和41-44)	インク、紙	68×81	
52	バスキア, ジャンミッシェル	無題	1983 (昭和58)	シルクスクリーン、キャンバス	146×192	
53	浅野 弥衛	無題	1981 (昭和56)	油彩、キャンバス	72.8×91	
54	浅野 弥衛	無題	1967 (昭和42)	油彩、キャンバス	72.5×90.8	
55	クレー, パウル	綱渡り	1923 (大正12)	リトグラフ、紙	43.8×26.9	
56	クレー, パウル	高い、高い！	1928 (昭和3)	エッティング、紙	23×22.8	
57	ケージ, ジョン	Dereau #13	1982 (昭和57)	銅版、紙	46.6×63.1	
58	ケージ, ジョン	Dereau #16	1982 (昭和57)	銅版、紙	46×63.2	
59	ケージ, ジョン	Dereau #9	1982 (昭和57)	銅版、紙	46.2×63.1	
60	白木 ゆり	Sound-10	1999 (平成11)	銅版、紙	174×117	
61	堀内 正和	四つの立方体（線）	1979 (昭和54)	鉄	85×208×98	
62	豊福 知徳	円柱 I	1965 (昭和40)	木	h.296	

■展示室外の作品 ホワイエ

63	フラナガン, バリー	ねじまがった釣鐘の上を跳ぶ野兎	1989 (平成元)	ブロンズ	230×187×128.5	
64	小河 朋司	COLOR TINT -RED AND BLUE-	1996 (平成8)	アクリル絵具・ミックスホワイト、木	240×25×20	
65	北堅 吉彦	熊野-moegi (萌黄)	1999 (平成11)	油彩、キャンバス	270×320×320	
66	北堅 吉彦	山並-senkoushu (鮮光朱)	1999 (平成11)	油彩、キャンバス	170×1020	

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材料	寸法(cm)	備考
-----	-----	-----	-----	-------	--------	----

67	ノグチ, イサム	黒いシリエット	1958 (昭和33)	アルミニウム	h.241	
68	グレコ, エミリオ	病人を看護する	1963 (昭和38)	ブロンズ	157×186.5×12	
69	秋山 陽	META-VOID	2004 (平成16)	陶	130×125×136	
70	クルーガー, パーバラ	無題 (私を覚えていて)	1988 (昭和63)	シルクスクリーン、ビニール	378.7×268.1×5	
71	ステラ, フランク	ラッカ III	1968 (昭和43)	アクリル、キャンバス	304×760	
72	建島 寛造	CLOUD 5 (大)	1980 (昭和55)	木	133.5×70.7×109.5	
73	鈴木 久雄	単錐台-II	1984 (昭和59)	鉄	113×119.5×120	

■展示室外の作品 ライトコート

74	井上 雅之	T-9216	1992 (平成4)	陶	h.216	
75	金子 潤	DANGO	1985 (昭和60)	陶	h.57	
76	山口 牧生	2001 かたむくかたち A	1984 (昭和59)	黒御影石、ベンガラ	h.180	
77	保田 春彦	球を覆う幕舎	1994 (平成6)	ステンレススチール	h.208	
78	保田 春彦	聚落を囲う壁 II	1994-95 (平成6-7)	鉄	60×127.5×451.2	
79	建島 寛造	MANJI	1982 (昭和57)	ステンレススチール	270×170×75	
80	スネルソン, ケネス	着地	1969 (昭和44)	ステンレススチール	250×1000×360	

小特集「野田裕示+鈴木理策」作品リスト

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材料	寸法(cm)	備考
1	野田 裕示	WORK 1070	1997 (平成9)	アクリル、キャンバス	227.3×162.1	個人蔵
2	野田 裕示	WORK 1073	1997 (平成9)	アクリル、キャンバス	227.3×162.1	個人蔵
3	野田 裕示	WORK 1068	1997 (平成9)	アクリル、キャンバス	227.3×162.1	個人蔵
4	野田 裕示	WORK 1069	1997 (平成9)	アクリル、キャンバス	193.9×97	個人蔵
5	野田 裕示	WORK 1401	2001 (平成13)	アクリル、キャンバス	181.8×259.1	個人蔵
6	野田 裕示	WORK 1072	1997 (平成9)	アクリル、キャンバス	181.8×259.1	個人蔵
7	野田 裕示	WORK 1140	1998 (平成10)	アクリル、キャンバス	227.3×545.4	個人蔵
8	野田 裕示	WORK 1424	2003 (平成15)	アクリル、キャンバス	227.3×363.6	個人蔵
9	野田 裕示	WORK 1402	2001 (平成13)	アクリル、キャンバス	74×31	個人蔵
10	野田 裕示・岡本 敦生	Collaboration O&N-III	1996 (平成8)			

3. コレクション展 2006-秋 小特集「没後20年高井貞二—ニューヨークのタカイー」

会 期: 2006(平成18)年10月8日(日)~12月10日(日)
 休 館 日: 月曜日(祝日の場合は翌日)
 催 和歌山県立近代美術館
 会 場: 展示室A+B(1階)
 内 容: 開催中の「森鷗外と美術」展にちなみ、「ことばの力」を手がかりに当館のコレクションを紹介した。「ことばは人間のもの」として肖像のコーナーをプロローグとし、物語をテーマとした表現や、ことばが文字に書かれるということに影響を受けた表現を取り上げた。あわせて和歌山に生まれた美術評論家、外山卯三郎(1903~1980)の紹介コーナーを設けた。展示室Bでは、和歌山ゆかりの画家・高井貞二(1911~1986)の渡米後の作品により、小特集「没後20年 高井貞二—ニューヨークのタカイー」として、1954(昭和29)年にアメリカに渡った高井が、マーク・ロスコ(1903~1970)をはじめとする抽象表現主義の作品に触れ、自らの感覚を信じて再生を果たしていく過程を追った。

担当学芸員: 植野比佐見

印 刷 物: 「コレクション展 2006-秋」: 出品目録(A4判両面)

「小特集・没後20年高井貞二—ニューヨークのタカイー」:

・パンフレット(A5判4頁)「日本の高井/ニューヨークのタカイ」「高井貞二年譜」植野比佐見

・出品目録(A5版両面)



「コレクション展 2006-秋」出品リスト

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	備考
■1.はじめに—あなたに名前がなかったら						
1	アーリントン, エドワード	あなたに名前がなかったら	1991(平成3)	ブロンズ・写真	35.3×61.7×48.6(ブロンズ)/ 81.1×65.6×4.6(写真)	
■ことばは人間のもの—肖像						
2	ノグチ, イサム	考える議長	1978(昭和53)	御影石・木	27.5×23.5×30(石)/ 104.5×46.8×26.4(台座)	
3	ムンク, エドヴァルト	骸骨の腕のある自画像	1895(明治28)	リトグラフ、紙	45.6×32	
4	石垣 栄太郎	女の顔	1916(大正5)	油彩、ボード	27.4×21	
5	石垣 栄太郎	自画像	1917(大正6)	油彩、キャンバス	46.0×37.3	
6	原 勝四郎	道化	1941(昭和16)	油彩、ボール紙	90.3×73.2	
7	佐伯 祐三	男の顔(K氏の像)	1927(昭和2)	油彩、板	33×23.8	
8	高須 光治	自画像	1915(大正4)	油彩、板	45.4×37.3	
9	寺中 美一	自画像	1916(大正5)	油彩、キャンバス	45.7×33.6	
10	保田 龍門	自画像	1915(大正4)	油彩、キャンバス	60.9×50.2	
11	岸田 劇生	黒き帽子の自画像	1914(大正3)	油彩、板	51.3×39.2	個人蔵
12	鹿子木 孟郎	パイプを持つ男	1906(明治39)	油彩、キャンバス	79.6×64	
13	松田 文雄	老鍛冶屋	1940(昭和15)	油彩、キャンバス	162×94.5	
14	田中 恭吉	自画像	制作年不詳	油彩、板	33×23.4×板/46.9×37.3×7.7	

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	備考
15	田中 恭吉	男の肖像(藤森静雄)	制作年不詳	油彩、板	33×23	
16	建島 夢夢	恩師の顔	1939(昭和14)	ブロンズ	h.35	
17	アルマンド	頭 18-7-90	1990(平成2)	油彩、キャンバス	250.7×198.5	
18	村井 正誠	強そうな人	1989(平成元)	油彩、キャンバス	227.4×182	
19	村井 正誠	黒い人II	1998(平成10)	油彩、キャンバス	227.8×182.2	
■ともに持つことば—物語						
20	保田 龍門	部分模写 ティツィアーノ《キュビドの教育》	1922(大正11)頃	油彩、キャンバス	99.3×99.3	
21	川口 軌外	模写 ティツィアーノ《ヴィーナス》	1920(大正9)頃	油彩、キャンバス	93.5×138.4	
22	川口 軌外	少女と貝殻	1934(昭和9)	油彩、キャンバス	167.3×267.2	
23	野長瀬 晚花	『一茶遺跡と四季句集』	1942(昭和17)	墨・顔料、紙	24×16.8×3	
24	下村 清時	太子像	1921(大正10)	顔料、木	101.5×59.2	
25	下村 観山	西行上人望富士山図	制作年不詳	墨・顔料、絹	126.5×49.	個人蔵
26	山口 八九子	橋立風景	1921(大正10)	顔料、絹	85.6×113.9	個人蔵
27	山名 貴義	[源氏物語図屏風]	1887(明治20)頃	顔料、絹(屏風)	128×47.5×12面	
28	稗田 一穂	歸り路	1981(昭和56)	顔料、紙	193.8×166.5	
29	ピカソ、パブロ	ミノトロマシー	1935(昭和10)	銅版、紙	49.5×69	
30~32	ルオー、ジョルジュ	『ミセレーレ』より	1926(大正15/昭和元)	銅版、紙	57.2×43.4	
31	52 法は苛酷、されど法	30 52 法は苛酷、されど法	1926(大正15/昭和元)	銅版、紙	57.2×43.3	
32	40 向かい合い	31 40 向かい合い	1926(大正15/昭和元)	銅版、紙	56.4×42.9	
33~47	ホックニー、デヴィッド	32 8 自分の顔を作らぬ者があろうか?『放蕩者の遍歴』	1923(大正12)	銅版、紙	30.3×40.5	
33	到着	33 33 到着	1961-63(昭和36-38)	銅版、紙	30.4×40.5	
34	遺産を相続する	34 34 遺産を相続する	1961-63(昭和36-38)	銅版、紙	30.4×40.5	
35	善良な人の出会い	35 35 善良な人の出会い	1961-63(昭和36-38)	銅版、紙	40.4×30.4	
36	ゴスペルを歌う(善なる人)、マディソン・スクエア・ガーデンにて	36 36 ゴスペルを歌う(善なる人)、マディソン・スクエア・ガーデンにて	1961-63(昭和36-38)	銅版、紙	30.5×40.4	
37	浪費のはじまり	37 37 浪費のはじまり	1961-63(昭和36-38)	銅版、紙	30.3×20.4	
38	45kgの弱虫	38 38 45kgの弱虫	1961-63(昭和36-38)	銅版、紙	29.9×40.2	
39	酒場	39 39 酒場	1961-63(昭和36-38)	銅版、紙	30.5×40.4	
40	オールドミスとの結婚	40 40 オールドミスとの結婚	1961-63(昭和36-38)	銅版、紙	30.5×40.3	
41	選挙運動	41 41 選挙運動	1961-63(昭和36-38)	銅版、紙	30.3×40.3	
42	牢獄を眺める	42 42 牢獄を眺める	1961-63(昭和36-38)	銅版、紙	30.2×40.5	
43	ハーレムでの死	43 43 ハーレムでの死	1961-63(昭和36-38)	銅版、紙	30.3×40.4	
44	財布が空になってゆく	44 44 財布が空になってゆく	1961-63(昭和36-38)	銅版、紙	30.3×40.4	
45	分裂	45 45 分裂	1961-63(昭和36-38)	銅版、紙	30.4×40.2	
46	排除	46 46 排除	1961-63(昭和36-38)	銅版、紙	30.5×74.6	
47	他者との出会い	47 47 他者との出会い	1961-63(昭和36-38)	銅版、紙	30.5×39.9	
48~50	ホックニー、デヴィッド	48~50 48~50 ホックニー、デヴィッド	精神病院	挿絵本『6つのグリム童話』より	45.6×62(見開き)	
51	高井 貞二	51 51 高井 貞二	1935(昭和10)	油彩、キャンバス	45.6×62(見開き)	
52	保田 春彦	52 52 保田 春彦	1957(昭和32)	木	h.99.5	
53~75	シャーン、ベン	53~75 53~75 シャーン、ベン	リルケ『マルチの手記』より:一行の詩のためには…	1968(昭和43)	リトグラフ、紙	[~11/12]
53	多くの都市を	53 53 多くの都市を	1968(昭和43)	リトグラフ、紙	43×38	[~11/12]
54	多くの人々を	54 54 多くの人々を	1968(昭和43)	リトグラフ、紙	43.8×38	[~11/12]
55	多くの事物を	55 55 多くの事物を	1968(昭和43)	リトグラフ、紙	42.7×35.5	[~11/12]
56	禽獸を知らねばならぬ	56 56 禽獸を知らねばならぬ	1968(昭和43)	リトグラフ、紙	46×39.5	[~11/12]
57	飛ぶ鳥のすがた	57 57 飛ぶ鳥のすがた	1968(昭和43)	リトグラフ、紙	49.8×43	[~11/12]
58	小さな草花のたたずまい	58 58 小さな草花のたたずまい	1968(昭和43)	リトグラフ、紙	44.5×36	[~11/12]

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	備考
-----	-----	-----	-----	-------	--------	----



59	まだ知らぬ国々の道を	1968 (昭和43)	リトグラフ、紙	47×41.7	【~11/12】	
60	思いがけぬ邂逅	1968 (昭和43)	リトグラフ、紙	25.2×38.7	【~11/12】	
61	遠くから近づいてくるのが見える別離	1968 (昭和43)	リトグラフ、紙	47×41.6	【~11/12】	
62	少年日の思い出を	1968 (昭和43)	リトグラフ、紙	57.2×44.8	【~11/12】	
63	心を悲しませてしまった両親を	1968 (昭和43)	リトグラフ、紙	38.3×32.2	【~11/12】	
64	少年時代の病気を	1968 (昭和43)	リトグラフ、紙	54×43.7	【~11/12】	
65	扉	1968 (昭和43)	リトグラフ、紙	23.2×22.5	【11/14~】	
66	静かなしんとした部屋で	1968 (昭和43)	リトグラフ、紙	57.2×44.8	【11/14~】	
67	海辺の朝	1968 (昭和43)	リトグラフ、紙	49.5×43	【11/14~】	
68	海そのものの姿	1968 (昭和43)	リトグラフ、紙	32.5×39.5	【11/14~】	
69	星くずとともに消えさった旅宿の夜々	1968 (昭和43)	リトグラフ、紙	44.5×39.5	【11/14~】	
70	愛に満ちた多くの夜の回想	1968 (昭和43)	リトグラフ、紙	44.2×37.5	【11/14~】	
71	産婦の叫び	1968 (昭和43)	リトグラフ、紙	56.5×45.1	【11/14~】	
72	白衣の中に眠りおちて快復をまつ産後の女	1968 (昭和43)	リトグラフ、紙	22.6×39	【11/14~】	
73	死んでゆく人の枕元	1968 (昭和43)	リトグラフ、紙	57.4×45.2	【11/14~】	
74	死者のかたわらで	1968 (昭和43)	リトグラフ、紙	57.2×45	【11/14~】	
75	一篇の詩の最初の言葉	1968 (昭和43)	リトグラフ、紙	41.8×33.7	【11/14~】	
76	ノグチ、イサム	空虚	1971-79 (昭和46-54)	ブロンズ	h.116	
77	工藤 哲巳	未来と過去の間での遺伝染色体による綾取り	1979 (昭和54)	ミクストメディア	26.7×33.4×19.4	
■ことばが書かれるときー文字						
78	菊池 伶司	Writing-Lecture	1968 (昭和43)	銅版、紙	41.2×42.8	
79	菊池 伶司	Observer-1	1968 (昭和43)	銅版、紙	44.7×36	
80	フルトン、ハミッシュ	ヒーピースタウン・ケルン	1986 (昭和61)	写真、テキスト	119.5×137.3×2	
81	フルトン、ハミッシュ	ラガジャー	1987 (昭和62)	写真、テキスト	147×119.2×2.2	
82	フルトン、ハミッシュ	ブレコン・ビーコンズ	1987 (昭和62)	写真、テキスト	119.6×137.6×2	
83	加納 光於・大岡 信	アララットの船あるいは空の蜜	1971-72 (昭和46-47)	木・金属・ガラス、他	68×44.7×23.6	
84	クリスト	梶包されたポン・ヌフ/パリのプロジェクト	1985 (昭和60)	繩・板・バスケット他、紙	150.0×245.3	
85	クリスト	梶包されたライヒスターク/ベルリンのプロジェクト	1986 (昭和61)	鉛筆・木炭他、紙	147.9×166.7	
86	リンク、サイモン	アート・コロニー 1986年11月	1987 (昭和62)	油彩、キャンバス	182.8×182.8	
87	野村 耕	コレクション B	1986 (昭和61)	顔料・紙型、板	162×129.8	
88	野村 耕	コレクション A	1986 (昭和61)	顔料・紙型、板	161.7×130	
89~98	ラウシェンバーグ、ロバート	Features from Currents 1~10	1970 (昭和45)	シルクスクリーン、紙	89×89	
99	西村 陽平	百科事典につぶされた松本清張	1990 (平成2)	紙	30.2×20×14	
100	三島 喜美代	バックページ	1974 (昭和49)	陶	14×35×27	
101	三島 喜美代	バックページ	1975 (昭和50)	陶	49×22×17	
102	ルウェット、ソル	『6つの幾何学的图形とそれらのすべての組み合せ』	1980 (昭和55)	銅版、紙(冊子)	23.7×24.1×4.4 (2冊)	
103	ホルツァー、ジェニー	インダグアル・スピルト・ポートフォリオ [「サバイバルシリーズ (1983-85)」より]	1990 (平成2)	クロス貼・箔押(たとう)	65.2×54.6×5	
104	福岡 道雄	反という字	1990 (平成2)	ブロンズ	13×64.5×49.4	
105	リキテンシュタイン、ロイ	メロディ	1965 (昭和40)	シルクスクリーン、紙	69.2×58	
106	リキテンシュタイン、ロイ	HUH?	1976 (昭和51)	シルクスクリーン、紙	100.5×70.9	
107	リキテンシュタイン、ロイ	おやすみベイビイ	1965 (昭和40)	シルクスクリーン、紙	90.4×64.5	
108	バターソン、サイモン	大熊座	1992 (平成4)	リトグラフ、紙	109.3×134.7×5.2	
■ことばと美術のあいだにー外山卯三郎と美術家たち						
109	木下 孝則	七面鳥	1927 (昭和2)	油彩、キャンバス	130.5×80.4	
110	木下 孝則	赤衣の女	1934 (昭和9)	油彩、キャンバス	72.9×53.2	
111	木下 孝則	女優の像	1926 (大正15/昭和元)	油彩、キャンバス	91.2×72.9	
112	木下 義謙	横たはれる裸体の習作	1926 (大正15/昭和元)	油彩、キャンバス	73×117	
113	木下 義謙	父の肖像	1926 (大正15/昭和元)	油彩、キャンバス	65.2×50.2	
114	川口 軌外	ボヘミアン	1928 (昭和3)	油彩、キャンバス	117.0×80.7	

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	備考
-----	-----	-----	-----	-------	--------	----



115	川口 軌外	キャフェにて	1927 (昭和2)	油彩、キャンバス	79×64	
116	川口 軌外	シルク	1927-29 (昭和2-4)	油彩、キャンバス	116.5×80.4	
117	川口 軌外	臥す女	1927-29 (昭和2-4)	油彩、キャンバス	81.2×115.7	
118	佐伯 祐三	オワーズ河周辺風景	1924 (大正13)	油彩、キャンバス	46×53.7	
119	佐伯 祐三	カフェ・レストラン	1927 (昭和2)	油彩、キャンバス	61×50.3	
120	佐伯 祐三	オブセルヴァトワール附近	1927 (昭和2)	油彩、キャンバス	73×92	
121	佐伯 祐三	リュ・デュ・シャトーの歩道	1925 (大正14)	油彩、キャンバス	60×73.1	
122	佐伯 祐三	モラン風景	1928 (昭和3)	油彩、ボード	38×44.5	
123	日高 昌克	秋山空明図	1957 (昭和32)	墨・顔料、紙	42×45.8	
124	日高 昌克	初冬山渓図	1951 (昭和26)	墨、紙	38.6×51	
■展示室外の作品 ホワイエ						
124	フランガン、バリー	ねじまがった釣鐘の上を跳ぶ野兎	1989 (平成元)	ブロンズ	h.230	
125	北畠 吉彦	熊野-moegi (萌黄)	1999 (平成11)	油彩、キャンバス	270×320×320 (3点)	
126	北畠 吉彦	山並-senkoushu (鮮光朱)	1999 (平成11)	油彩	170×1020	
127	岡本 敦生・野田 裕示	Collaboration 2004 O&N-5	2004 (平成16)	白御影石・アクリル絵具	h.129.5	個人蔵
128	岡本 敦生・野田 裕示	Collaboration 2004 O&N-6	2004 (平成16)	白御影石・アクリル絵具	h.129.5	個人蔵
129	グレコ、エミリオ	病人を看護する	1963 (昭和38)	ブロンズ	157.0×186.5×12	
130	鈴木 昭男	パンプー・ハーブ	2005 (平成17)	コンクリート・竹	h.113	
131	クルーガー、バーバラ	無題 (私を覚えていて)	1988 (昭和63)	シリクスクリーン、ビニール	378.7×268.1×5	
132	ステラ、フランク	ラッカ III	1968 (昭和43)	アクリル、キャンバス	304×760	
133	秋山 陽	META-VOID	2004 (平成16)	陶	h.130	
134	ノグチ、イサム	黒いシルエット	1958 (昭和33)	アルミニウム	h.241	
135	建島 覚造	CLOUD 5 (大)	1980 (昭和55)	木	h.133.5	
■展示室外の作品 ライトコート						
136	鈴木 久雄	単錐台-II	1984 (昭和59)	鉄	h.113	
137	井上 雅之	T-9216	1992 (平成4)	陶	h.216	
138	金子 潤	DANGO	1985 (昭和60)	陶	h.57	
139	山口 牧生	かたむくかたち A	1984 (昭和59)	黒御影石、ベンガラ	h.180	
■展示室外の作品 屋外						
140	建島 覚造	MANJI	1982 (昭和57)	ステンレススチール	h.270	
141	保田 春彦	聚落を囲う壁 II	1994-95 (平成6-7)	鉄	60×127.5×451.2	
142	保田 春彦	球を覆う幕舎	1994 (平成6)	ステンレススチール	h.208	
143	スネルソン、ケネス	着地	1969 (昭和44)	ステンレススチール	250×1000×360	
『没後20年 高井貞二展—ニューヨークのタカイー』出品リスト						
No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)		

1	支那の市場	1939 (昭和14)	油彩、キャンバス	129.5×160	
</tbl_header

和歌山県特別事業

2006(平成18)年度和歌山県特別事業

1. 和歌山の美術を担う作家たち展

8月16日(水)～8月27日(日)

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
■ニューヨークのタカイ				
3	Landscape of My Country	1956(昭和31)	油彩、キャンバス	101.6×137
4	作品-A	1956(昭和31)頃	油彩、キャンバス	126.5×91
5	作品-B	1956(昭和31)頃	油彩、キャンバス	90×126.4
□特別出品 ロスコ、マーク				
6	赤の上の黄褐色と黒	1957(昭和32)	油彩、キャンバス	176.2×136.6
7	Composition Red	1957(昭和32)	油彩、キャンバス	117.1×90.1
8	Composition Red	1958(昭和33)	油彩、キャンバス	113.2×127
9	Composition Yellow	1958(昭和33)	油彩、キャンバス	116×78
10	影	1958(昭和33)	油彩、キャンバス	114.2×127
11	食う	1958(昭和33)	油彩、キャンバス	172.5×132.6
12	Back To My Home (ie ni kaeru)	1959(昭和34)	油彩、キャンバス	132×190.4
13	Son of Bullfighter	1960(昭和35)	油彩、キャンバス	188.4×127.2
14	Cataclysm	1960(昭和35)	油彩、キャンバス	153.2×133
15	コンポジション C	1961(昭和36)頃	油彩、キャンバス	160.7×132
16	MIDORI	1962(昭和37)	油彩、キャンバス	175×166.3
17	62-2 (ムラサキに生きる)	1962(昭和37)	油彩、キャンバス	175.8×127.3
19	心象の空間	1961(昭和36)頃	油彩、キャンバス	162×130.5
20	Four Fishes	1963(昭和38)	油彩、キャンバス	131.8×187.2
21	太陽	1965(昭和40)	油彩、キャンバス	184.3×133.2
22	赤	1963(昭和38)	油彩、キャンバス	168×131
23	Four Color	1965(昭和40)	油彩、キャンバス	128×151.9
24	黄と縞	1963(昭和38)	油彩、キャンバス	176.6×307
25	赤い魚	1965(昭和40)	油彩、キャンバス	127.4×127.4
	ゼブラ	1966(昭和41)	油彩、キャンバス	127.8×127.4
26	貝	1965(昭和40)	油彩、キャンバス	101×106.5
27	鳥と魚	1967(昭和42)頃	油彩、キャンバス	76×63
28	ユニセックス	1968(昭和43)	油彩、キャンバス	132.5×172.4
29～36 高井貞二石版画集「ニューヨーク」				
29	マンハッタン	1973(昭和48)	リトグラフ、紙	25.3×35.1
30	セントラルパーク	1973(昭和48)	リトグラフ、紙	28.5×38.8
31	ブロードウェイ	1973(昭和48)	リトグラフ、紙	25.2×37.1
32	ミドルタウン	1973(昭和48)	リトグラフ、紙	36.1×25
33	ベバージ	1973(昭和48)	リトグラフ、紙	38.3×25
34	ベット	1973(昭和48)	リトグラフ、紙	38.2×25
35	グリニッヂビレッジ	1973(昭和48)	リトグラフ、紙	37.5×25
36	ストリートシーン	1973(昭和48)	リトグラフ、紙	28×20.5
37	作品-1	1966(昭和41)	油彩、キャンバス	174.1×133.6
38	帰る	1972(昭和47)頃	油彩、キャンバス	136.2×180
39	作品-A	1972(昭和47)頃	油彩、キャンバス	151×127
40	Colored Bird (彩られた鳥たち)	1972(昭和47)	油彩、キャンバス	126.7×308.4
41	糸図	1972(昭和47)	油彩、キャンバス	127.3×183

■参考資料 高井貞二のブックワーク

「中支風土記」1939(昭和14)年7月20日 大東出版社
 「北を護る兵士たち」 1943(昭和18)年12月15日 愛之事業社
 「あの日あの頃」 1979(昭和54)年12月20日 青蛙房
 「絵で語るヨーロッパ旅行」 1975(昭和50)年12月5日 毎日新聞社
 「ちびと赤いてぶくろ」 1977(昭和52)年4月 大日本絵画巧芸美術



1. 和歌山県美術展覧会 第60回記念 和歌山の美術を担う作家たち展

会 期：2006(平成18)年8月16日(水)～8月27日(日)
 会 場：和歌山県立近代美術館2階展示室C、和歌山県民文化センター県民ギャラリー
 主 催：和歌山県、和歌山県立近代美術館
 協 力：和歌山県美術家協会、和歌山県美術展覧会実行委員会
 助 成：財団法人 地域創造
 観 覧 料：2会場共通 一般310(250)円、大学生210(160)円

()内は20名以上の団体料金。高校生以下、65歳以上、障害者の方、県内に在学中の外国人留学生(外国人就学生を含む)は無料
 趣 旨：和歌山県美術展覧会(県展)の創設60年を記念し、現在の県展における招待作家(昨年までの「審査員」「招待」「無鑑査」)を紹介、
 県内美術の現状を展望し、和歌山県立近代美術館では関連企画として、1947(昭和22)年に県展が創設されたときの初代審査員を
 紹介するコーナーを併設した。また、ワークショップでは和歌山県の出身でかつて県展に出品したことがあり、現在国際的に活
 躍する芸術家、野田裕示(画家・多摩美術大学教授)、鈴木理策(写真家・東京芸術大学助教授)を招いて高校生と一緒に制作し、
 話し合う機会を設けた。

担当学芸員：浜田拓志、井上芳子

関連事業：ワークショップ「アーティストに学ぶ」

8月19日(土)「時間装置 その楽しみ方」講師：鈴木理策

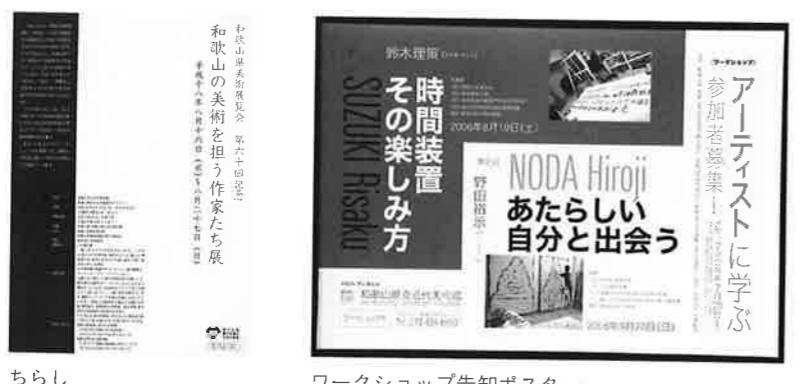
8月20日(日)「あたらしい自分と出会う」講師：野田裕示

関連企画：「和歌山県展を築いた作家たち」和歌山県立近代美術館展示室C

印刷物：・ワークショップ告知ポスター(B3判)

・ちらし(A4判)

・出品目録(A4判4頁)



ちらし

ワークショップ告知ポスター

No.	作者名	作品名	展示会場
-----	-----	-----	------

展示会場 1：和歌山県立近代美術館2階展示室C
 2：和歌山県民文化センター県民ギャラリー

■洋画部門

- 1 赤桐 晴夫 五月晴れ 1
- 2 有本 弘 作品 1
- 3 有本 ふみ子 四つの物語 2
- 4 池田 章子 忘れられない贈り物を貰った日 1
- 5 石井 明夫 春光の橋杭岩 1
- 6 板原 敏子 古刹 2
- 7 市原 はるか 人形 1
- 8 稲垣 隆子 孤愁 2
- 9 井上 進示 干潮 2
- 10 巍崎 郁子 コンポジション 1
- 11 岩崎 哲夫 作品 1

No.	作者名	作品名	展示会場
-----	-----	-----	------

- 12 岩峪 賢次 石段(大斎原附近) 2
- 13 岩本 芳 起きて半畳寝て一畳 1
- 14 宇治田 定一 串本風景 2
- 15 梅本 幹夫 昆虫図 1
- 16 江上 清 夕映え 2
- 17 櫻本 敬子 浜辺の一隅 1
- 18 太田 千秋 白い花から 1
- 19 太田 俊伸 ZEKUE '06 2
- 20 大林 彰子 絆 1
- 21 岡崎 ゆみこ 提示-'06 2
- 22 岡本 美喜子 OTO-06-5 1
- 23 岡本 都 時の記憶 2
- 24 小川 昭造 R42号 2
- 25 小川 英夫 石造りの村 1
- 26 萩野 照邦 漁港 2

No.	作者名	作品名	展示会場
-----	-----	-----	------

- 27 奥岩 昇子 巴里 2
- 28 尾崎 功 交響詩〈風の旅〉 2
- 29 面矢 元子 人と人 2
- 30 片桐 里美 家並 2
- 31 片桐 順子 収穫 2
- 32 寒志 紗美 ある風景 2
- 33 北浦 弘之 白と黒 2
- 34 北 克巳 きみー飛行機 1
- 35 北本 複子 凜 1
- 36 木下 光子 楽 2
- 37 きわた すみこ 真夏の夜の夢 1
- 38 倉田 純三 海の見える町 1
- 39 栗栖 昭夫 流象譜「CAN」 2
- 40 栗山 美和子 サボテン 1
- 41 小崎 清子 窯出し 2
- 42 児鳴 義一 赤い屋根の街 1
- 43 古曾 成樹 冬の白馬村 1
- 44 後藤 勝 一隅 1
- 45 坂口 卓平 House 貝の詩 2
- 46 阪本 聰 Composition'06-D 2
- 47 阪本 由捷 参道 1
- 48 佐原 光 那智の瀧展望 1
- 49 山地 才太郎 絵馬と鳳(弁慶) 2
- 50 志賀 清代子 敬 2
- 51 七条 吉明 想い(魚) 2
- 52 島 和子 砂漠のバラ 2
- 53 清水 雅昭 遠い記憶06 2
- 54 鈴木 源二 面(TURA) 2
- 55 角 恵子 エレジー 2
- 56 藤本 征広 Adagio「不思議な調和?」 2
- 57 竹林 真弓 子供 2
- 58 橋 謙一 興福寺五重塔 1
- 59 田中 龍子 休漁日 1
- 60 谷上 安良 老樹と梟たち 1
- 61 谷澤 佐規子 遊 2
- 62 田原 映子 不動明王の眷属たち 2
- 63 田村 俊子 夜の花畠 2
- 64 辻 勝己 樹の中で 1
- 65 出口 久仁子 HANA-黄 1
- 66 出口 十糸 カタチタチ 2
- 67 出口 由孝 ある風景(夏) 2
- 68 寺井 春次 渔村 2
- 69 土井 久幸 刻の軌跡 2
- 70 中尾 久代 渔村一隅 2
- 71 中北 智恵 樹 2
- 72 中谷 友彦 葡萄 2
- 73 中西 周代 EVOLUTION-'06 1
- 74 中西 美佐子 やすらぎ 2
- 75 中西 康進 鑄の光景/06-2 2
- 76 中野 和夫 規紗子 2
- 77 中前 光雄 共生21" 2
- 78 中村 恵伍 午後 1
- 79 中本 敏 桜が咲いた 1
- 80 中森 順一 浮遊 1
- 81 成川 和男 海芋咲く 2
- 82 丹羽 三四子 乗鞍高原(5月初旬) 1
- 83 野崎 廣 風化の刻 1
- 84 野中 勝 ジューンブライド(6月の花嫁) 2
- 85 長谷川 江美子 夢 1
- 86 馬場 須美子 たわむれ 2
- 87 馬場 康次 終りなき日々 1
- 88 濱田 邦男 青い鳥 1
- 89 濱田 千代子 風 1
- 90 林 良三 始祖鳥の精(白亜紀) 2
- 91 平田 勝男 バイヨンの四面仏 2

No.	作者名	作品名	展示会場
-----	-----	-----	------

- 92 福島 志津子 カシニョールの絵とバラ 1
- 93 古川 京子 新緑 1
- 94 前地 洋美 マドモアゼル 2
- 95 前田 美代子 ゆり 1
- 96 増田 清子 花 2
- 97 増田 紗紀 早春の小川 2
- 98 益山 恵 明日へ... 2
- 99 松岡 里美 太古の記憶 1
- 100 松坂 達子 渓谷と藤 2
- 101 松田 利昭 重なる風景 1
- 102 松谷 弘子 記録 2
- 103 松野 とき子 アロエのある静物 2
- 104 松本 京子 石垣 2
- 105 松山 敏彦 T氏の思考 2
- 106 三鶴 俊昭 REQ-2006 SUMMER 1
- 107 峯岸 アキ子 休息 2
- 108 宮本 健敏 Doctor(K)の生物学的見解。 2
- 109 森岡 やす子 静物 1
- 110 山崎 都基子 いつか...ガブリエル 2
- 111 山田 光子 冬の旅 1
- 112 山本 忠彦 海辺 2
- 113 山本 実 玩具のある風景 1
- 114 山本 龍昇 逆光の街 1
- 115 吉増 達夫 湧泉 1
- 116 吉本 進一 解説 1

■日本画部門

- 117 萩本 寿実子 嶺 1
- 118 石橋 玄門 新雪慈尊院 1
- 119 岩城 久子 煙樹ヶ浜 2
- 120 大岩 義孝 船帰る 2
- 121 奥野 昭喜 タホ川のほとり 2
- 122 金森 智代 路地 2
- 123 神森 智代 佳日 2
- 124 北野 忠孝 月あかり 2
- 125 久保 恵美子 緑映 1
- 126 古村 紘一 芥子 1
- 127 坂梨 とき子 橋杭岩の朝 2
- 128 島山 誓子 菖蒲 2
- 129 清水 達三 バルビゾンへの道 1
- 130 新谷 廉子 太古想 2
- 131 高橋 佳子 トルコの女 2
- 132 高幣 佳代 こもれびの道 2
- 133 武輪 光男 牡丹 2
- 134 田中 重造 時 1
- 135 寺中 澄子 シチリア遠望 1
- 136 中井 悠紀子 岬 1
- 137 仲河 純 琴の滝(すさみ町) 2
- 138 西岡 一郎 刻・ポンペイ 2
- 139 藤井 秀子 季 2
- 140 本多 裕美子 帰るかな 2
- 141 増田 淑子 秋桜 2
- 142 松廣 あさ 実相院の秋 2
- 143 南口 みどり 雪椿 2
- 144 宮崎 静治 波のしづか 1
- 145 宮崎 朋子 裸婦 2
- 146 森 泰三 梅雨の実り 1
- 147 山内 清治 掃除婦 1
- 148 山崎 佳子 桑ノ木澗 2
- 149 山崎 容子 閑 2
- 150 吉田 晃一郎 清流 1
- 151 吉田 悅子 メモリイ 1

■工芸部門

- 152 井澤 幸子 満ちる 2

No.	作者名	作品名	展示会場
-----	-----	-----	------

153 井澤 正憲 たとえ世界が
154 岡本 里美 風と水の遊間
155 亀田 幸太郎 灰釉組鉢
156 佐藤 千恵子 簪生
157 寒川 栖豊 那智黒鱗波花器
158 寒川 八郎 雀と籠花入
159 澤崎 喜一 縁釉果菜
160 塩崎 桂 白泥透弧文三角瓶
161 生賀 忠好 雅
162 菘司 和代 小塔
163 高野 澄子 那智
164 武本 サダ子 群青の郷
165 田中 紀子 雲の華
166 田中 利恵子 流
167 堀 信枝 自適(さめはだ釉)
168 堀 宣人 D.N.A.
169 出口 清廣 息吹
170 中井 一三 華文象嵌扁壺
171 西村 修次 籠目花入
172 橋爪 靖雄 ほおづき
173 渡田 實紀子 石庭
174 広瀬 桂 窯変壺
175 福田 賢 籠目花入
176 藤田 瑞子 里山
177 古谷 正義 元始
178 丸山 陽子 60
179 光成 トミ子 尽未来
180 目黒 威徳 焼〆花入
181 森口 剛次 波紋
182 山本 句子 宴
183 湯川 恵子 「悠」
184 和田 治一 オーロラ
185 和田 美代子 季節華やぐ

■書部門

186 赤坂 松琴 海月澄無影
187 浅井 香園 くれなるの
188 池上 茂代 あさひいま
189 井澤 秀琴 微風閑坐古松
190 石上 敏草 今日もかも
191 磯西 順華 良寛詩
192 伊藤 玉翠 養心の語
193 井上 紀水 李白の詩
194 岩橋 瑞花 天真爛漫
195 上田 大愚 このみちや
196 上野 花園 寂然静樂
197 上村 裕信 人生貴適意
198 上山 芳苑 和歌一首
199 江川 真州 萬葉歌
200 遠藤 美園 則穀木訥近仁
201 大槻 泰山 翰墨游戯
202 大西 橋苑 万葉の歌
203 大西 光舟 夏と秋と
204 岡端 紀苑 有贈
205 岡本 朱鴻 朝あけし
206 小川 起石 星が近づく夜
207 小澤 清湖 秋風動
208 笠野 崇法 正岡子規の句
209 片山 昭苑 椰子の実
210 片山 和舟 大海の
211 勝本 翠芳 大伴坂上郎女の歌
212 加藤 典子 こころあてに
213 加納 敏舟 あつきらしほ
214 川瀬 朱煌 春夏秋冬
215 川瀬 玲舟 秋色

No.	作者名	作品名	展示会場
216	岸畑 由喜子	聞くたびに…	2
217	北野 瑞苑	涙陰堂(蘇軾)	2
218	北原 美麗	寒蟬碧樹秋	2
219	木村 舟江	秋の田の	1
220	木村 肇山	鶯聲延寿	2
221	楠本 紫苑	和歌山の万葉	2
222	楠山 弘子	うつくしく	1
223	久保田 碓花	花ぐもり	2
224	小阪 永好	花のように鳥のように	1
225	小島 健堂	村上仏山の詩	2
226	小高 秋蘭	漁夫生涯竹一竿	2
227	小谷 多加子	万葉歌	2
228	小林 明香	露	2
229	近藤 鮎苑	前狼後虎	2
230	栄 静波	栄舟の歌	2
231	櫻井 青巖	五言絶句(陳子昂詩)	1
232	佐藤 祥琴	水すまし	1
233	佐原 ちづよ	五言句	1
234	静 一華	眺望	1
235	鳴田 裕草	白雲悠悠	2
236	清水 愛苑	老鶴萬里心	2
237	清水 朱杏	やまとまを	2
238	杉村 玉鳳	笛子より	2
239	須佐 翠山	中秋秋夜	1
240	瀬藤 翠琴	午風微動路塵輕	1
241	高垣 紫恵	高青邱詩	2
242	高木 久琴	鶴叫一聲天欲秋	2
243	武田 敦子	万葉集天地の	2
244	谷口 東峰	東方朔の句	1
245	谷口 和光	李白詩	1
246	田端 弓子	よろこび	2
247	田村 剛	八風吹不動	2
248	辻 昂鳳	張説の句	2
249	辻 嶽紅	人間萬事塞翁馬	2
250	辻本 美苑	松老雲闊曠然自適	2
251	出口 抱琴	万葉歌	2
252	徳田 明舟	古今集の歌	1
253	戸村 舟里	月	1
254	中井 光峰	七言句	1
255	中井 澄苑	李東陽詩	2
256	中井 柳居	遠島甚句	2
257	長田 朱陽	和歌の浦に	1
258	中原 朱穂	牧水の歌	2
259	中村 東世	雜詠	2
260	中家 洋苑	韓・詩	1
261	名手 朱舟	山はふじ	1
262	西 紅邑	芭蕉の句	1
263	西村 森風	笑顔	2
264	濱口 美恵	わが袖は	2
265	羽山 美樹	比庵翁のうた	2
266	原池 東佳	みよしのの	2
267	原野 鶴雲	高青邱詩梅花九首ノ一	2
268	福田 順香	高潔雲入情	1
269	藤本 千峰	松老五雲披	1
270	藤巣 江州	わがこころ	2
271	細畠 静峰	太虛清白	1
272	前田 卓海	遊雲驚龍	2
273	松倉 映舟	百人一首(春夏秋冬)	2
274	松下 翠苑	煙柳風拂岸斜	1
275	松田 喜苑	惠洪の詩	1
276	松原 恵苑	春になれば…	2
277	松村 博峰	「煙霞山水」七言對句	2
278	三木 芳舟	下くぐる	1
279	三嶋 昭苑	利休七則	1
280	水崎 花扇	覺清風来払人	1

No.	作者名	作品名	展示会場
281	南坂 東英	年豊人楽	2
282	南 雅仙	あきかぜに	2
283	蓑輪 東壽	九重に	2
284	宮崎 白庸	氷壺無影像	1
285	村上 蘭風	王文治の詩 再過石雲菴	2
286	森本 興洋	明、李日華	1
287	森本 松翠	かたはらに	2
288	安原 石楠	老鷺作繭	2
289	柳川 朱萌	松のみどり	1
290	柳 萬苑	みよしのの	2
291	矢萩 冬青	盤磯	2
292	山口 熊野	自作の句	2
293	山本 清雲	美意延年	2
294	吉村 桂雲	風	2
295	吉本 葦琴	舞姫は	2
296	和田 栄波	朱魄の詩	2
297	渡辺 紀舟	韋應物詩	2

■写真部門

298 伊藤 彰英 親仔
299 大北 光男 赤い妖精
300 陰地 陽人 ファンタジー
301 大道 正和 春霧
302 亀 忠男 家路
303 川口 理一郎 出番前
304 神田 真奈美 デモンストレーション
305 坂田 稔 岐冬に映ゆ
306 島村 安彦 警戒
307 杉本 静雄 光明
308 角田 公利 砂漠に生きる
309 照井 四郎 晴れの予感
310 中井 忠二 晩秋
311 中西 昌博 シティスボット
312 西村 隆男 冬日
313 橋本 日出男 暮れるころ
314 花畑 重靖 カミクラゲ
315 本郷 さちよ 宇宙翔遊
316 本郷 労信 雨上がりのテラス
317 松岡 博之 愛
318 松原 勝次 春景
319 松本 隆央 山里
320 溝上 正哉 元陽棚田
321 山中 健次 漁村の少年

No.	作者名	作品名	展示会場
322	栗得 永男	OAPの印象	2
	■彫塑部門		
323	板原 文絵	懐	2
324	上田 愛子	森の記憶	1
325	大木 讓司	仔	2
326	大森 浩二	青葉	1
327	岡本 勝利	空へ	2
328	島川 正繼	恋人たち	1
329	高田 康夫	La Pensee	1
330	竹末 榮三	浮遊	2
331	竹中 康	見つめる	2
332	田中 智	大地	2
333	津本 博史	蛹	2
334	中井 由純	自虐者'06, RESISTANCE	1
335	西岡 いさ美	きずな	1
336	橋本 和明	カノン	1
337	松谷 靖夫	沈む鳥 II	1
338	溝口 清久	ひとひねり	2
339	山根 淳史	何処から	2
340	山本 美智子	立つ II	2
	■華道部門		
341	淡路 泰輔	秦輔	2
342	池永 喜世	喜世	2
343	岩井 利子	利子	2
344	上田 恵三甫	恵三甫	2
345	岡野 容子	容子	2
346	近藤 蔦子	蔦子	2
347	酒井 由紀	由紀	2
348	塙崎 貞甫	貞甫	2
349	島本 素里	素里	2
350	田中 正美	正美	2
351	田村 由佳子	由佳子	2
352	西村 崩雲	崩雲	2
353	橋本 順雲	順雲	2
354	平田 喜甫	喜甫	2
355	福永 八千代	八千代	2
356	樹田 錦甫	錦甫	2
357	宮脇 尚子	尚子	2
358	八木 瑛友	瑛友	2
359	山本 充代	充代	2

(1~359まで個人蔵)

関連企画「和歌山県展を築いた作家たち」出品作品リスト

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵先
1	楠本 基士	晩秋	1945(昭和20)	油彩、キャンバス	73×91.6	当館
2	木下 克己	燈下	1941(昭和16)	油彩、キャンバス	60.5×71.5	受託作品
3	齊田 武夫	南の女 I(パリーの女)	1941(昭和16)	油彩、キャンバス	162.5×98	個人
4	中村 善種	余呉の廃船	1988(昭和63)	油彩、キャンバス	194×259	当館
5	川口 軌外	夏の海	1940(昭和15)	油彩、キャンバス	165.7×267	当館
6	園部 邦香	二人	1928-30(昭和3-5)	油彩、キャンバス	117×91.3	個人
7	原 勝四郎	道化	1941(昭和16)	油彩、ポール紙	90.3×73.2	当館
8	山本 秀臣	樹間(日の岬)	1947(昭和22)	油彩、キャンバス	112.1×145.5	当館</td

普及事業

■広報活動

1. 美術館の概要や展覧会の内容、スケジュールなどの理解、活用のためにカレンダー、機関誌等を発行し、関係諸機関及び来館者等に提供した。
2. 県発行の公報『県民の友』に、毎月事業案内を掲載した。
3. 展覧会ごとに、ポスター、ちらし、案内はがき等を作成し、全国関係諸機関、県下各市町村及び小中高校、大学、教育機関など約2,400カ所に配布した。
4. 県内外の新聞社、放送局、出版社等約265カ所に事業案内を送付し、報道、掲載を依頼。また取材等の要請に応じて情報を提供した。
5. 展覧会ごとに県記者クラブにて記者発表(資料提供)を行い、県内の新聞社、放送局に事業案内の報道、掲載を依頼した。
6. 地元テレビ局制作放送の教育放送に企画を提供し、番組を作成した。
 - ・『はばたく紀の国』「アーティストに学ぶ 野田裕示+鈴木理策」10月1日放送
 - ・教育ラジオ放送『定期便 教育の窓』「夏休みは美術館へ！ 野田裕示+鈴木理策 近作展ほか』8月12日放送
 - ・教育ラジオ放送『定期便 教育の窓』「驚きの作品群—時代の先端を走った美術が集合—』2007(平成19)年1月13日放送
7. NHK『迷宮美術館スペシャル』7月31日(NHK BS-hi)ほか、計3回放送

当館所蔵及び田辺市立美術館所蔵の佐伯祐三作品について、当館学芸員が紹介し、取材・収録に協力した。
8. ホームページで美術館の概要や展覧会の内容、スケジュールの情報を提供した。
9. 和歌山県職員に対し電子掲示板、府内メール等で展覧会の案内をした。

■講演会などの開催

- ・各展覧会に際して講演会やミュージアムトーク、ワークショップなどを開催した。(各展覧会報告の項を参照)

■刊行物の発行



カレンダー



NEWS No.49



NEWS No.50+51



NEWS No.52

ー出品作品を数えながら思ったこと

浅野秀剛「近松、歌麿、夢二」

奥村泰彦「追悼 吉原英雄」

浜田拓志「『科学の感情』展にちなんだミュージアム・コンサートから」

「ニュース！ メールマガジンが始まります。」

「『コレクション展 2007・春』より」

聞き手：奥村泰彦+奥村一郎「きのくに新人賞を受賞した小河朋司さんにインタビュー」

■学校・団体観賞への協力

・施設利用の浸透を図り、団体での来館に際し、事前に要望のあった場合には担当者・教員との打ち合わせを行うなど、学校教育と連携した活動を行った。また、平成18年度文化庁「学校への芸術家等派遣事業」による海南市立下津女子高等学校授業に協力した。

団体種別 件数・参加人数 [] は自由鑑賞

教 員	3件	251名	[0件・ 0名]
大 学	1件	9名	[0件・ 0名]
高等學校	8件	256名	[13件・123名]
中 学 校	14件	353名	[15件・370名]
小 学 校	1件	100名	[3件・ 87名]
幼 稚 園	1件	114名	[0件・ 0名]
そ の 他(養護学校等)		0件・ 0名	[4件・ 41名]
計	28件	1079名	[35件・621名]
総 計	63件	1700名	

■インターンシップ等の受入

・上記のうち文部科学省の推進するキャリア教育の一環として、教育委員会並びに各学校の取り組んでいるインターンシップ、職場体験学習等を以下のとおり受け入れた。

受入件数	人数	日数	のべ人数
高 校	5名	2日	10名
高 校	1名	3日	3名
中 学 校	6名	2日	12名
中 学 校	2名	1日	2名
中 学 校	2名	1日	2名
中 学 校	3名	1日	3名
中 学 校	7名	1日	7名
中 学 校	2名	1日	2名
中 学 校	2名	2日	4名
計 8 件	30名	14日	45名

■博物館実習生の受入

・大学での博物館学芸員資格取得のために必要な履修科目である博物館実習の実習生を受け入れた。

期間：8月22日～8月27日(6日間)

受 入 校	受 入 人 数
大阪教育大学	2名
大阪成蹊大学	2名
京都造形芸大学	1名
成安造形大学	3名

帝塚山学院大学	2名
立命館大学	1名
和歌山大学	1名
計 大学	12名

■ボランティア活動の受入

- ・和歌山県生涯学習ボランティアセンターに登録されたグループ「虹」の会員と個人会員により、図書資料の整理などが行われた。
- 受入人数：登録者 9 名 活動のべ 154回 [2006(平成18)年 3月31日現在]

■和歌山のアートコーナー

- ・第60回県展受賞作品から

会 期：平成19年1月4日(木)～1月21日(日) 書・工芸
 1月23日(火)～2月4日(日) 日本画
 2月6日(火)～2月18日(日) 写真・彫塑
 2月27日(火)～3月11日(日) 洋画

主 催：和歌山県立近代美術館

会 場：1階ホール

内 容：第60回和歌山県美術展覧会(県展)の特選(知事賞、県議会議長賞、県教育委員会賞、毎日新聞社賞・県美術家協会賞、県文化振興財団賞、新宮市長賞、白浜町長賞、上富田町長賞)の作品をオープンスペースで紹介した。

出品作品リスト：「書」部門

高橋 佳子(和歌山市) 百人一首より【知事賞】
 瓦間 寿舟(岩出市) あけねれば【県教育委員会賞】
 土肥 恵子(和歌山市) たちわかれ【県美術家協会賞】
 笠松 康華(岩出市) 村行【県文化振興財団賞】

「工芸」部門

南 純子(白浜町) コンポジション【知事賞】
 笠松 育美(海南市) 静かな時間【県教育委員会賞】
 入江 庸二(大阪府) 黒釉金彩鉢【県美術家協会賞】

「日本画」部門

宇治田純子(和歌山市) 美砂【知事賞】
 安井 英司(田辺市) 出港【県教育委員会賞】
 浦野 えみ(和歌山市) 陸む【県美術家協会賞】

「写真」部門

大浦 美保(和歌山市) 道【知事賞】
 谷田 茂夫(紀美野町) レッスン【県教育委員会賞】
 常田 茂(紀美野町) 野火【県美術家協会賞】

「彫塑」部門

西原千由希(田辺市) 紅葉【知事賞】
 「洋画」部門
 前田 充代(かつらぎ町) 哀II【知事賞】
 坂口 良治(和歌山市) 水溜まり 1【県議会議長賞】
 中野 正士(橋本市) 渴きI【毎日新聞社賞】
 福田 弘(三重県) 過ぎゆく風景【県文化振興財団賞】

■その他、施設利用など

- ・「ヴァイオリン&チェンバロ」コンサート、4月28日(金)
- ・「県警たそがれコンサート」主催：和歌山県警察音楽隊、6月9日(金)、6月23日(金)、7月14日(金)、7月28日(金)、8月11日(金)、8月25日(金)
- ・「ウォータージェットクリーン映画会」主催：NPO紀州ふるさと塾、7月28日(金)

- ・「熊野健康癒しライブ 祈り」コンサート、主催：和歌山観光医療産業創造ネットワーク、9月30日(土)
- ・「名月に舞う」主催：和歌山文化協会「名月に舞う」実行委員会、10月7日(土)
- ・「秋のシャンソンカーニバル」主催：和歌山シャンソン友の会、10月15日(日)
- ・「和歌山県ふるさと誕生日」記念イベント、主催：和歌山県NPO協働推進課、11月18日(土)

■友の会の活動

- ・楽しみながら美術に親しむ会として「和歌山県立近代美術館友の会」を組織し、当館の活動に支援を受けるとともに、美術作品を鑑賞し、語り合う場を設けることに協力した。

1. 会員の現状

- 2006(平成19)年3月末日現在での会員数
 一般会員 276名、学生会員 16名、賛助会員 9名、名誉会員 7名 計308名

2. 助成事業の実績

- 友の会は、会員に対して美術館事業に理解を持ち、常に美術作品に親しみを持つことができるよう常設展及び特別展の観覧並びに図録の購入に対して助成を行った。

- ・展覧会入場者延人数 511人
 (常設展 31人 ベトナム展 104人 日本画の展望展 78人 和歌山の作家を担う展 32人 森鷗外と美術展 123人 科学の感情展 46人
 美術百科展 97人)
- ・図録購入 117冊

3. 主催事業

- ・版画プレゼント 集治千晶氏制作の版画(3種類)
 《空 -ブローチ》《空 -ブーケ》《空 -コサージュ》各150枚 計450枚
- ・アーティスト・トーク
 9月17日(日) 講師：集治千晶氏 14:00～15:00 約60名参加
- ・展覧会関連企画 「ベトナム近代絵画展」ティーパーティ
 5月13日(土) 16:00～17:00 約30名参加 1F応接室
- ・ミュージアムコンサート ソプラノ：堤 敦子氏
 12月9日(土) 11:00～11:30、14:00～14:30の2回開催 2Fホール 計130名参加
- ・美術鑑賞ツアーの開催
 10月22日(日) 三重県立美術館「伊東深水の世界」展、伊賀窯元・長谷製陶 91名参加
- ・館広報誌、その他への情報提供
 美術館が発行するミュージアムカレンダー、美術館ニュース、特別展招待状などを配布

4. 共催事業

- ・バックヤードツアー
 美術館の仕事への理解を深めることを目的に、美術館の裏側を紹介するツアーを開催
 8月27日(日) 10:30～11:30 6名参加

協力事業

目的および内容：美術館をはじめ、種々の研究機関の活動に寄与し、当館所蔵作品鑑賞の機会を増やすために展覧会などに協力した。

1. 和歌山県立近代美術館所蔵名品展—大正期の異色画家たち

会 期：2006(平成18)年4月22日～6月4日

会 場：練馬区立美術館

主 催：練馬区立美術館・和歌山県立近代美術館

協 力 内 容：「現代『日本画』」の展望—内と外の間で—との交換展として開催された。当館のコレクションから、国画創作協会に集まった画家たちを中心とした個性的な日本画家たちの作品、近代版画の代表的な作品を中心に創作版画誌『月映』の画家たちの作品、1930年協会に集まった画家たちを中心として大正から昭和初期の油彩画と彫刻をあわせて、126点を出品。

出品作品リスト：No 作者名 作品名 制作年 技法・材質 尺寸(cm)

- 1 野長瀬 晚花 被布着たる少女 1911(明治44) 顔料、絹 114.1×134.8
- 2 野長瀬 晚花 島の女 1916(大正5)頃 顔料、絹 145.1×51.7
- 3 野長瀬 晚花 門づけ 1916(大正5) 顔料、紙 131.4×30.2
- 4 野長瀬 晚花 大原めと舞妓 1916(大正5)頃 顔料、紙 137.2×33.8
- 5 野長瀬 晚花 三味線を弾く女 1917(大正6)頃 顔料、絹 136.1×127
- 6 野長瀬 晚花 スペインの田舎の子供 1924(大正13) 顔料、寒冷紗 135.6×103.1
- 7 土田 麦櫻 梅ヶ畠村 1915(大正4) 顔料、絹 145×50.9
- 8 小野 竹喬 春浅き海辺 1918(大正7) 顔料、絹 30×43
- 9 柳原 紫峰 松に栗鼠 1919(大正8)頃 顔料、絹 154.7×55.2
- 10 吹田 草牧 南国之初夏 1919(大正8)頃 顔料、絹 127×42.1
- 11 日高 昌克 草 1923(大正12) 顔料、絹 39.4×44.8
- 12 岡本 神草 舞妓図 1920(大正9)頃 顔料、絹 42×51
- 13 杉田 勇次郎 蔬菜 1925(大正14)頃 顔料、絹 45.5×52.5
- 14 杉田 勇次郎 麓庵 1927(昭和2) 顔料、絹 170.6×195.4
- 15 徳力 富吉郎 人形 1927(昭和2) 顔料、紙 40×51.4
- 16 秦 テルヲ 桃割れの娘 1914(大正3)頃 顔料、寒冷紗 110.8×42.2
- 17 秦 テルヲ 吉原の女 1916(大正5)頃 顔料、寒冷紗 135.5×45.1
- 18 秦 テルヲ 安来節の女たち 1916(大正5)頃 顔料、寒冷紗 121.5×40.5
- 19 山口 八九子 風景 1911(明治44)頃 顔料、絹 69.4×141.2
- 20 山口 八九子 月見草と少女 1912(明治45／大正元)頃 顔料、紙 171.8×65.6
- 21 山口 八九子 鷄舎午早之図 1915(大正4)頃 顔料、紙 138.2×33.2
- 22 山口 八九子 水辺村落 1917(大正6)頃 顔料、絹 125.8×42
- 23 山口 八九子 風景 1917(大正6)頃 墨・顔料、紙 149.5×138.5
- 24 八田 高容 八坂之雪 1922(大正11) 顔料、絹 169.2×69.5
- 25 山本 鼎 野鶏 1912(明治45・大正元) 木版、紙 17.8×15.2
- 26 戸張 孤雁 千住大橋の雨 1913(大正2) 木版、紙 49.3×36.1
- 27 南 薫造 舟おろし 制作年不詳 木版、紙 21.8×10.7
- 28 岡本 帰一 花 制作年不詳 木版、紙 29.2×19
- 29 永瀬 義郎 抱擁 1915(大正4) 木版、紙 30×21.3
- 30 長谷川 潔 花を持つ女(『失われた宝玉』別刷) 1920(大正9) 木版、紙 32.2×23
- 31 香山 小鳥 悄 1913(大正2) 木版、紙 12.4×8.5
- 32 橋口 五葉 化粧の女 1918(大正7) 木版、紙 51.2×36.3
- 33 逸見 享 幸福な海女の群 1919(大正8) 木版、紙 22.9×18.5

- 34 田中 恭吉 病める夕(『密室』8) 1913(大正2) 木版、紙 15.7×10.3
- 35 田中 恭吉 死の支配者の微笑(推定：私輯『月映』I) 1914(大正3) 木版、紙 22.8×15.5
- 36 田中 恭吉 [失題] 1914(大正3) 木版、紙 18.9×9.9
- 37 田中 恭吉 焦心(私輯『月映』II) 1914(大正3) 木版、紙 20.9×10
- 38 田中 恭吉 [失題] 1914(大正3) 木版、紙 19×13.3
- 39 田中 恭吉 [失題] 1914(大正3)頃 木版、紙 20.6×10.6
- 40 田中 恭吉 あをそら(推定：私輯『月映』III) 1914(大正3) 木版、紙 15.5×10.9
- 41 田中 恭吉 五月の咲(私輯『月映』IV) 1914(大正3) 木版、紙 15.7×10.7
- 42 田中 恭吉 病児(私輯『月映』IV) 1914(大正3) 木版、紙 11.7×15.7
- 43 田中 恭吉 繁はれゆく歡喜と悲愁 1915(大正4) 木版、紙 12×17.9
- 44 藤森 静雄 よる(私輯『月映』III) 1914(大正3) 木版、紙 18×12.8
- 45 藤森 静雄 自然と人生(私輯『月映』III) 1914(大正3) 木版、紙 20.8×11.8
- 46 藤森 静雄 [一のみち](推定：私輯『月映』III) 1914(大正3) 木版、紙 8.3×5.1
- 47 藤森 静雄 二つの黙思(私輯『月映』IV) 1914(大正3) 木版、紙 12.7×12.2
- 48 藤森 静雄 二の心(私輯『月映』IV) 1914(大正3) 木版、紙 24.8×13.2
- 49 藤森 静雄 星の下(私輯『月映』VI) 1914(大正3) 木版、紙 19.6×13.5
- 50 藤森 静雄 [灯のまえ] 1914(大正3) 木版、紙 23.7×15.9
- 51 藤森 静雄 夜のピアノ 1914(大正3) 木版、紙 22.7×15.7
- 52 藤森 静雄 [失題] 1914(大正3)頃 木版、紙 18.3×12.6
- 53 藤森 静雄 太陽は水りぬ 1914(大正3) 木版、紙 18×12.4
- 54 恩地 孝四郎 [失題] 1914(大正3) 木版、紙 22.9×16.6
- 55 恩地 孝四郎 [失題] 1914(大正3)頃 木版、紙 24.1×17.4
- 56 恩地 孝四郎 あさあけ(推定：私輯『月映』II) 1914(大正3) 木版、紙 20.4×13.8
- 57 恩地 孝四郎 遊春(私輯『月映』II) 1914(大正3) 木版、紙 13×11
- 58 恩地 孝四郎 キリストとマリア(推定：私輯『月映』III) 1914(大正3) 木版、紙 23.9×17.5
- 59 恩地 孝四郎 望と怖(推定：私輯『月映』IV) 1914(大正3) 木版、紙 15.1×11
- 60 恩地 孝四郎 うかむ種子 1914(大正3) 木版、紙 19.2×12
- 61 恩地 孝四郎 裸形のくるしみ IV(推定：私輯『月映』V) 1914(大正3) 木版、紙 22×7.9
- 62 恩地 孝四郎 抒情 くるしみのうち懐に入るるものあり 1915(大正4)頃 木版、紙 13.3×13.5
- 63 恩地 孝四郎 抒情 躍る 1915(大正4) 木版、紙 13.3×9.7
- 64 公刊『月映』I 1914(大正3)9月 冊子 25.8×19×0.3
- 65 公刊『月映』IV 1915(大正4)5月 冊子 27.3×20×0.5
- 66 香山 小鳥 風景 1911(明治44) 油彩、板 22.7×14.6
- 67 田中 恭吉 ニコライ 1912(明治45・大正元)頃 油彩、板 22×15.5
- 68 藤森 静雄 花 1915(大正4) 油彩、キャンバス 33×24
- 69 恩地 孝四郎 海の女 1912(明治45・大正元) 油彩、キャンバス 45×33.3
- 70 田中 二朗 木立のある風景 制作年不詳 油彩、板 23.7×33
- 71 久本 信男 和服婦人 制作年不詳 油彩、キャンバス 41.4×27.7
- 72 作者不詳 港と船 制作年不詳 油彩、板 24×33.1
- 73 作者不詳 建物 制作年不詳 油彩、キャンバスボード 33.3×22.9
- 74 作者不詳 鉢 制作年不詳 油彩、キャンバス 23.2×22.9
- 75 萬代 恒志 庭の一隅 制作年不詳 鉛筆・水彩、紙 35.1×51.5
- 76 浜地 清松 暖炉 1911(明治44) 油彩、キャンバス 102.4×81.7

- 77 高須 光治 自画像 1915(大正4) 油彩、板 45.4×37.3
- 78 林 義明 伊豆大島小景 1915(大正4) 油彩、キャンバス 45.6×60.7
- 79 林 義明 手 1919(大正8) コンテ、板 17.3×15.3
- 80 国枝 金三 紀州風景 1919(大正8) 油彩、キャンバス 45.6×53.6
- 81 保田 龍門 少年 1912(明治45／大正元) 油彩、キャンバス 45.8×60.6
- 82 保田 龍門 自画像 1915(大正4) 油彩、キャンバス 60.9×50.2
- 83 保田 龍門 村の娘 1916(大正5) 油彩、キャンバス 82.4×66.9
- 84 保田 龍門 風景 1918(大正7) 油彩、キャンバス 46×60.8
- 85 保田 龍門 K婦人の像 1920(大正9) 油彩、キャンバス 60.6×46
- 86 保田 龍門 裸婦群像(構図の研究) 1926(大正15・昭和元) 油彩、キャンバス 130.5×194
- 87 畠 伊之助 ブザンソン風景 1924(大正13) 油彩、キャンバス 50.1×60.8
- 88 東郷 青児 静物 1924(大正13) 油彩、キャンバス 46×38
- 89 木下 孝則 後向きの裸女の習作 1925(大正14) 油彩、キャンバス 100.1×80.3
- 90 木下 孝則 猫 1926(大正15・昭和元) 油彩、キャンバス 59×60.2
- 91 木下 孝則 女優の像 1926(大正15・昭和元) 油彩、キャンバス 91.2×72.9
- 92 木下 義謙 風景(バルコン) 1928(昭和3) 油彩、キャンバス 41.4×32
- 93 木下 義謙 カーニュ風景 1929(昭和4) 油彩、キャンバス 62×73.2
- 94 木下 義謙 赤衣半身像 1931(昭和6) 油彩、キャンバス 91.4×73
- 95 木下 義謙 静物 1931(昭和6) 油彩、キャンバス 73×91.6
- 96 木下 雅子 静物 1927(昭和2) 油彩、キャンバス 53.2×73
- 97 木下 雅子 肘つく女 1929(昭和4) 油彩、キャンバス 72.8×61
- 98 木下 雅子 浴後 1933(昭和8) 油彩、キャンバス 112×163
- 99 佐伯 祐三 レ・ジュ・ド・ノエル 1925(大正14) 油彩、キャンバス 72.3×60.8
- 100 佐伯 祐三 広告のある門 1925(大正14) 油彩、キャンバス 60×73.3
- 101 佐伯 祐三 下落合風景 1926(大正15／昭和元)頃 油彩、キャンバス 50×60.5
- 102 佐伯 祐三 男の顔(K氏の像) 1927(昭和2) 油彩、板 33×23.8
- 103 佐伯 祐三 オプセルヴァトワール附近 1927(昭和2) 油彩、キャンバス 73×92
- 104 川口 軌外 水差しのある静物 1925(大正14) 油彩、キャンバス 80×65.7
- 105 川口 軌外 ポヘミアン 1928(昭和3) 油彩、キャンバス 117×80.7
- 106 川口 軌外 車のある風景 1928(昭和3) 油彩、キャンバス 73.5×116.7
- 107 川口 軌外 地維 1932(昭和7) 油彩、キャンバス 155.5×195.5
- 108 川口 軌外 少女と貝殻 1934(昭和9) 油彩、キャンバス 167.3×267.2
- 109 石垣 栄太郎 自画像 1917(大正6) 油彩、キャンバス 46×37.3
- 110 石垣 栄太郎 街 1925(大正14) 油彩、キャンバス 126×91
- 111 石垣 栄太郎 拳闘 1925(大正14) 油彩、キャンバス 75.4×91.2
- 112 石垣 栄太郎 ボーナス・マーチ 1932(昭和7) 油彩、キャンバス 145.4×107
- 113 石垣 栄太郎 キューバ島の反乱 1933(昭和8) 油彩、キャンバス 181.5×139
- 114 原 勝四郎 画工像 1932(昭和7) 油彩、ボール紙 65×52.8
- 115 高井 貞二 機械 1931(昭和6)頃 油彩、キャンバス 52.9×45.5
- 116 高井 貞二 感情の遊離 1932(昭和7) 油彩、キャンバス 150.7×91
- 117 高井 貞二 煙 1933(昭和8) 油彩、キャンバス 91.1×117
- 118 高井 貞二 想ひを 1935(昭和10) 油彩、キャンバス 112.5×145.8
- 119 村井 正誠 アラブの窓 1929(昭和4) 油彩、キャンバス 80.9×196.5

- 120 村井 正誠 パンチュール(赤い帽子) 1930(昭和5)頃 油彩、キャンバス 72.5×90.9
- 121 村井 正誠 パンチュール No.3 1934(昭和9) 油彩、キャンバス 113.5×194.5
- 122 村井 正誠 アカデミア・ベル・アルチ 1934(昭和9) 油彩、キャンバス 81.2×130.2
- 123 下村 清時 太子像 1921(大正10) 顔料、木 101.5×59.2
- 124 建島 大夢 感に打たれた女 1932(昭和7) ブロンズ 161×40×44
- 125 保田 龍門 アンドレの首 1922(大正11) ブロンズ 19×20×20
- 126 保田 龍門 [ヴィーナスのトルソ] 1930(昭和5)頃 ブロンズ 40.3×16.3×11.5

2. アーティスト・ステイ@和歌の浦アート・キューブ 森口ゆたか「ホスピタル・アートってなあに」

会期：2006(平成18)年9月3日(水)～6月24(日)
 主催：NPO和歌山芸術文化支援協会(wacss)
 会場：和歌の浦アート・キューブ
 内容：作家選定をはじめ展覧会の準備段階からの助言、打ち合わせや準備の為の場所の提供のほか、広報の補助、アーティスト・トークへの参加など全般にわたって協力した。

作品貸付

目的および内容：美術館をはじめ、種々の研究機関の活動に寄与し、当館所蔵作品鑑賞の機会を増やす目的のため、作品及び資料の貸付をした。

1. チャック・クロース展 [Chuck Close : Self-Portraits 1968-2005] 2005(平成17)年6月1日～2006(平成18)年12月31日

貸付先：ウォーカー・アートセンター(ミネアポリス、7月24日～10月16日)、サンフランシスコ近代美術館(11月19日～2月28日)、ハイ・ミュージアム(アトランタ、5月25日～6月18日)、オルブライトノックス・アート・ギャラリー(バッファロー、7月22日～10月22日)

作者名 作品名 制作年 技法・材質 寸法(cm)

・クロース、チャック 《自画像》 1983(昭和58)ペーパーパルプ、キャンバス 136.8×101.9

2. 東京ベルリン/ベルリン東京 2006(平成18)年1月14日～10月24日

貸付先：森美術館、ベルリン国立博物館群ベルリン新国立美術館

作者名 作品名 制作年 技法・材質 寸法(cm)

森美術館 2005年12月10日～2006年6月5日

- ・恩地孝四郎 《一つの貌》 1914(大正3)頃 木版、紙 15.2×11.2
 - ・恩地孝四郎 《抒情 II(公刊『月映』II)》 1914(大正3) 木版、紙 20.5×14.2
 - ・恩地孝四郎 《死によりてあげらるる生》 1915(大正4) 木版、紙 12.5×10.5
 - ・恩地孝四郎 《おさむるものと地の哀傷(公刊『月映』IV)》 1915(大正4) 木版、紙 14.4×12.5
 - ・恩地孝四郎 《抒情 躍る(公刊『月映』VI)》 1915(大正4) 木版、紙 13.2×9.7
 - ・恩地孝四郎 《抒情五種—わかれとのぞみと—より(公刊『月映』VII)》 1915(大正4) 木版、紙 13.6×9.8
- ベルリン国立博物館群ベルリン新国立美術館 2006年5月7日～2006年10月31日
- ・恩地孝四郎 《公刊『月映』IIポスター》 1914(大正3) 木版、紙 29.6×18.6
 - ・恩地孝四郎 《公刊『月映』IVポスター》 1915(大正4) 木版、紙 22.4×19
 - ・恩地孝四郎 《公刊『月映』VIポスター》 1915(大正4) 木版、紙 35.7×26
 - ・恩地孝四郎 《抒情 I》 1914(大正3) 木版、紙 13.5×11
 - ・恩地孝四郎 《抒情 VIII われいかる(公刊『月映』II)》 1914(大正3) 木版、紙 19.4×13.6
 - ・恩地孝四郎 《裸形のくるしみ III(公刊『月映』III)》 1914(大正3) 木版、紙 20×7.9
 - ・恩地孝四郎 《そらよりくだるかけ(公刊『月映』IV)》 1915(大正4) 木版、紙 12.4×10.7
 - ・恩地孝四郎 《抒情 いとなみ祝福せらる 1915(大正4) 木版、紙 13.6×9.7
 - ・恩地孝四郎 《抒情 慈に泪す(公刊『月映』VI)》 1915(大正4) 木版、紙 13.8×9.5
- 両会場 2005年12月10日～2006年10月31日
- ・資料 「DER STURM 木版画展覧会」目録 1914(大正3)冊子 18.8×12.8×0.1

3. 国吉康雄展 2006(平成18)年2月24日～5月21日

貸付先：岡山県立美術館(3月10日～5月7日)

作者名 作品名 制作年 技法・材質 寸法(cm)

・国吉康雄 《乳しづり》 1921(大正10) 油彩、キャンバス 61×50.5

4. 生誕110年記念 伊藤草白展 2006(平成18)年4月16日～6月14日

貸付先：笠岡市立竹喬美術館(4月29日～6月4日)

作者名 作品名 制作年 技法・材質 寸法(cm)

・伊藤草白 《葡萄之図》 1925(大正14) 顔料、絹 41.9×51.4

5. 画家泉茂の写真展 2006(平成18)年5月10日～6月30日

貸付先：滋賀県立近代美術館(5月27日～6月25日)

作者名 作品名 制作年 技法・材質 寸法(cm)

- ・泉茂 《のろわれた者(異邦人)》 1954(昭和29) 銅版、紙 16.6×8.7
- ・泉茂 《ゲームの瞳》 1955(昭和30) 銅版、紙 11.1×21
- ・泉茂 《目》 1955(昭和30) 油彩、キャンバス 60.5×72.5
- ・泉茂 《なまけもの》 1956(昭和31) 石版、紙 35×25.5
- ・泉茂 《インディアン》 1956(昭和31) 石版、紙 48.8×39
- ・泉茂 《マダム・インディアン》 1956(昭和31) 石版、紙 53.1×42
- ・泉茂 《叩く》 1960(昭和35) 銅版、紙 37.5×45.2
- ・泉茂 《しゃも》(受託作品) 1957(昭和32) 油彩、キャンバス 65.2×48.5
- ・泉茂 《Paintings(DF1005)(受託作品)》 1965(昭和40) 油彩、キャンバス 162×130
- ・泉茂 《FS2008》(受託作品) 1967(昭和42) 油彩、キャンバス 154×249.5

6. 開園100周年記念特別展「下村觀山展—觀山と三溪」 2006(平成18)年5月19日～7月6日

貸付先：三溪記念館(6月1日～7月2日)

作者名 作品名 制作年 技法・材質 寸法(cm)

・下村觀山 《魔障図試作》 1910(明治43) 墨、絹 67.2×164.6

7. 光の水墨画 近藤浩一路の全貌 展 2006(平成18)年8月26日～12月7日

貸付先：練馬区立美術館(9月10日～10月15日)、山梨県立美術館(10月21日～11月26日)

作者名 作品名 制作年 技法・材質 寸法(cm)

- ・川端龍子 《芭蕉翁》 1923(大正12) 顔料、紙 71.9×84.3
- ・鶴田吾郎 《水馬》 1916(大正5) 木版、紙 27.2×19.2
- ・鶴田吾郎 《[失題]》 1915(大正4) 木版、紙 29.5×21.5
- ・鶴田吾郎 《[失題]》 1916(大正5) 木版、紙 27.2×19.2
- ・鶴田吾郎 《[失題]》 1916(大正5)頃 木版、紙 29.5×21.3
- ・鶴田吾郎 《[失題]》 1916(大正5)頃 木版、紙 28.7×20.7

8. 夢のなかの自然展 2006(平成18)年9月6日～12月6日

貸付先：群馬県立館林美術館(9月16日～11月26日)

作者名 作品名 制作年 技法・材質 寸法(cm)

・川口軌外 《貝殻》 1936(昭和11) 油彩、キャンバス 80.4×115.2

9. 近代日本絵画の諸相 II. 日本画の個性 展 2006(平成18)年9月16日～11月26日

貸付先：熊野古道なかへち美術館(前期9月23日～10月15日、後期10月28日～11月19日)

作者名 作品名 制作年 技法・材質 寸法(cm)

- ・榊原紫峰 《松に栗鼠》 1919(大正8)頃 顔料、絹 154.7×55.2
- ・秦テルヲ 《安来節の女たち》 1916(大正5)頃 顔料、寒冷紗 121.5×40.5
- ・野長瀬晚花 《舞妓図》 1916(大正5)頃 顔料、絹 133.4×30.8
- ・小野竹喬 《春浅き海辺》 1918(大正7) 顔料、絹 30×43

10. 林康夫展 2006(平成18)年9月29日～12月27日

貸付先：バラタミュージアム(10月1日～12月25日)

作者名 作品名 制作年 技法・材質 寸法(cm)

- ・林康夫 《人体》 1950(昭和25) 陶 46×23×18.5
- ・林康夫 《作品(弧)》 1955(昭和30) 陶 39.5×34×24.3
- ・林康夫 《作品 66-21》 1966(昭和41) 陶 35×35×28.5
- ・林康夫 《ホットケーキ》 1971(昭和46) 陶 18×33×32
- ・林康夫 《Face》 1973(昭和48) 陶 40×38.5×26
- ・林康夫 《肖像又はゲート》 1974(昭和49) 陶 46×27×30
- ・林康夫 《Focus IV-B》 1984 1984(昭和59) 陶 34.5×38.5×38.5
- ・林康夫 《Phase 85-2》 1985(昭和60) 陶 38.5×32.5×33.5

11. 熊野・那智産の歴史と文化ー那智大滝と信仰のかたちー展 2006(平成18)年9月24日～12月2日

貸付先：和歌山県立博物館(10月7日～11月19日)

作者名 作品名 制作年 技法・材質 寸法(cm)

- ・稗田一穂 《幻想那智》 1979(昭和54) 顔料、紙 212.4×169.7

12. ルソーの見た夢、ルソーに見る夢 2006(平成18)年9月25日～2007(平成18)年5月15日

貸付先：世田谷美術館(10月7日～12月10日)、愛知県美術館(12月19日～2007年2月12日)、島根県立美術館(3月3日～5月6日)

作者名 作品名 制作年 技法・材質 寸法(cm)

- ・稗田一穂 《そよ風》 1951 顔料、紙 156.5×141.3

13. 清水達三・由朗 日本画二人展 2006(平成18)年9月29日～1月12日

貸付先：奈良県立万葉博物館(10月13日～12月25日)

作者名 作品名 制作年 技法・材質 寸法(cm)

- ・清水達三 《枯木灘》 2001(平成13) 顔料、紙 172.5×332
- ・清水達三 《波涛》 2002(平成14) 顔料、紙 175×333

14. 近代日本絵画の諸相 III. 表現主義の流れ 展 2006(平成18)年11月26日～2007(平成19)年2月5日

貸付先：田辺市立美術館(12月2日～1月21日)

作者名 作品名 制作年 技法・材質 寸法(cm)

- ・米良道博 《静物》 1930(昭和5) 油彩、キャンバス 91.1×116.6
- ・原勝四郎 《小湾》 1940(昭和15) 油彩、ホール紙 58.4×70.4
- ・川口軌外 《座する女》 1927(昭和2) 油彩、キャンバス 117×73
- ・川口軌外 《花》 1932(昭和7) 油彩、キャンバス 116.8×90.8
- ・佐伯祐三 《レ・ジュ・ド・ノエル》 1925(大正14) 油彩、キャンバス 72.3×60.8
- ・佐伯祐三 《広告のある門》 1925(大正14) 油彩、キャンバス 60×73.3
- ・朝井闇右衛門 《サークス(B)》 1968(昭和43) 油彩、板 30×37.7

15. 20世紀美術探検ーアーティストたちの三つの冒険物語 2007(平成19)年1月10日～3月31日

貸付先：国立新美術館(1月21日～3月19日)

作者名 作品名 制作年 技法・材質 寸法(cm)

- ・杉田勇次郎 《蔬菜》 1925(大正14) 顔料、絹 45.5×52.5
- ・伊藤草白 《葡萄之図》 1925(大正14) 顔料、絹 41.9×51.4
- ・高井貞二 《機械》 1931(昭和6)頃 油彩、キャンバス 52.9×45.5

16. 近代日本絵画の諸相 IV. 写実と抽象 展 2007(平成19)年1月25日～4月10日

貸付先：田辺市立美術館(2月10日～3月25日)

作者名 作品名 制作年 技法・材質 寸法(cm)

- ・恩地孝四郎 《失題(人体)》 1927(昭和2)頃 木版、紙 28.4×21.7
- ・恩地孝四郎 《南海への思念》 1942(昭和17) 木版、紙 84.2×51.8
- ・恩地孝四郎 《リリックNo.8 春》 1950(昭和25)頃 マルチブロック、紙 65.5×55.7
- ・恩地孝四郎 《ポエムNo.22 葉っぱと雲》 1953(昭和28) マルチブロック、紙 43.5×34
- ・石垣栄太郎 《拳闘》 1925(大正14) 油彩、キャンバス 75.4×91.2
- ・石垣栄太郎 《キューバ島の反乱》 1933(昭和8) 油彩、キャンバス 181.5×139
- ・山口長男 《連》 1965(昭和40) 油彩、板 182.2×364.3
- ・村井正誠 《母と子》 1952(昭和27) 油彩、キャンバス 162.3×131
- ・村井正誠 《風の中の除幕式》 1968(昭和43) 油彩、キャンバス 194.5×259.8
- ・難波田龍起 《緑の空間》 1960(昭和35) 油彩、キャンバス 91.4×117.2
- ・難波田龍起 《黒の交錯》 1970(昭和45) 油彩、キャンバス 80.5×100
- ・オノサトシノブ 《A-11》 1957(昭和32) 油彩、キャンバス 116×91.2
- ・三上誠 《経絡暦》 1968(昭和43)頃 コラージュ・顔料、紙 170.7×121
- ・下村良之助 《雨の断層》 1976(昭和51) 紙粘土・顔料、紙 123×162.5

17. 月一歌会始御題によせてー 2007(平成19)年2月6日～4月7日

貸付先：式年遷宮記念神宮美術館(2月21日～3月25日)

作者名 作品名 制作年 技法・材質 寸法(cm)

- ・稗田一穂 《月下》 1974(昭和49) 顔料、紙 229.5×178.5

18. 中原悌二郎と岡田虎二郎：自然の理法・悌二郎をめぐる作家達 2007(平成19)年3月10日～5月27日

貸付先：田原市博物館(3月24日～5月13日)

作者名 作品名 制作年 技法・材質 寸法(cm)

- ・保田龍門 《クリスティヌの首》 1922(大正11) [鑄造1985(昭和60)] ブロンズ 高さ34
- ・保田龍門 《アンドレの首》 1922(大正11) ブロンズ 高さ20.3
- ・保田龍門 《自画像(若芽を持つ)》 1915(大正4) 油彩、キャンバス 45.4×37.7
- ・保田龍門 《風景》 1918(大正7) 油彩、キャンバス 46×60.8

調査・研究・発表活動および対外協力活動

浜田拓志

- ・「和歌山県美術展覧会 第60回記念 和歌山の美術を担う作家たち」展を担当(52-55頁参照)
- ・対外協力事業「和歌山県立美術館所蔵名品展－大正期の異色画家たち」(主催・練馬区立美術館)図録に「和歌山県立近代美術館のコレクションについて」を執筆(4-5頁)
- ・全国美術館会議ホームページ開設・運営研究部会幹事
- ・独立行政法人国立美術館 国立国際美術館美術作品購入評価委員
- ・高知県立美術館資料収集審査委員
- ・神戸市立博物館評価委員会委員
- ・田辺市立美術館協議会委員
- ・田辺市立美術館作品選定委員会委員
- ・平成18年度きのくに教育iDCコンテンツ開発事業専門委員会
- ・機関誌『NEWS』
執筆:「バックヤードツアーという名前のミッション・ツアー」No.49、「美術百科『前衛の関西』の巻 コレクションによる全館展示－出品作品を数えながら思ったこと」No.52、「『科学の感情』展にちなんだミュージアム・コンサートから」No.52(56-57頁参照)

寺口淳治

- ・「現代『日本画』の展望－内と外のあいだで－」展を担当、パンフレット編集・執筆、講演会講師、ミュージアム・トーク(12-14頁参照)
- ・対外協力事業「アーティスト・ステイ@和歌の浦アート・キープ、森口ゆたか「ホスピタル・アートってなあーに」(主催・NPO和歌山芸術文化支援協会)」を担当、アーティスト・トーク・コーディネーター(9月23日、和歌の浦アート・キープ)
- ・対外協力事業「和歌山県立近代美術館名品展－大正期の異色画家」(主催・練馬区立美術館)を担当、図録に「断片から」を執筆(112-114頁)、講演会講師「和歌山のコレクションと大正期の作家」練馬区立美術館、5月5日
- ・第50回鳥取県美術展覧会審査員、鳥取県立博物館、9月6日・7日
- ・「『月映』－その成立とその背景－」によってボーラ美術振興財団の研究助成を受ける

奥村泰彦

- ・「コレクション展2006春」を担当(40-42頁参照)
- ・「美術百科『前衛の関西』の巻」を担当、ミュージアム・トーク(30-37頁参照)
- ・対外協力事業「アーティスト・ステイ@和歌の浦アート・キープ、森口ゆたか「ホスピタル・アートってなあーに」(主催・NPO和歌山芸術文化支援協会)」に協力
- ・「A-21国際美術展」開催記念シンポジウムパネラー、海岸通ギャラリーCASO、4月1日
- ・元気アップ関西、2006年4月8日放映
- ・「博物館実習」講座(講義)、近畿大学、5月8日
- ・「平成18年度美術館を活用した鑑賞教育の充実のための指導者研修」修了、東京国立近代美術館、8月7日-9日
- ・和歌山市美育協会鑑賞指導研修会(講義)、8月11日
- ・「つかもとやすこ展」アーティスト・トーク(対談)、CAS、10月21日
- ・第21回国民文化祭・やまぐち2006彫刻展推薦委員
- ・財団法人堀江オルゴール博物館理事
- ・機関誌『NEWS』執筆:「美術百科『前衛の関西』特集」No.50+51合併号、「追悼 吉原英雄」No.52、「きのくに芸術新人賞を受賞した小川朋司さんにインタビュー」聞き手、No.52(56-57頁参照)

井上芳子

- ・「コレクション展2006夏」において「小特集『野田裕示+鈴木理策』」展を担当(43-45頁参照)
- ・「和歌山県美術展覧会 第60回記念 和歌山の美術を担う作家たち」展において関連企画「県展を築いた作家たち」、ワークショップ「アーティストに学ぶ」を担当(52-55頁参照)
- ・対外協力事業「和歌山県立美術館所蔵名品展－大正期の異色画家たち」(主催・練馬区立美術館)図録に「『月映』の作家たちとその周辺」を執筆(110-111頁)、講演会講師「『月映』の作家たち」練馬区立美術館、5月28日
- ・「山名文夫と熊田精華展」(主催・目黒区美術館)に企画協力、図録に「『CHOCOLATE』時代の山名文夫と熊田精華の交流」を執筆(8-9頁)
- ・和歌山県文化協会主催「第57回先覚文化功労者顕彰式典」において講演会講師「田中恭吉の生涯と作品」(ホテルアバローム紀の国、10月24日)、小冊子に同タイトルの小伝を寄稿
- ・「『月映』－その成立とその背景－」によってボーラ美術振興財団の研究助成を受ける
- ・機関誌『NEWS』執筆:「和歌山県展を築いた作家たち」No.49(56頁参照)

植野比佐見

- ・「科学の感情－あたらしい時代の感覚と表現－」展を担当、パンフレット編集・執筆、ミュージアム・トーク(23-29頁参照)
- ・「コレクション展 2006秋」「小特集『没後20年高井貞二ニューヨークのタカイ』」展を担当、パンフレット編集・執筆(46-50頁参照)
- ・「第1回 文化財研修会」講演会講師「作品を受け継ぐこと、伝えること」無量寺・串本応挙芦雪館(和歌山県串本町)、8月3日

奥村一郎

- ・「ベトナム近代絵画展 花と銃－インドシナモダンの半世紀」展を担当、図録作家解説翻訳、参考文献・略年表編集、ミュージアム・トーク(8-11頁参照)
- ・「コレクション展 2006夏」「小特集『野田裕示+鈴木理策』」展を担当(43-45頁参照)
- ・「和歌山県美術展覧会 第60回記念 和歌山の美術を担う作家たち」展ワークショップ「アーティストに学ぶ」を担当(52頁参照)
- ・「研究ノート 中村大三郎画塾とその塾展について」『奈良県立万葉文化館 展覧会だより』16(22-27頁)
- ・「表現はその境界線上にある」[インタビュー]『MIND Press』、ワークショップマインド
- ・「昭和戦前・戦中期・日本画塾・塾展の研究」によってボーラ美術振興財団の研究助成を受ける
- ・機関誌『NEWS』執筆:「TOPICS 結い結われる『想い玉』『ホスピタル・アートってなあーに』より」No.49、「ワークショップの報告」No.49、「きのくに芸術新人賞を受賞した小川朋司さんにインタビュー」聞き手、No.52(56-57頁参照)

宮本久宣

- ・「森鷗外と美術」展を担当、図録執筆、講演会講師、ミュージアム・トーク(15-22頁参照)
- ・「原田直次郎研究 作品と関連資料の整理をふまえて」鹿島美術財団 2006年度「美術に関する調査研究」に採択

収集事業

和歌山県立近代美術館美術作品収集方針

- 日本画 1. 下村觀山、川端龍子を軸とする院展の作家たち
2. 野長瀬晩花を軸とする国画創作協会の作家たち
洋画 3. 川口軌外を軸とする1930年協会、初期独立美術協会の作家たち
4. 村井正誠を軸とする自由美術家協会、モダンアート協会の作家たち
5. 石垣栄太郎、ヘンリー・エリス、高井貞二を軸とするアメリカで学んだ作家たち
版画 6. 本県にゆかりのある恩地孝四郎、田中恭吉、逸見享、吉田政次、浜口陽三らを軸とする近現代版画
彫刻 7. 本県にゆかりのある建島覚造、保田春彦を軸とする現代彫刻
その他 8. 戦後美術

ア パンリアル美術協会
イ 走泥社
ウ デモクラート美術家協会
エ 具体美術協会
9. 現代の美術
10. 海外の美術

和歌山県立近代美術館美術作品選定委員会委員名簿

氏名	職業
酒井 哲朗	福島県立美術館館長
村田 慶之輔	川崎市岡本太郎美術館館長
保田 春彦	彫刻家

第26回美術作品選定委員会

2005(平成18)年3月10日(金)午後1時30分より開催

第27回美術作品選定委員会

2006(平成19)年3月8日(木)午後1時30分より開催

購入候補作品ならびに寄贈候補作品について、受け入れの妥当性について協議を行った。

2006(平成18)年度収蔵作品点数

購入作品 10作家 28件(28点)
購入資料 20作家 5件(37点)
受贈作品 14作家 57件(57点)
所蔵品総点数 8993点 [2007(平成19)年3月31日現在]

2006(平成18)年度 購入作品

作家名アルファベット順→制作年の順に配列



1. 藤森 静雄 FUJIMORI Shizuo
若き日
1914(大正3)
木版(機械刷)、紙 17.9×12



2. 深澤 素一 FUKAZAWA Sakuichi
[風景]
1925(大正14)
木版、紙 21.2×15.4



3. 深澤 素一 FUKAZAWA Sakuichi
神宮球場早慶戦「新東京百景」第四輯第十四號
1931(昭和6)
木版、紙 18.3×24.6



4. 原田 要 HARADA Kaname
絵画の庭-平遠II
2002(平成14)
木、顔料他 82×95×232



5. 逸見 享 HENMI Takashi
神宮絵画館『新東京百景』第二輯第八號
1929(昭和4)
木版、紙 18.1×24



6. 逸見 享 HENMI Takashi
聖橋『新東京百景』第二輯第十三號
1930(昭和5)
木版、紙 18.2×24.2



7. 池垣 タダヒコ IKEGAKI Tadahiko
series "old melancholy"「胡鯨」
1985(昭和60)
銅、はんだ 131×710×480



8. 池垣 タダヒコ IKEGAKI Tadahiko
untitled
1990(平成2)
銅、はんだ、インク 110×130×30



9. 池垣 タダヒコ IKEGAKI Tadahiko
カーペット掃除機「チチカカの女」
1996(平成8)
銅、はんだ、インク 82×28



10. 河崎 ひろみ KAWASAKI Hiromi
あらゆるものと小さなひとつのために94-8
1994(平成6)
油彩、カンヴァス 194×162



11. 永瀬 義郎 NAGASE Yoshiro
[郊外風景]
1927(昭和2)
木版、紙 19.2×23.2



12. 野長瀬 晩花 NONAGASE Banka
[風景]
制作年不詳(大正期)
顔料、紙 18×21



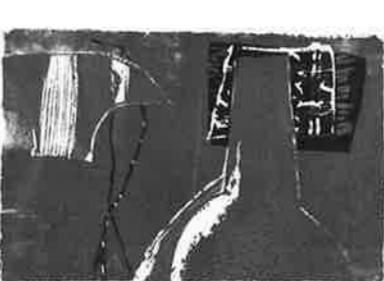
13. 野長瀬 晩花 NONAGASE Banka
[風景]
制作年不詳(大正期)
顔料、絹 21×18.2



14. 桦原 始更 SAKAKIBARA Shiko
断層
制作年不詳
顔料、紙 38.5×52.2



24. 清水 武次郎 SHIMIZU Takejiro
[作品]
制作年不詳
孔版、紙 43×33.4



25. 清水 武次郎 SHIMIZU Takejiro
[作品]
制作年不詳
孔版、紙 28.3×43



26. 清水 武次郎 SHIMIZU Takejiro
[作品]
制作年不詳
孔版、紙 28.3×42.8



15. 清水 武次郎 SHIMIZU Takejiro
[作品]
1961(昭和36)
孔版、紙 28.2×42.6



16. 清水 武次郎 SHIMIZU Takejiro
黒い実
1964(昭和39)
孔版、紙 28.7×43



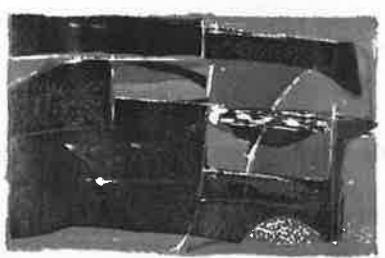
17. 清水 武次郎 SHIMIZU Takejiro
[作品]
1964(昭和39)
孔版、紙 28.3×42.5



27. 清水 武次郎 SHIMIZU Takejiro
[作品]
制作年不詳
孔版、紙 53×39.5



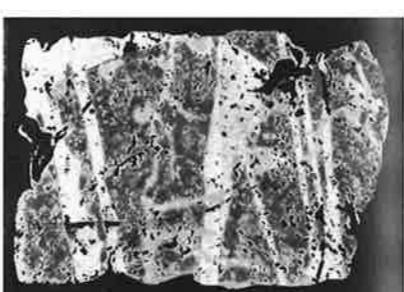
28. 清水 武次郎 SHIMIZU Takejiro
[作品]
制作年不詳
孔版、紙 53×39.5



18. 清水 武次郎 SHIMIZU Takejiro
[作品]
1964(昭和39)
孔版、紙 28.3×43



19. 清水 武次郎 SHIMIZU Takejiro
[作品]
1964(昭和39)
孔版、紙 34.1×47.6



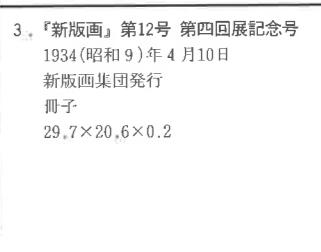
20. 清水 武次郎 SHIMIZU Takejiro
[作品]
1967(昭和42)
孔版、紙 39.4×53.2



1. 川西 右鳥(英)ほか KAWANISHI Hide
詩集『やなぎ』
1911(明治44)
水彩・墨、紙(冊子) 21.8×15×0.3



2. 川西 英 KAWANISHI Hide
小唄『光る風』
1912(大正元)
水彩・墨、紙(冊子) 18.2×12.2×0.7



3. 『新版画』第12号 第四回展記念号
1934(昭和9)年4月10日
新版画集団発行
冊子
29.7×20.6×0.2



21. 清水 武次郎 SHIMIZU Takejiro
[作品]
1968(昭和43)
孔版、紙 53×39.5



22. 清水 武次郎 SHIMIZU Takejiro
[作品]
1970(昭和45)
孔版、紙 53.8×39.5



23. 清水 武次郎 SHIMIZU Takejiro
曲
制作年不詳
孔版、紙 28.5×42.7



3-1. 武藤 六郎 MUTO Rokuro
表紙
木版、紙 26.7×19.6



3-2. 武藤 完一 MUTO Kanichi
豊後日田町
木版、紙(木口木版) 6.6×8.8



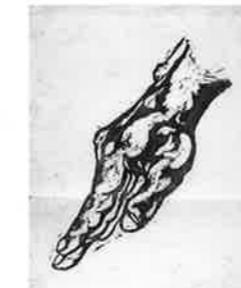
3-3. 小野 忠重 ONO Tadashige
裸婦
木版、紙 16×10.8



3-4. 菊池 善二郎 KIKUCHI Zenjiro
子供
木版、紙 12×12.8



3-5. 鈴木(武田)健夫 SUZUKI(TAKEDA)Takeo
或る舞台
木版、紙 14.3×18.8



3-6. 柴 秀夫 SHIBA Hideo
手について
木版、紙 21×17



4-2. 松下 義雄 MATSUSHITA Yoshio
おとなし川(王子)
1934(昭和9)
木版、紙 11.2×16.4



4-3. 堀 一恵 HORI [Kazue]
鬼子母神櫻並木
木版、紙 15.3×12.9



4-4. 荒井(末木)東留 ARAI [(SUEKI)Toru]
木倉
木版、紙 12.2×18.1



3-7. 水船 六洲 MIZUFUNE Rokushu
鍵を持つ男
木版、紙 14.3×12



3-8. 堀 一恵 HORI [Kazue]
ポンポン蒸氣
木版、紙 12.8×12.8



3-9. 荒井(末木)東留 ARAI [(SUEKI)Toru]
ぽたん
木版、紙 18.7×21.3



4-5. 水船 六洲 MIZUFUNE Rokushu
お茶の水
木版、紙 12.9×17.8



4-6. 蓮田 兵衛門 YOMOGIDA Heiemon
荒川帰帆
木版、紙 11.2×14.3



4-7. 清水 正博 SHIMIZU Masahiro
上野車坂
木版、紙 14.7×11.8



3-10. 常寳 英雄 TSUNEMI [Hideo]
モデル
木版、紙 18.5×9.5



3-11. 谷口 薫美 TANIGUCHI Masami
三番叟
木版、紙 14.2×12.9



3-12. 清水 正博 SHIMIZU Masahiro
明るい晩
木版、紙 10.9×14.2



4-8. 小野 忠重 ONO Tadashige
ガス工場
木版、紙 14.1×9.5



4-9. 藤牧 義夫 FUJIMAKI Yoshio
びょうぶ坂
石版、紙 15.9×23.7



4-10. 武藤 完一 MUTO Kanichi
日田水辺
木版、紙 7.9×9



3-13. 藤牧 義夫 FUJIMAKI Yoshio
つき
木版、紙 13×12.3

4. 「新版画」第13号 東京風景特輯号
1934(昭和9)年7月20日
新版画集団発行
冊子
30.7×23.2×0.4



4-1. 吉田 正三 YOSHIDA Shozo
表紙
木版、紙 30.7×23.2



4-11. 宇治山 哲平 UJIYAMA Tepppei
トロッコ(姪浜炭坑)
木版、紙 14.7×14.5



4-12. 江端 劳市 EBATA Yoshiichi
三和にある風景
木版、紙 13.6×19.4

5. 「新版画」第14号
1934(昭和9)年11月1日
新版画集団発行
冊子
29.5×21.9×0.2

2006(平成18)年度 受贈作品

作家名アルファベット順→制作年の順に配列



5-1. 藤牧 義夫 FUJIMAKI Yoshio
表紙
木版、紙 29.5×21.9



5-2. 藤牧 義夫 FUJIMAKI Yoshio
まくら橋
木版、紙 11.4×9.5



5-3. 柴 秀夫 SHIBA Hideo
青い服
木版、紙 15.1×12.8



1. 吹田 文明 FUKITA Fumiaki
残されたスペース
1967(昭和42)
木版、紙 73.5×60.5
堀内俊男氏寄贈



2. 渋谷 明夫 HAMATANI Akio
Orbit 5
1997(平成9)
レーヨン、スティール 450×250×250
作家寄贈



3. 林 康夫 HAYASHI Yasuo
Focus 82-3
1982(昭和57)
陶 23.5×32×22.7
大森證吉氏・さち氏寄贈



5-4. 吉田 正三 YOSHIDA Shozo
窓外風景
木版、紙 12.1×16.2



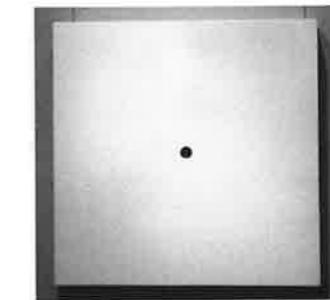
5-5. 鈴木(武田)健夫 SUZUKI(TAKEDA) Takeo
山小屋の夜
木版、紙 12.5×11.9



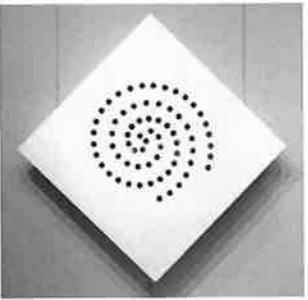
5-6. 水船 六洲 MIZUFUNE Rokushu
病院の女
木版、紙 16.6×12.5



4. 林 康夫 HAYASHI Yasuo
Focus 83-9
1983(昭和58)
陶 23.5×32×22.7
大森證吉氏・さち氏寄贈



5. 松田 豊 MATSUDA Yutaka
CHO-CHO-RED
1966(昭和41)
木、モーター他 91.6×92.2
松田昌子氏寄贈



6. 松田 豊 MATSUDA Yutaka
[無題]
1960年代後半
木、塗料、モーター他 173.5×173.5



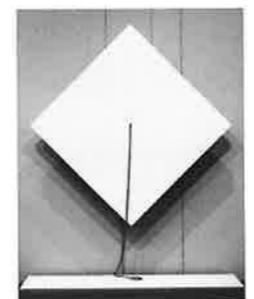
5-7. 清水 正博 SHIMIZU Masahiro
松竹座にて
木版、紙 16×12



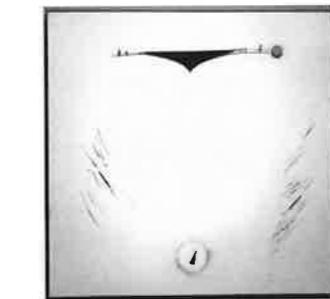
5-8. 松下 義雄 MATSUSHITA Yoshiro
ぐら
木版、紙 12.4×11.3



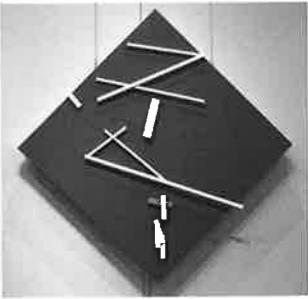
5-9. 小野 忠重 ONO Tadashige
夜番とその子
木版、紙 11.9×17.8



7. 松田 豊 MATSUDA Yutaka
SRU-SRU-L
1972(昭和47)
板、紐、モーター他 173.5×173.5
松田昌子氏寄贈



8. 松田 豊 MATSUDA Yutaka
領主
1998(平成10)
木、塗料、モーター他 162×162
松田昌子氏寄贈



9. 松田 豊 MATSUDA Yutaka
STAGE-28
1990(平成2)
木、塗料、モーター他 173.5×173.5
松田昌子氏寄贈



5-10. 武田 由平 TAKEDA Yoshihei
お盆
木版、紙 14×9.2



10. 松田 豊 MATSUDA Yutaka
GROUND-88
1990(平成2)
木、竹、塗料、モーター他 65×162 松田昌子氏寄贈



11. 宮本 謙一 MIYAMOTO Giichi
夕嵐の潮の岬
1969(昭和44)
水彩、紙 84.2×108 山本信子氏寄贈



12. 森 有材 MORI Yuzai
ピエロ
1932(昭和7)
油彩、キャンバス 91×73 河野喬氏寄贈



13. 森 有材 MORI Yuzai
海
制作年不詳
油彩、キャンバス 24.8×33.5
河野喬氏寄贈



14. 森口 宏一 MORIGUCHI Hirokazu
ニュース・ペーパーより
1967(昭和42)
シルクスクリーン、アクリル、ステンレススチール、他
94×65.5×10.5 作家寄贈



15. 森口 宏一 MORIGUCHI Hirokazu
ニュース・ペーパーより
1967(昭和42)
シルクスクリーン、アクリル、ステンレススチール、他
80×55×10.5 作家寄贈



25. 斎藤 俊徳 SAITO Toshinori
PICTURE OF SCENERY
1984(昭和59)
シルクスクリーン、紙
28×41.5 作家寄贈



26. 斎藤 俊徳 SAITO Toshinori
PICTURE OF SCENERY
1984(昭和59)
シルクスクリーン、紙
28×41.5 作家寄贈



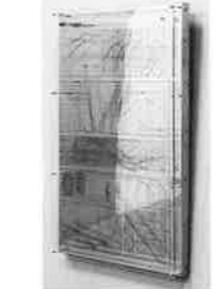
27. 杉本 義夫 SUGIMOTO Yoshio
仁王像
制作年不詳
木版、紙 86×64.5
堀内俊男氏寄贈



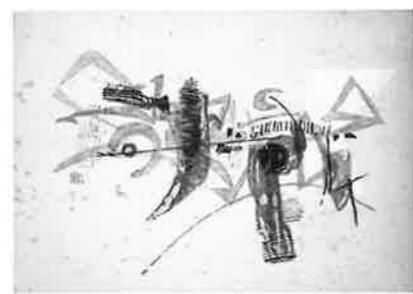
16. 森口 宏一 MORIGUCHI Hirokazu
ニュース・ペーパーより
1967(昭和42)
シルクスクリーン、アクリル、ステンレススチール、他
95×64.5×10.5 作家寄贈



17. 森口 宏一 MORIGUCHI Hirokazu
グリューネワルト・聖エラスムスと聖マウリス・より
1967(昭和42)
シルクスクリーン、アクリル板、ステンレススチール、他
90×65×9.5 作家寄贈



18. 森口 宏一 MORIGUCHI Hirokazu
白土三平・カムイ伝・より
1967(昭和42)
シルクスクリーン、アクリル板、ステンレススチール、他
97×65×9.5 作家寄贈



28. 高橋 力雄 TAKAHASHI Rikio
体の中の風
1955(昭和30)
木版、紙 53×34
奥田西杜子氏寄贈



29. 高橋 力雄 TAKAHASHI Rikio
Passing Nun(Buddhist) (行く尼)
1958(昭和33)
木版、紙 47.3×34.9
奥田西杜子氏寄贈



30. 高橋 力雄 TAKAHASHI Rikio
習作
1960(昭和35)
木版、紙 25.8×19.3
奥田西杜子氏寄贈



19. 森口 宏一 MORIGUCHI Hirokazu
自画像・顔
1973(昭和48)
フィルム、アクリル、ステンレススチール、他
56.7×47.8×10.5 作家寄贈



20. 中西 康進 NAKANISHI Yasunobu
独房の喜劇
1959(昭和34)
油彩、布、板、他 91×182
作家寄贈



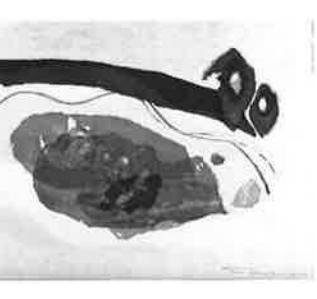
21. 西田 潤 NISHIDA Jun
No.3 - A 絶
2001(平成13)
磁土、釉薬 74×74×66
田中恒子氏寄贈



31. 高橋 力雄 TAKAHASHI Rikio
京都の抒情
1960(昭和35)
木版、紙 82×54
奥田西杜子氏寄贈



32. 高橋 力雄 TAKAHASHI Rikio
京都の抒情
1960(昭和35)
木版、紙 81.3×52.9
奥田西杜子氏寄贈



33. 高橋 力雄 TAKAHASHI Rikio
Kyoto Series №40 Festival (シリーズ京都 №40 祭)
1966(昭和41)
木版、紙 50×81
奥田西杜子氏寄贈



22. 齋藤 武夫 SAITA Takeo
南の女 I (パリーの女)
1941(昭和16)
油彩、キャンバス 162.5×98 齋田瑞穂氏寄贈



23. 斎藤 俊徳 SAITO Toshinori
吊り上げられた鳥居(止まった1977年10月4日)
1984(昭和59)
シルクスクリーン、紙 28×41.5 作家寄贈



24. 斎藤 俊徳 SAITO Toshinori
吊り上げられた鳥居(止まった1977年10月4日)
1984(昭和59)
シルクスクリーン、紙 28×41.5 作家寄贈



34. 高橋 力雄 TAKAHASHI Rikio
Morning(朝)
1968(昭和43)
木版、紙 48.5×38 奥田西杜子氏寄贈



35. 高橋 力雄 TAKAHASHI Rikio
Morning(朝)
1968(昭和43)
木版、紙 48.5×38 奥田西杜子氏寄贈



36. 高橋 力雄 TAKAHASHI Rikio
呼吸—大地
1969(昭和44)
木版、紙 51.5×35.5 奥田西杜子氏寄贈



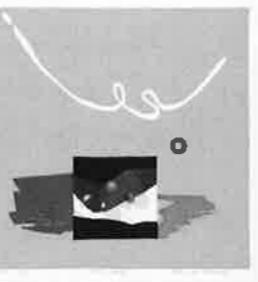
37. 高橋 力雄 TAKAHASHI Rikio
Move in Winter(冬の動き)
1970(昭和45)
木版、紙 25.8×25.6
奥田西杜子氏寄贈



38. 高橋 力雄 TAKAHASHI Rikio
Rikio Young A(わかさ A)
1971(昭和46)
木版、紙 55.5×55.5
奥田西杜子氏寄贈



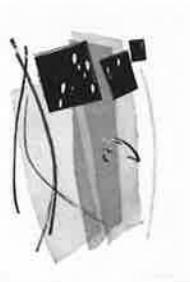
39. 高橋 力雄 TAKAHASHI Rikio
Splendid Old Town(うるわしき古都)
1972(昭和47)
木版、紙 82.3×53.9
奥田西杜子氏寄贈



49. 高橋 力雄 TAKAHASHI Rikio
Winter Lodge(冬の山荘)
1979(昭和54)
木版、紙 25.8×25.6
奥田西杜子氏寄贈



50. 高橋 力雄 TAKAHASHI Rikio
NIWA 80-D(庭 80-D)
1980(昭和55)
木版、紙 45.7×33.9
奥田西杜子氏寄贈



51. 高橋 力雄 TAKAHASHI Rikio
Snow(雪)
1980(昭和55)
木版、紙 46.8×29
奥田西杜子氏寄贈



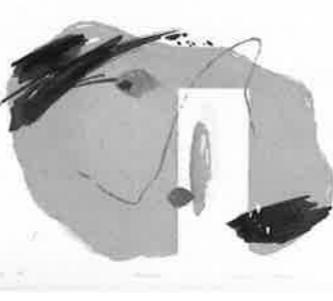
40. 高橋 力雄 TAKAHASHI Rikio
Splendid Old Town(うるわしき古都)
1972(昭和47)
木版、紙 82.3×53.9
奥田西杜子氏寄贈



41. 高橋 力雄 TAKAHASHI Rikio
Kyoto Series No.48 Nunnery's Garden C
(京都シリーズ No.48 尼寺の庭C)
1975(昭和50)
木版、紙 77.3×50 奥田西杜子氏寄贈



42. 高橋 力雄 TAKAHASHI Rikio
Kyoto Series No.55(京都シリーズ No.55)
1977(昭和52)
木版、紙 81×50
奥田西杜子氏寄贈



52. 高橋 力雄 TAKAHASHI Rikio
NIWA (Stone Garden)(庭(石庭))
1985(昭和60)
木版、紙 38×52
奥田西杜子氏寄贈



53. 高橋 力雄 TAKAHASHI Rikio
NIWA (Come Again the Season)
(庭(めぐる季節))
1988(昭和63)
木版、紙 21×22.2 奥田西杜子氏寄贈



54. 高橋 力雄 TAKAHASHI Rikio
NIWA H-3(庭 H-3)
1989(平成元)
木版、紙 54×39.6
奥田西杜子氏寄贈



43. 高橋 力雄 TAKAHASHI Rikio
Garden (Seasonal) (庭(季節の))
1977(昭和52)
木版、紙 51×34.8
奥田西杜子氏寄贈



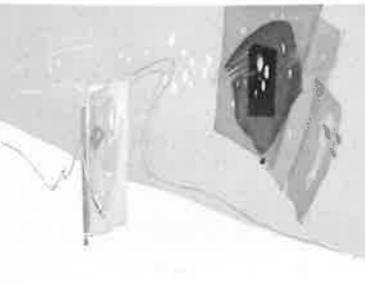
44. 高橋 力雄 TAKAHASHI Rikio
NIWA (Contemplation)(庭(黙想))
1978(昭和53)
木版、紙 48.8×38
奥田西杜子氏寄贈



45. 高橋 力雄 TAKAHASHI Rikio
NIWA (Contemplation)(庭(黙想))
1978(昭和53)
木版、紙 48.8×38
奥田西杜子氏寄贈



55. 高橋 力雄 TAKAHASHI Rikio
NIWA H-3(庭 H-3)
1989(平成元)
木版、紙 54×39.6
奥田西杜子氏寄贈



56. 高橋 力雄 TAKAHASHI Rikio
Garden of Poet A(詩人の庭 A)
1990(平成2)
木版、紙 47.9×70.2
奥田西杜子氏寄贈



57. 田中 恭吉 TANAKA Kyokichi
[和歌浦風景]
1908-09(明治41)頃
水彩、紙 38.2×29.9
田中密雄氏寄贈



46. 高橋 力雄 TAKAHASHI Rikio
NIWA (Winter Scenery)(庭(冬景色))
1978(昭和53)
木版、紙 50.8×40.5 奥田西杜子氏寄贈



47. 高橋 力雄 TAKAHASHI Rikio
Kyoto Series No.60(京都シリーズ No.60)
1979(昭和54)
木版、紙 76.7×54.5 奥田西杜子氏寄贈



48. 高橋 力雄 TAKAHASHI Rikio
NIWA 79-A(庭 79-A)
1979(昭和54)
木版、紙 78.7×54 奥田西杜子氏寄贈

保存事業

2006(平成18)年度 図書資料収集

新収蔵図書資料 93冊

■購入

一般雑誌(逐次刊行物) 13タイトル 83冊

(内訳)

1 アサヒカメラ	13冊	7 生活美術	1 冊
2 アトリエ	1 冊	8 デザインの現場	6 冊
3 イラストレーション	6 冊	9 版画芸術	4 冊
4 インターコミュニケーション	4 冊	10 美術手帖	13冊
5 季刊銀花	4 冊	11 Prints21	4 冊
6 芸術新潮	12冊	12 炎芸術	4 冊

単行本 5タイトル 10冊

・木下 埃太郎 著・小絲 源太郎 装丁『食後の唄』1919(大正8)年12月10日、アラギ発行所

・與謝野 寛 著・高村光太郎 装丁『相聞』1910(明治43)年3月25日、明治書院

・黒岩涙香 訳・竹久夢二 装丁『ひと夜の情』1915(大正4)年6月1日、扶桑堂

・『近代日本アート・カタログ・コレクション』57~61、2003(平成15)年11月21日、ゆまに書房

・佐藤一郎(代表)『明治後期油絵基礎資料集成』(研究篇・図版篇) 2004(平成16)年9月20日発行、中央公論美術出版社

1. 所蔵作品の状態調査

展示、貸出の機会にあわせて継続的に所蔵品の状態を調査し、保存上の対策を必要とする作品については、紙本作品のマットと額裏板の改良・交換を中心に処置を進めた。

2. 所蔵作品の保存修復

状態調査の結果、修復が必要と判断された作品のうち、展示に耐えない特に危険な状態の作品を優先し、館外の専門家に委託し、保存修復処置を行った。またマウントのない作品のうち、展示予定の作品を優先して館外の専門家に委託し、マットおよび額を装備した。

油彩画 1点、紙本作品 1点

作家名 作品名 技法・材料 処置者／主な処置

・浜地清松 静物 油彩、キャンバス 修復研究所21

調査・記録、浮き上がり接着、洗浄、変形修正、耳補強、ルースライニング、充填整形、補彩、防カビ・殺菌、ワニス塗布、木枠新調

・浜口陽三 堀割 銅版、紙 坂本雅美

ドライクリーニング、テープの除去、マウントの改善

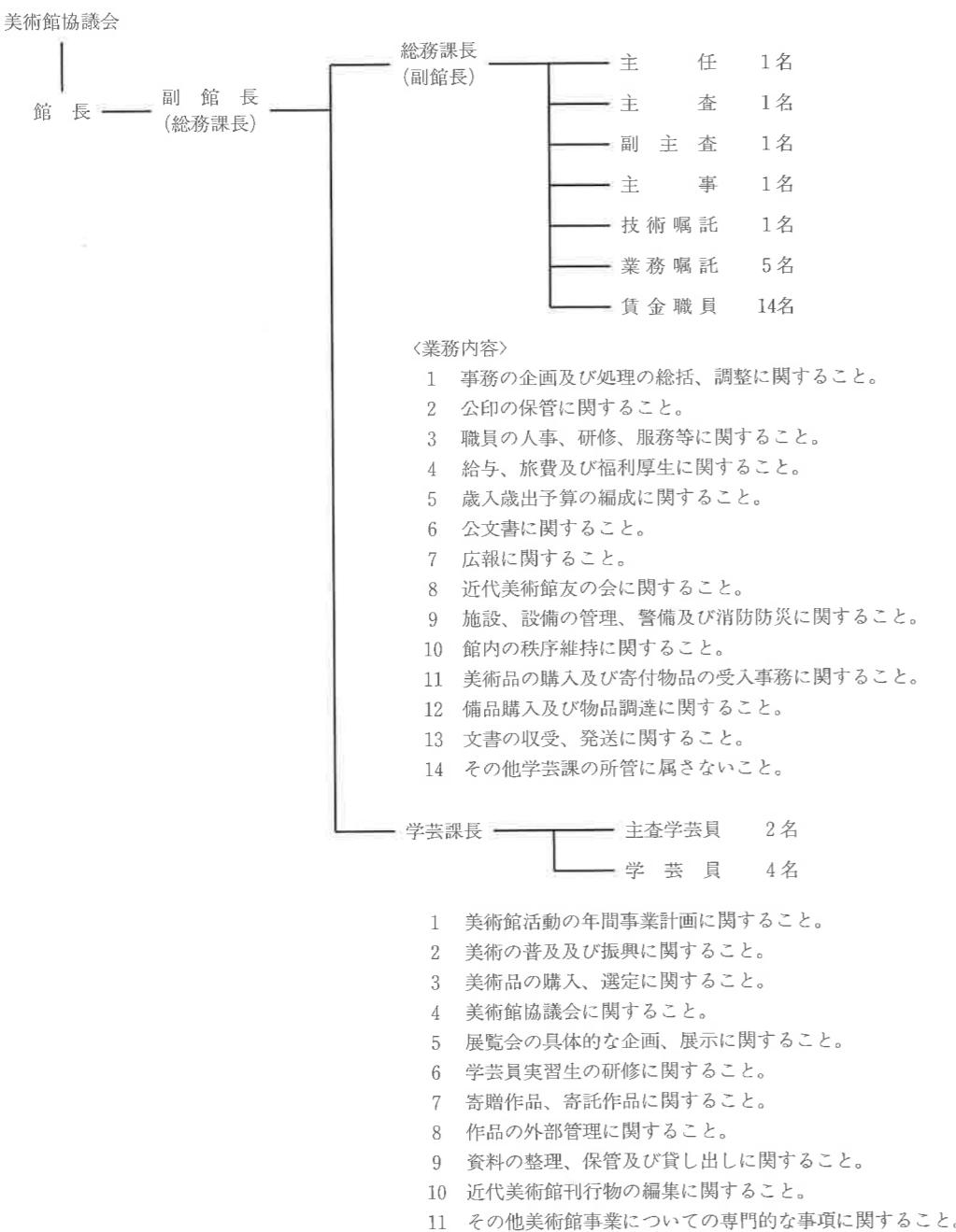
3. 保存環境の整備

・総合虫害管理システムにより、外部の専門家に委託してモニタリングを4回実施。(平成18年5月、8月、11月、平成19年3月)

・荷解室、書庫に防湿用の扇風機設置。同荷解室、一時保管庫に除湿器を設置。

管理運営

組織と業務



機構及び職員配置図

館長：山田 康 副館長：篠原 隆

課名	課長名	所属職員(職) 氏名
総務課	篠原 隆	主任：木村 智、主査：直川悦子、副主査：岡本文宏 主事：堀田礼子、電気技師：坂本 優 嘱託：橋詰友理、栗生恵里、小向由梨、小出紫織、沖 紗子
学芸課	浜田拓志	主査学芸員：寺口淳治、奥村泰彦 学芸員：井上芳子、植野比佐見、奥村一郎、宮本久宣

和歌山県立近代美術館協議会委員 (◎=会長)

任期2年：2006(平成18)年11月3日～2008(平成20)年11月2日

氏名	役職	備考
榎本 長治	会社社長	
木下 純子	医師(元和歌山市保健所所長)	
酒井 哲朗	福島県立美術館館長	
島 正博	会社社長	
◎島村 安彦	会社社長	
神人 熱	歯科医院院長	
谷 奈々	財和歌山社会経済研究所主任研究員	
中井 由純	県美術家協会会长	
三國 和美	紀の川市社会教育委員長	
村田慶之輔	川崎市岡本太郎美術館館長	
保田 春彦	彫刻家	
山脇佐江子	姫路市立美術館館長	2006(平成18)年11月3日新任
吉原 英雄	画家	2007(平成19)年3月31日逝去

氏名五十音順

2007(平成19)年3月31日現在 委員12名

職員現況調

区分	事務	学芸	技術	嘱託	計	備考
館長	1	—	—	—	1	
副館長	1	—	—	—	1	
総務課	4	—	1	5	10	電気技師1名
学芸課	—	7	—	—	7	
計	6	7	1	5	19	

第48回和歌山県立近代美術館協議会

2007(平成19)年3月8日15時より開催。2006(平成18)年度事業報告、2007(平成19)年度事業計画など、当館の運営について協議が行われた。

関係法規

2006(平成18)年度 展覧会入館者数

展 覧 会 名	会 期	企 画 展						常 設 展				和歌山県 特別事業 和歌山の美術を担う作家たち																																																																									
		「前 年度 より」 美術百科「世界一周の巻」 ペトナム近代絵画展	現代「日本画」の展望	森鷗外と美術	科学の感情	美術百科「前衛の関西」の巻	合 計	コレクション展 春	コレクション展 夏	コレクション展 秋	合 計																																																																										
	4月 1日 ～ 4月 9日	4月 15日 ～ 5月 28日	6月 10日 ～ 7月 30日	9月 10日 ～ 10月 22日	11月 3日 ～ 12月 17日	1月 4日 ～ 3月 31日		4月 22日 ～ 7月 9日	7月 17日 ～ 10月 1日	10月 8日 ～ 12月 10日	8月 15日 ～ 8月 27日																																																																										
	日 数	8	38	44	37	39	53	219	76	67	55	198	12																																																																								
有料	一般	463	1583	1054	1850	1101	2831	8882	2386	2755	1596	6737	1460																																																																								
	団体	0	0	0	20	0	182	202	20	50	20	90	50																																																																								
	紀陽	0	237	256	365	0	0	858	281	122	256	659	0																																																																								
	友の会	15	104	78	123	46	175	541	113	84	50	247	44																																																																								
	一般	33	79	64	134	35	270	615	137	187	86	410	56																																																																								
	団体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																																																																								
	紀陽	0	12	8	6	1	36	63	16	9	2	27	2																																																																								
小計		511	2015	1460	2498	1183	3494	11161	2953	3207	2010	8170	1612																																																																								
無料	高齢者	163	803	537	1921	846	2729	6999	1141	1104	1248	3493	1009																																																																								
	障害者	28	140	81	366	189	479	1283	198	217	263	678	71																																																																								
	その他	160	1358	612	2106	2954	1213	8403	1551	1743	889	4183	2498																																																																								
	県内留学生	4	10	1	5	8	16	44	12	4	11	27	3																																																																								
	高校生	44	32	121	155	122	352	826	105	260	184	549	86																																																																								
	中学生	28	69	563	177	148	184	1169	117	2344	306	2767	730																																																																								
	小学生	48	88	102	205	187	304	934	164	378	231	773	161																																																																								
	幼児	9	90	52	58	41	134	384	97	105	47	249	66																																																																								
	団体	0	404	68	216	204	492	1384	497	310	423	1230	22																																																																								
	小計	484	2994	2137	5209	4699	5903	21426	3882	6465	3602	13949	4646																																																																								
合計		995	5009	3597	7707	5882	9397	32587	6835	9672	5612	22119	6258																																																																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">日 数</th> <th colspan="6">有 料</th> <th colspan="6"></th> </tr> <tr> <th colspan="3">個 人</th> <th colspan="3">大 学 生</th> <th rowspan="2">小 計</th> </tr> <tr> <th>一 般</th> <th>団 体</th> <th>紀 陽</th> <th>友 の 会</th> <th>一 般</th> <th>団 体</th> <th>紀 陽</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>429</td> <td>17079</td> <td>342</td> <td>1517</td> <td>832</td> <td>1081</td> <td>0</td> <td>92</td> <td>20943</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="10">無 料</th> <th rowspan="2">合 計</th> </tr> <tr> <th>高齢者</th> <th>障害者</th> <th>その他</th> <th>県内留学生</th> <th>高校生</th> <th>中学生</th> <th>小学生</th> <th>幼児</th> <th>団体</th> <th>小 計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11501</td> <td>2032</td> <td>15084</td> <td>74</td> <td>1461</td> <td>4666</td> <td>1868</td> <td>699</td> <td>2636</td> <td>40021</td> <td>60964</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>													日 数	有 料												個 人			大 学 生			小 計	一 般	団 体	紀 陽	友 の 会	一 般	団 体	紀 陽	429	17079	342	1517	832	1081	0	92	20943					無 料										合 計	高齢者	障害者	その他	県内留学生	高校生	中学生	小学生	幼児	団体	小 計	11501	2032	15084	74	1461	4666	1868	699	2636	40021	60964	
日 数	有 料																																																																																				
	個 人			大 学 生			小 計																																																																														
一 般	団 体	紀 陽	友 の 会	一 般	団 体	紀 陽																																																																															
429	17079	342	1517	832	1081	0	92	20943																																																																													
無 料										合 計																																																																											
高齢者	障害者	その他	県内留学生	高校生	中学生	小学生	幼児	団体	小 計																																																																												
11501	2032	15084	74	1461	4666	1868	699	2636	40021	60964																																																																											

紀陽=紀陽文化財団の助成による入館者、その他=招待券、招待状、優待券による入館者

○和歌山県立近代美術館設置及び管理条例

昭和45年10月6日

条例第64号

和歌山県立近代美術館設置および管理条例をここに公布する。

和歌山県立近代美術館設置及び管理条例

(平6条例18・改称)

(設置)

第1条 近代美術に関する資料を収集し、保管し、又は展示して一般公衆の観覧に供するとともに、美術に関する資料の調査、研究等を行い、もって美術文化の向上に資するため、和歌山県立近代美術館(以下「近代美術館」という。)を設置する。

(平6条例18・一部改正)

(位置)

第2条 近代美術館は、和歌山市吹上一丁目4番14号に置く。

(平6条例18・一部改正)

(事業)

第3条 近代美術館は、第1条の目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

(1) 近代美術に関する作品その他の近代美術に関する資料を収集し、保管し、又は展示して一般公衆の利用に供すること。

(2) 美術に関する専門的、技術的な調査研究を行うこと。

(3) 美術に関する展覧会、研究会、講習会等の開催及び資料の刊行

(平6条例18・一部改正)

(使用料)

第4条 近代美術館を使用する者は、和歌山県使用料及び手数料条例(昭和22年和歌山県条例第28号)の定めるところにより、使用料を納めなければならない。

(委任)

第5条 近代美術館の管理に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

付 則

この条例は、昭和45年11月2日から施行する。

附 則(平成6年3月30日条例第18号)

この条例は、平成6年4月1日から施行する。

○和歌山県立近代美術館管理規則

昭和45年10月22日

教育委員会規則第20号

和歌山県立近代美術館管理規則を次のように定める。

和歌山県立近代美術館管理規則

(目的)

第1条 この規則は、和歌山県立近代美術館設置及び管理条例(昭和45年和歌山県条例第64号。以下「条例」という。)第5条の規定に基づき、和歌山県立近代美術館(以下「近代美術館」という。)の管理に関し法令、条例及び他の規則に定めたあるものを除くほか、必要な事項を定めることを目的とする。

(開館時間)

第2条 近代美術館の開館時間は、午前9時30分から午後5時までと

する。

- 2 館長は、特別の事情がある場合においては、前項の開館時間を変更することができる。この場合においては、館長は、その旨を教育長に報告するものとする。

(休館日)

第3条 近代美術館の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 毎週月曜日(その日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「休日」という。)に当たるときは、その日後においてその日に最も近い土曜日、日曜日又は休日でない日)

(2) 年始(1月1日から同月3日まで)

(3) 年末(12月29日から同月31日まで)

- (4) 前3号に定めるもののほか、特別の事情により館長が臨時に休館を必要と認め、教育長の承認を得た日
- 2 館長は、必要があると認めるとき、その他特別の事情があるときは、前項第1号から第3号までに掲げる休館日を変更することができます。この場合においては、館長は、その旨を教育長に報告するものとする。
- 3 非常災害その他急迫の事情があるときは、館長は、臨時に休館することができる。この場合においては、館長は、次に掲げる事項を直ちに教育長に報告するものとする。

- (1) 休館の期間

- (2) 非常災害その他急迫の事情の概要

- (3) その他必要と認める事項

(職員)

第4条 近代美術館に、館長のほか必要な職員を置く。

(課の設置及び所掌事務)

第5条 近代美術館に、次の課を置く。

総務課

学芸課

2 総務課においては、次の事務をつかさどる。

- (1) 館長印、館印その他公印の管守に関する事務
- (2) 職員の身分、服務その他人事に関する事務
- (3) 文書の収受、発送、編さん及び保存に関する事務
- (4) 予算、決算及び会計に関する事務
- (5) 近代美術館の施設、設備及び物品の管理に関する事務

- (6) その他学芸課の主管に属しない事務

3 学芸課においては、次の事務をつかさどる。

- (1) 美術に関する展覧会、講演会、研究会等の開催についての年間計画の樹立並びにその具体的な企画及び実施に関する事務
- (2) 近代美術に関する作品その他の資料の収集、保管及び展示に関する事務
- (3) 美術の普及及び振興に関する事務
- (4) 近代美術に関する調査、研究及び資料の刊行に関する事務
- (5) 近代美術館協議会に関する事務
- (6) 入館の拒絶、制限及び退館命令
- 第6条 館長は、次の各号のいずれかに該当する者に対しては、入館を拒絶し、又は退館を命ずることができる。

- (1) 伝染性疾患のある者
 - (2) 陳列品を汚損し、又は近代美術館の施設及び設備をき損するおそれのある物品を所持している者
 - (3) 館内の秩序を乱すと認められる者
 - (4) その他館長において近代美術館の管理上入館を不適当と認めた者
- 2 館長は、近代美術館の管理上必要があると認めるときは、入館に制限を加えることができる。
- (損害賠償の義務)
- 第7条 入館者は、その責めに帰すべき事由により陳列品を汚損し、近代美術館の施設及び設備をき損し、又は滅失したときは、その損害の賠償をしなければならない。

(委任)

第8条 この規則に定めるものほか、近代美術館の管理に関し必要な事項は、教育長の承認を得て館長が定める。

付 則

この規則は、昭和45年11月2日から施行する。

附 則(昭和53年4月1日教育委員会規則第12号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(昭和56年5月28日教育委員会規則第7号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(昭和63年3月31日教育委員会規則第13号)

この規則は、昭和63年4月1日から施行する。

附 則(平成元年3月31日教育委員会規則第7号)

この規則は、平成元年4月1日から施行する。

附 則(平成6年3月31日教育委員会規則第8号)

この規則は、平成6年4月1日から施行する。

附 則(平成13年3月30日教育委員会規則第11号)

この規則は、平成13年4月1日から施行する。

附 則(平成17年2月25日教育委員会規則第2号)

この規則は、平成17年4月1日から施行する。

○和歌山県博物館協議会条例

昭和57年3月29日
条例第11号

和歌山県博物館協議会条例をここに公布する。

和歌山県博物館協議会条例

(設置)

第1条 博物館法(昭和26年法律第285号)第20条の規定に基づき、次の表の左欄に掲げる博物館にそれぞれ当該下欄に掲げる博物館協議会(以下「協議会」という。)を設置する。

博物館の名称	協議会の名称
和歌山県立近代美術館	和歌山県立近代美術館協議会
和歌山県立博物館	和歌山県立博物館協議会
和歌山県立紀伊風土記の丘	和歌山県立紀伊風土記の丘協議会
和歌山県立自然博物館	和歌山県立自然博物館協議会

(委員の定数)

第2条 協議会の委員(以下「委員」という。)の定数は、15人以内とする。

(任期)

第3条 委員の任期は、2年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(会長等)

第4条 協議会に、会長及び副会長1人を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選により定める。

3 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 協議会の会議は、会長が招集し、その議長となる。

2 協議会は、委員の半数以上の出席がなければ、会議を開くことができない。

3 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(小委員会及び部会)

第6条 協議会は、小委員会又は部会を置くことができる。

2 小委員会に委員長を、部会に部会長を置く。

3 委員長及び部会長は、委員のうちから会長が指名する。

4 小委員会又は部会に属する委員は、会長が指名する。

(庶務)

第7条 協議会の庶務は、当該博物館において処理する。

(委任)

第8条 この条例に定めるものほか、協議会の運営に関し必要な事項は、教育委員会が定める。

附 則

この条例は、昭和57年4月1日から施行する。

○和歌山県立近代美術館美術品貸付規則

昭和46年10月12日
教育委員会規則第26号

和歌山県立近代美術館美術品貸付規則を次のように定める。

和歌山県立近代美術館美術品貸付規則

(目的)

第1条 この規則は、和歌山県立近代美術館が所蔵する美術品(以下「美術品」という。)の貸付けに関し必要な事項を定めることを目的とする。

(貸付)

第2条 和歌山県立近代美術館長(以下「館長」という。)は、その目的が公の性質をもち、かつ、美術文化の普及上適当と認めた場合に、次項に規定する者に対して美術品を貸し付けることができるものとする。

2 美術品の貸付けを受けることのできる者は、国並びに地方公共団体及び公益法人その他これらに準ずる団体とする。

(申請手続)

第3条 美術品の貸付けを受けようとする者は、次に掲げる事項を記載した借受申請書を館長に提出しなければならない。

(1) 申請者の氏名又は名称及び住所

(2) 借り受けようとする美術品の名称及び数量

(3) 使用目的

(4) 陳列等のための施設の名称及びその場所並びに施設の概要

(5) 借受期間

(6) 借受期間における保管及び管理の方法

(7) その他参考となる事項

(貸付承認)

第4条 館長は、美術品の貸付けを承認したときは、美術品貸付承認通知書(別記様式)を申請者に交付する。

(貸付期間)

第5条 美術品の貸付期間は、通常2月以内(以下「1期間」という。)

とする。ただし、館長が必要と認めたときは、貸付期間を更新し、又は延長することができる。

(借受書等)

第6条 美術品の貸付承認を受けた者は、次に掲げる事項を記載した借受書を館長に提出しなければならない。

(1) 借り受ける美術品の名称及び数量

(2) 借受期間

(3) 返納期日

(4) 返納場所

(5) 貸付条件に従う旨

2 貸付承認をした美術品の引渡しは、前項の借受書の提出があったとき、これを行う。

3 館長は、美術品が返還されたときは、これと引換に返還を受けた旨の受領書を交付するものとする。

(遵守事項等)

第7条 貸付承認をした美術品の荷造り及び輸送並びに保管、返納等に要する費用は、借受人の負担とする。

2 貸付期間中の美術品の保管及び管理は、借受人の責任とし、亡失、汚損又は損傷のあったときは、賠償の責めを負うものとする。

3 美術品の借受人は、当該美術品を借り受けた目的以外に使用してはならない。

(貸付料)

第8条 美術品の貸付料は、1点につき1期間3,090円とし、第5条た

だし書の貸付期間の延長の場合にあっては、1月以内の延长期間にについては1,540円とし、1月を超える延長期間については1,000円とする。

2 特別の事情がある場合においては、貸付料を増減し、又は免除することがある。

3 既納の貸付料は、これを返還しない。

(貸付けの取消し)

第9条 館長は、美術品の貸付けを受けた者が、この規則及び貸付条件を守らないときは、その承認を取り消し、当該美術品の返還を求めることができる。

(補則)

第10条 この規則に定めるもののほか、美術品の貸付けに関し必要な事項は、教育長の承認を得て館長が定める。

付 則

1 この規則は、公布の日から施行する。

2 和歌山県立美術館美術品貸付規程(昭和42年和歌山県教育委員会規則第22号)は、廃止する。

附 則(昭和56年8月29日教育委員会規則第15号)

この規則は、昭和56年9月1日から施行する。

附 則(平成元年3月31日教育委員会規則第8号)

この規則は、平成元年4月1日から施行する。

別記様式(第4条関係)

番号	年 月 日	
美術品貸付承認書		
殿	和歌山県立近代美術館長	
年 月 日付けで承認申請のあった当館所蔵の美術品の貸付けについては、下記によって承認する。		
記		
1 貸 付 品 種 別	作 者 名	題 名
材 質	形 狀	製 作 年
2 貸 付 期 間	年 月 日 か ら	年 月 日 ま で
3 貸 付 料 金	円	
上記貸付料は、美術品借り受けのとき、又はその日までに県指定金融機関へ払い込むこと。		
4 美術品の輸送の際の取扱い及び保管管理については、館長の指示に従い、十分注意するとともに、貸付中のいっさいの責任を借受者において負うものとする。		
5 美術品は、当館係員立合のうえ借受書と引換に引き渡すものとする。		
6 その他和歌山県立近代美術館美術品貸付規則の各条項を遵守するとともに館長の指示に従うこと。		

備考 この承認書には、和歌山県立近代美術館美術品貸付規則を添付すること。

○和歌山県立近代美術館美術作品寄託規程

昭和46年10月12日

教育委員会告示第12号

和歌山県立近代美術館美術作品寄託規程を次のように定める。

和歌山県立近代美術館美術作品寄託規程

(趣旨)

第1条 この規程は、和歌山県立近代美術館(以下「美術館」という。)における美術作品の寄託に関し必要な事項を定めるものとする。

(受託)

第2条 美術作品の所有者(以下「所有者」という。)が展示保存又は調

建築概要

査研究の目的をもって、美術作品の保管の寄託の申入れがあったときは、この規程の定めるところにより、美術館はこれを無償で受託するものとする。

(寄託)

第3条 所有者が、美術作品を寄託しようとするときは、別記第1号様式による保管依頼書を提出し、館長の承認を受けなければならぬ。

(受け入れ及び返還)

第4条 館長は、美術作品を受領したときは、所有者に、別記第2号様式による受託証書を交付するものとする。

2 寄託品の返還を受けようとする者は、原則として返還を受けようとする日の1月前に別記第3号様式による返還請求書を館長に提出しなければならない。

3 寄託品は、受託証書と引き換えに、これを所有者に返還するものとする。

4 寄託品の返還を受けようとする者が、所有者の代理人であるときは、受託証書に、委任状その他代理人であることを証する書類を添えなければならない。

(寄託期間及び期間の更新)

第5条 寄託期間は、3年とする。ただし、館長が必要と認めたときは、所有者の承諾を得てこの期間を短縮又は更新することがある。寄託期間を経過後寄託者から返還の請求がない場合は寄託期間の更新をしたものとみなす。

2 寄託期間の更新をするときは、受託証書の書換えを行うものとする。

(所有者の変更等)

第6条 売買、相続等により寄託品の所有者に変更があったときは、または所有者の氏名、名称若しくは住所等に変更があったときは、その所有者(所有者変更の場合は、新所有者)は、所有権の移転その他氏名、名称等の変更を証する書類を受託証書に添えて、館長に届け出、受託証書の書換えを受けなければならない。

(受託証書の再交付)

第7条 受託証書を忘失し、又は著しく破損したときは、所有者は、これらを証明するに足る書類(破損の場合は、その受託証書)を添えて、速やかに館長に受託証書の再交付を申請しなければならない。

(作品輸送経費の負担)

第8条 所有者は、寄託品の搬入又は返還に要する荷造り及び運搬の経費を負担しなければならない。ただし、館長において特にその必要がないと認めた場合は、この限りでない。

(補則)

第9条 この規程に定めるもののほか美術品の寄託に関し必要な事項は、教育長の承認を得て館長が定める。

付 則

この規程は、告示の日から施行する。

附 則(平成6年3月31日教育委員会告示第1号)

この規程は、平成6年4月1日から施行する。

別記第1号様式(第3条関係)

美術作品保管依頼書	
種 別	
作 品 名	
作 者 名	
製作年月日	
附 屬 品	
作品の所在地	
寄 託 期 間	年 月 日から 年 月 日まで

上記作品について下記事項承諾のうえ、寄託を申し入れます。
年 月 日
住所
氏名 印
記

和歌山県立近代美術館長 殿

1 寄託期間経過後、私から返還請求をしない場合は、この期間の更新に同意したものとします。
2 寄託した美術作品が天災その他の避けられない事故によって汚損又は亡失した場合における補償の請求はいたしません。
3 展示保存又は調査研究に資するため写真撮影することに同意します。

別記第2号様式(第4条関係)

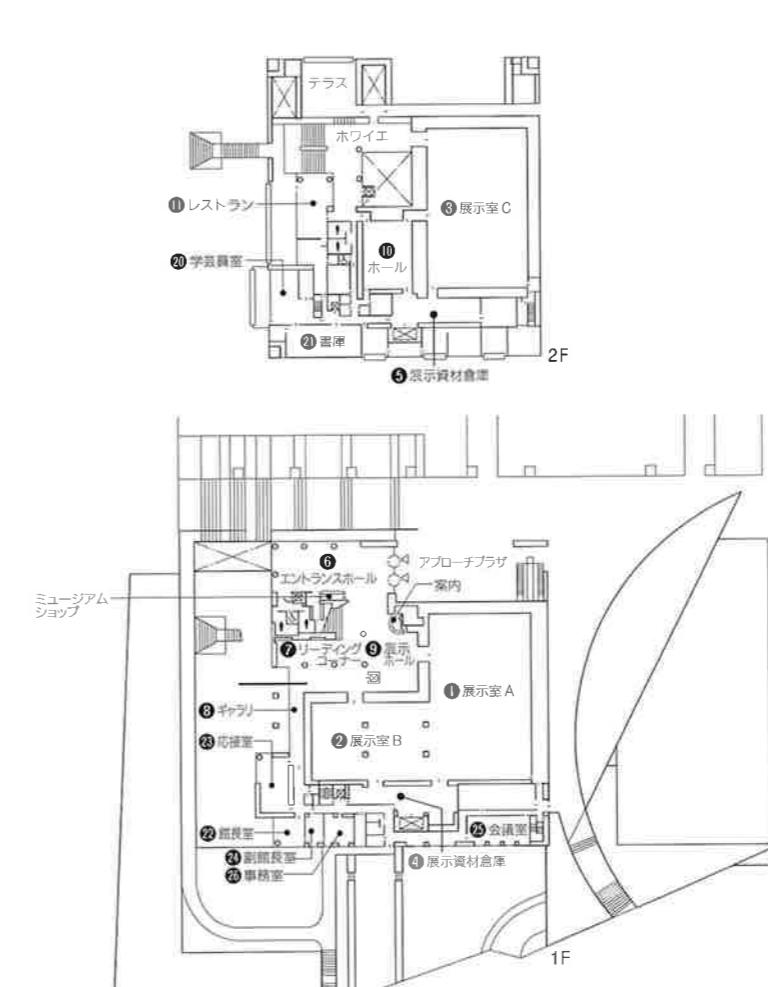
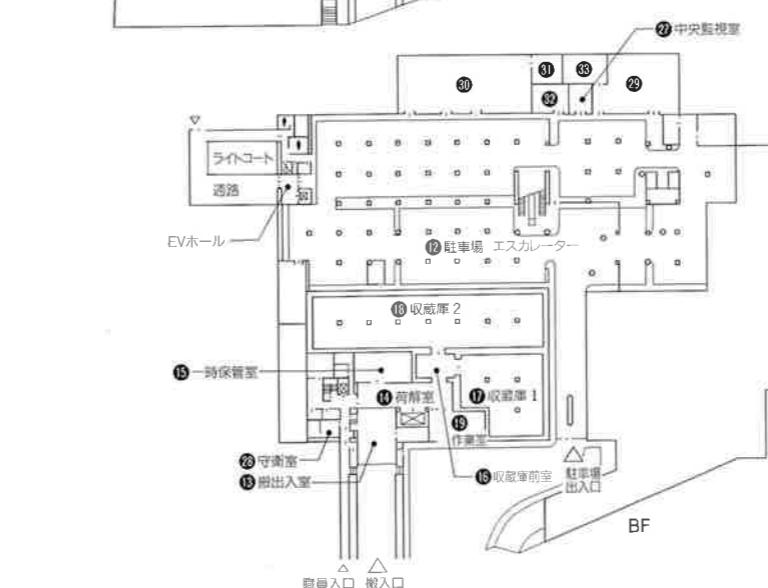
文書番号 年 月 日	
受託証書	
作品名	
附属品	
寄託期間	年 月 日から 年 月 日まで
上記作品の保管を和歌山県立近代美術館美術作品寄託規程(昭和46年和歌山県教育委員会告示第12号)により受託しました。 年 月 日	
和歌山県立近代美術館長 殿	
住所	
氏名	様

別記第3号様式(第4条関係)

返還請求書	
作品名	
附属品	
寄託期間	年 月 日から 年 月 日まで
上記の作品の返還を和歌山県立近代美術館美術作品寄託規程(昭和46年和歌山県教育委員会告示第12号)により請求します。 年 月 日	
住所	
氏名	印
和歌山県立近代美術館長 殿	

部門別面積表

部門	室名	面積(m ²)
展示部門		
①展示室A		1,057.0
②展示室B		486.1
③展示室C		1,038.6
④展示資料倉庫(1F)		136.2
⑤展示資料倉庫(2F)		121.5
(小計)		2,839.4
サービス部門		
⑥エントランスホール		402.2
⑦リーディングコーナー		217.8
⑧ギャラリー		46.9
⑨展示ホール		134.0
⑩ホール		181.5
ホール前室、映写室、控室A、倉庫		74.6
⑪レストラン		105.1
厨房		62.0
テラス		217.9
化粧室		181.9
⑫駐車場		2,480.1
EVホール、廊下、階段、その他		1,670.7
(小計)		5,774.7
収蔵部門		
⑯搬出入室		108.4
⑰荷解室		130.0
⑯一時保管室		81.0
⑯収蔵庫前室		61.4
⑯収蔵庫1		342.5
⑯収蔵庫2		685.6
⑯作業室		82.0
(小計)		1,490.9
調査部門		
⑯学芸員室、倉庫		123.2
⑯書庫		113.1
(小計)		236.3
管理部門		
⑯館長室		
⑯心接室		
⑯副館長室		
⑯会議室		
⑯事務室		
⑯中央監視室		
⑯守衛室		
控室B		
控室C		
控室D		
更衣室		
救護室		
(小計)		444.7
⑯電気室		212.4
⑯マシンルーム		364.9
⑯消火ポンプ室		38.7
⑯ハロンポンベ室		51.2
⑯発電機室		58.1
空調機械室		295.5
倉庫、その他		31.1
(小計)		1,051.9
合計		11,837.9
階数		
2 F		2,916.8
1 F		3,436.8
B F		5,484.3
合計 (延床面積)		11,837.9



建築概要

所在地	和歌山市吹上一丁目1番
敷地面積	23,356.78m ²
監理	和歌山県土木部営繕課
設計監理	(株)黒川紀章建築都市設計事務所
施工	竹中・清水・戸田特定建築工事共同企業体 きんでん・伊藤電気特定電気設備工事共同企業体 日立プラント・長谷川冷機特定機械設備工事共同企業体
総工費	137億8086万円 〔総事業費 192億633万1千円(用地費含む)〕
工事期間	1991年10月～1994年3月

建物概要

構造	RC造(鉄筋コンクリート構造) 地上2階地下1階建
建築面積	7,087.17m ² (美術館部分 4,500.62m ² 博物館部分 2,586.55m ²)
延床面積	18,704.50m ² (駐車場3,460m ² を含む) (美術館部分 11,837.90m ² 博物館部分 6,866.60m ²)
仕上	外壁 磁器質タイル、アルミパネルアルマイド仕上、 アルミカーテンウォール 屋上 アスファルト防水の上コンクリート押え 庇 フッ素ステンレス鋼板、アルミパネル アルマイド仕上

設備概要

電気設備	
受変電設備	3φ3W6600V 60Hz 変圧器 1φ 600KVA (うち美術館300KVA 博物館300KVA) 3φ1550KVA (うち美術館900KVA 博物館650KVA)
自家発電設備	ディーゼル機関 4サイクル 440PS 1800rpm 3φ3W6600V 375KVA
蓄電池設備	キュービカル式直流電源装置 容量 300AH
空調設備	
熱源設備	空気熱源熱回収型スクリュー式ヒートポンプ冷凍機 165RT+110RT 蓄熱槽 1560m ³
排煙設備	自然排煙+機械排煙 6系統 (うち美術館4系統 博物館2系統)
衛生設備	
給水設備	受水槽 上水10m ³ 、雑用水29m ³ 受水方式 加圧給水ポンプ方式
排水設備	汚水・雨水分流式(公共下水道へ放流)
消火設備	ハロンガス消火(収蔵部門各室・展示部門各室・書庫) /屋内消火栓/スプリンクラー/消火器/泡消火(駐車場)
自動火災報知設備	(館内守衛室にて集中管理) 煙感知器 光電スポット型 美術館224台 博物館155台 熱感知機 差動スポット型 美術館105台 博物館 74台 定温スポット型 美術館 14台 博物館 13台
防災・防犯設備	(館内守衛室にて集中管理) 受信盤 複合GR型 504回線 ITV監視装置、防災アンプ(360W) 監視カメラ 美術館33台(うち展示室14台) 博物館19台(うち展示室8台) 防犯センサー

展示・保存環境

	面積	床材	天井高
展示部門	展示室A 1,057.0m ² ケース L 13,706×D 1,200×H 3,372 + L 31,070×D 1,200×H 3,372 (mm)	ナラフローリング	5m
	展示室B 486.1m ²	同上	4m
	展示室C 1,038.6m ² ケース L 25,211×D 1,200×H 3,372 (mm)	同上	5m
収蔵部門	1F 展示資材倉庫 136.2m ² 2F 展示資材倉庫 121.5m ²	ビニアスタイル	4m
	収蔵庫1(立体) 342.5m ² 収蔵庫2(平面) 385.6m ²	耐水合板下地 ブナフローリング	4m
	前室 61.4m ²	同上	4m
	一時保管室 81.0m ²	モザイクパーケット	4m
	作業室 82.0m ²	ビニアスタイル	5.8m
	荷解室 130.0m ²	モルタル金ゴテ エポキシ系塗床	5.8m
	搬出入口 108.4m ²	同上	4.8m
展示照明	ハロゲンダウンライト/蛍光灯(着脱式)/スポットライト(着脱式) すべて紫外線防止、高演色タイプ、無段階調光可能		
空調	展示室 2系統 収蔵庫 2系統 展示室 設定温度 夏期25°C/冬期22°C 設定温度 通年55% 収蔵庫 設定温度 通年22°C 設定温度 通年55%		
作品専用昇降機	油圧式・30m/min・最大積載量3.0トン H 3,000×W 5,000×D 2,500 (mm)		

案 内

利用案内

開館時間 9:30～17:00(入館は16:30まで)
休館日 毎週月曜日(祝日のときはその翌日)
年末年始(12月29日～1月3日)
展示替え期間
駐車場 有料(90台収容)

交通案内

JR和歌山駅又は南海電鉄和歌山市駅からバスで約10分、「県庁前」下車、徒歩2分(和歌山城向かい)



2006(平成18)年度 和歌山県立近代美術館年報

編集・発行 和歌山県立近代美術館 ©2007
〒640-8137 和歌山県和歌山市吹上1-4-14
TEL 073-436-8690 FAX 073-436-1337
2008(平成20)年3月31日発行
印 刷 中和印刷紙器株式会社



THE MUSEUM OF MODERN ART, WAKAYAMA